

(様式第 10)

筑大病総調第
平成 26 年 10

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人筑波大学長 永田 恭介

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 25 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1
氏 名	国立大学法人筑波大学長 永田 恭介

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

筑波大学附属病院

3 所在の場所

〒 305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1	電話 (029) 853-3900
----------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 腎臓内科 2 血液内科 3 感染症内科 4 呼吸器内科 5 消化器内科 6 内分泌・代謝・糖尿病内科	
7 循環器内科 8 9 10 11 12 13	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ (無)
外科と組み合わせた診療科名	
1呼吸器外科 2心臓血管外科 3乳腺・内分泌外科 4消化器外科 5臓器移植外科 6形成外科 7小児外科 8頭頸部外科 9 10 11 12	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科
⑦産婦人科	⑧産科	⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科
⑬放射線診断科	⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科		

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ (無)
歯科と組み合わせた診療科名	
1歯科口腔外科 2 3 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1リウマチ科	2アレルギー科	3病理診断科	4神経内科	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
41床	床	床	床	759床	800床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	560人	64人	624人	看護補助者	72人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	15人	1人	16人	理学療法士	25人	臨床検査技師	75人
薬 剤 師	49人	5人	54人	作業療法士	10人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人	そ の 他	0人
助 産 師	51人	5人	56人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	720人	39人	759人	臨床工学技士	22人	医療社会事業従事者	11人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	26人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	184人
管理栄養士	8人	0人	8人	診療放射線技師	48人	その他の職員	24人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	44人	眼 科 専 門 医	8人
外 科 専 門 医	40人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精 神 科 専 門 医	9人	放 射 線 科 専 門 医	18人
小 児 科 専 門 医	21人	脳神経外科専門医	21人
皮 膚 科 専 門 医	7人	整形外科専門医	14人
泌尿器科専門医	12人	麻 酔 科 専 門 医	10人
産婦人科専門医	18人	救 急 科 専 門 医	4人
		合 計	236人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	647.4人	11.2人	658.6人
1日当たり平均外来患者数	1554.9人	60.6人	1615.5人
1日当たり平均調剤数			1,690剤
必要医師数			159人
必要歯科医師数			2人
必要薬剤師数			22人
必要(准)看護師数			384人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日

で除した数を記入すること。

- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	766.15m ²	鉄筋コンクリート	病床数	38床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	900.82m ² 台		病床数	53床
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	43.91m ²			
化学検査室	318.6m ²		(主な設備) 尿定性検査機、尿定量検査機			
細菌検査室	108.2m ²		(主な設備) 血液培養機、薬剤感受装置			
病理検査室	104.4m ²		(主な設備) 自動包埋装置、自動染色機、自動封入機			
病理解剖室	54m ²		(主な設備) 解剖台			
研 究 室	823.7m ²		(主な設備) 机、椅子、書棚、PC			
講 義 室	2,434 m ²	なし	室数	17室	収容定員	2,102人
図 書 室	2,793m ²	なし	室数	1室	蔵書数	167,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算 定 期 間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	88.1%	逆紹介率	55.2%
算出根拠	A: 紹介患者の数	16,941人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,948人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,125人	
	D: 初診の患者の数	21,633人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
陽子線治療	394人
末梢血幹細胞による血管再生治療	1人
EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)	2人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	10人
前眼部三次元画像解析	31人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	13人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
胎児尿路・羊水腔シャント術(胎児閉塞性尿路疾患)	1人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る)の併用療法(上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん)	3人
内視鏡下甲状腺切除術(甲状腺乳頭癌)	10人
経胎盤的抗不整脈投与療法(胎児頻脈生不整脈(胎児の心拍数が毎分180以上で持続する心房粗動又は上室性頻拍に限る))	0人
神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びベバシスマブ静脈内投与療法[神経症状を呈する脳放射線壊死(脳腫瘍又は隣接する組織の腫瘍に対する放射線治療後のものに限る)]	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用[原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る)]	7人
コレステロール塞栓症に対する血液浄化法(コレステロール塞栓症)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	84人	・膿疱性乾癬	9人
・多発性硬化症	94人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	134人	・原発性胆汁性肝硬変	33人
・全身性エリテマトーデス	506人	・重症急性膵炎	7人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	119人
・再生不良性貧血	51人	・混合性結合組織病	52人
・サルコイドーシス	86人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	34人	・特発性間質性肺炎	19人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	267人	・網膜色素変性症	37人
・特発性血小板減少性紫斑病	45人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	81人	・肺動脈性肺高血圧症	22人
・潰瘍性大腸炎	228人	・神経線維腫症	15人
・大動脈炎症候群	52人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	23人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	43人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	14人
・脊髄小脳変性症	68人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	72人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	26人	・脊髄性筋萎縮症	7人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	140人	・球脊髄性筋萎縮症	7人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	21人
・後縦靱帯骨化症	52人	・肥大型心筋症	6人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	26人	・ミトコンドリア病	18人
・ウェゲナー肉芽腫症	14人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	56人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	29人	・黄色靱帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	119人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・救急搬送患者地域連携受入加算
・歯科診療特別対応連携加算	・総合評価加算
・特定機能病院入院基本料	・呼吸ケアチーム加算
・臨床研修病院入院診療加算	・病棟薬剤業務実施加算
・救急医療管理加算	・データ提出加算
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料4
・妊産婦緊急搬送入院加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・診療録管理体制加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料
・急性期看護補助体制加算療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・看護職員夜間配置加算	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・短期滞在手術等基本料1
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移行期加算	・遺伝カウンセリング加算
・高度難聴指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・植込型心電図検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験
・がん患者指導管理料1	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料2	・ヘッドアップティルト試験
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・外来リハビリテーション診療料	・コンタクトレンズ検査料1
・外来放射線照射診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・地域連携診療計画管理料	・センチネルリンパ節生検(併用法)
・がん治療連携計画策定料	・センチネルリンパ節生検(単独法)
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1	・心臓MRI撮影加算
・医療機器安全管理料2	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・外来化学療法加算1
・歯科治療総合医療管理料	・無菌製剤処理料
・持続血糖測定器加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・造血器腫瘍遺伝子検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・検体検査管理加算Ⅳ	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科口腔リハビリテーション料2	・経皮的冠動脈ステント留置術
・がん患者リハビリテーション料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・医療保護入院等診療料	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・透析液水質確保加算2	・補助人工心臓
・一酸化窒素吸入療法	・経皮的冠動脈遮断術
・歯科技工加算	・ダメージコントロール手術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・腹腔鏡下肝切除術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・生体部分肝移植術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・同種死体腎移植術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・生体腎移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・網膜再建術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・輸血管理料1
・乳がんセンチネルリンパ節加算1	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・乳がんセンチネルリンパ節加算2	・内視鏡手術用支援機器加算
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・経皮的冠動脈形成術	・麻酔管理料(I)

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・胎児胸腔－羊水腔シャントチューブ留置術	・
・超音波骨折治療法	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・エキシマレーザー冠動脈形成術	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	・
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週9回程度実施
剖 検 の 状 況	剖検症例数 31例 / 剖検率 10.50%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補委	
別紙3のとおり				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

計227

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3	別紙1のとおり			
4				
5				
6				
7				
8				
9				
～				
70				
～				

計416

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2	別紙2のとおり			
3				
4				
5				
～				

計144

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

別紙3

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
心筋梗塞の病態形成における好中球細胞外捕捉(NETs)の役割解明と治療への応用	本間 寛	循環器(内)診療グループ	2,210,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
3次元スペクトルトラッキング法による右室機能評価法の開発	瀬尾 由広	循環器(内)診療グループ	2,470,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
難治性薬剤抵抗性高血圧に対する革新的な腎動脈交感神経アブレーション法の開発	佐藤 明	循環器(内)診療グループ	2,340,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
左室駆出率を超える心不全指標としての左室長軸収縮率の臨床的意義の研究	石津 智子	循環器(内)診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
難治性心疾患の新規原因遺伝子の網羅的探索	村越 伸行	循環器(内)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
東日本大震災が及ぼす致死性不整脈発現への影響	関口 幸夫	循環器(内)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
顆粒球コロニー刺激因子の術前投与による致死的不整脈抑制の検討	下條 信威	循環器(内)診療グループ	780,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
薬剤溶出性ステント留置後の血管内膜修復に関わるテネイシンCの分子機構解明	星 智也	循環器(内)診療グループ	2,340,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
心筋虚血再灌流障害における炎症制御機構の解明	木村 泰三	循環器(内)診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
心筋炎発症機序におけるテネイシンCの分子機能の解析	田尻 和子	循環器(内)診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
肥満による心房細動発症機序の解明	許 東洙	循環器(内)診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
放射光血管造影を用いた転移性肺腫瘍の早期診断の可能性	榊原 謙	循環器(外)診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
紫外線加工によるMK-7フリー納豆風味食品の開発とワーファリン内服患者への適用	平松 祐司	循環器(外)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
TFPI・アンチトロンビン・トロンボモジュリンによる体外循環中の複合的抗凝固戦略	平松 祐司	循環器(外)診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
放射光微小血管造影を用いた糖尿病心臓における微小冠動脈血流の解析	坂本 裕昭	循環器(外)診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
放射光微小血管撮影法による肺細動脈シアーストレスの計測と肺高血圧症研究への応用	徳永 千穂	循環器(外)診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
統合的ゲノム情報による難治性喘息多様性の分子機構の解明	檜澤 伸之	消化器(内)診療グループ	5,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
喫煙行動に影響を及ぼす遺伝素因の解明	檜澤 伸之	消化器(内)診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
気管支喘息に対する喘息死の予防や自己管理手法の普及に関する研究	檜澤 伸之	消化器(内)診療グループ	1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究)
気道炎症、気流閉塞、及び気道リモデリングに関するそれぞれの客観的指標を用いた喘息コントロール状態の評価法の確立	石井 幸雄	消化器(内)診療グループ	5,382,000	補 環境再生保全機構
呼吸器感染症生体応答機構、特に転写応答機構の解明とその治療への応用	石井 幸雄	消化器(内)診療グループ	1,800,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
大気汚染やディーゼル排気曝露が喘息の発症増悪に及ぼす影響に関する研究調査	石井 幸雄	消化器(内)診療グループ	650,000	委 財団法人日本自動車研究所
炎症性閉塞性肺疾患発症に関わる危険因子の解明ー前向きコホートによる包括的研究ー	坂本 透	消化器(内)診療グループ	2,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
Thバランスの制御による難治性喘息に対する新規治療法の探索	森島 祐子	消化器(内)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
新規サイトカインIL-33によるIL-17Fの発現と喘息との関連	川口 未央	消化器(内)診療グループ	500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
慢性肝疾患の予防、治療法の確立を目指した新規鉄排出トランスポーターの探索	溝上 裕士	消化器(内)診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
生活習慣病を想定した過食肥満マウス開発とNASHへの進展を規定する病態因子の探索	溝上 裕士	消化器(内)診療グループ	9,490,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)

計 14

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
腫瘍融解ワクシニアウイルスの肝癌幹細胞に対する殺細胞効果の評価	安部井 誠人	消化器(内)診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
がん細胞浸潤の4次元解析に関する研究	松井 裕史	消化器(内)診療グループ	3,900,000	補 科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)
蛍光を用いた光学的生検方法の開発	金子 剛	消化器(内)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
転写因子賦活による骨格筋の代謝および運動機能の向上と肥満関連肝疾患の発症予防	石毛 和紀	消化器(内)診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
S1P・ヒアルロン酸修飾リボソームを用いた難治性肝障害に対する新規治療薬の開発	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	3,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
磁性ナノ粒子+腫瘍浸透ペプチドによる難治固形癌の電磁誘導焼灼治療	小田 竜也	消化器(外)診療グループ	3,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
膵がん間質消滅治療:自殺遺伝子を導入した間葉系幹細胞によるがん間質の入れ換え	小田 竜也	消化器(外)診療グループ	600,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
血小板を用いた縫合不全をゼロにする手技の開発研究	寺島 秀夫	消化器(外)診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
モノテルペン類による新しい大腸癌治療法の開発	村田 聡一郎	消化器(外)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
癌細胞とクッパー細胞の相互作用に着目した血行性肝転移メカニズムの解明	近藤 匡	消化器(外)診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
ナノバイオ装置を用いた新規免疫抑制薬感受性試験の開発	福永 潔	消化器(外)診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
脾臓摘出による新しい肝細胞癌発癌抑制治療法の開発	渡辺 基信	消化器(外)診療グループ	1,100,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
血中anti-sense解析による膵がんの早期診断と層別化治療の開発・研究	榎本 剛史	消化器(外)診療グループ	1,100,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
脂肪酸合成阻害剤を用いた新規肝細胞癌治療法の開発	橋本 真治	消化器(外)診療グループ	1,700,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
アンチセンスRNAの機能解析と血液を用いた消化器癌の新規診断法の開発	高野 恵輔	消化器(外)診療グループ	1,600,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)

計 15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託先
Drug Delivery Systemを用いた肝硬変に対する新規治療薬の開発	田村 孝史	消化器(外)診療グループ	1,700,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
経口感染によるウイルス性肝炎(A型及びE型)の感染防止、病態解明、遺伝的多様性及び治療に関する研究	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服緊急対策研究)
診断用機器及び診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究	小田 竜也	消化器(外)診療グループ	7,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究)
次世代型3D-CT手術テキストを活用した、革新的外科学教育システムの構築 ー卒然・卒後・生涯教育環境の充実による外科医不足の解消ー	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	66,000,000	補 文部科学省 特別経費
狭帯域光観察を用いた肺結核胸膜浸潤・胸膜中皮腫病変の術中診断と浸潤メカニズムの解明	佐藤 幸夫	呼吸器(外)診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
腎臓発生研究成果を臨床医療に応用するための基盤研究-腎疾患モデルと臓器再生モデル	臼井 丈一	腎泌尿器(内)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
被嚢性腹膜硬化症におけるTヘルパー細胞の役割の解明と新規治療法の開発	楊 景堯	腎泌尿器(内)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
慢性腎臓病進行抑制のための医薬連携システムの確立と検証	斎藤 知栄	腎泌尿器(内)診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
転写因子MafBによる腎性二次性副甲状腺機能亢進症の制御	森戸 直記	腎泌尿器(内)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
患者データベースに基づく糖尿病の新規合併症マーカーの探索と均てん化に関する研究ー合併症予防と受診中断抑止の視点から	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	450,000	補 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究)
かかりつけ医/非腎臓専門医と腎臓専門医の協力を促進する慢性腎臓病患者の重症化予防のための診療システムの有用性を検討する研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	187,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(腎疾患対策研究)
進行性腎障害に関する調査研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	3,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎障害の早期診断法と治療法の開発	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(腎疾患対策研究)

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
特定健康診査による個人リスク評価に基づく、保健指導と連結した効果的な慢性腎臓病(CKD)地域医療連携システムの制度設計	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	700,000	補 厚生労働科学研究費補助金(腎疾患対策研究)
CXCR4-β arrestin2-ERK経路を利用した膀胱癌早期診断治療法の開発	西山 博之	腎泌尿器(外)診療グループ	1,100,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	西山 博之	腎泌尿器(外)診療グループ	300,000	補 厚生労働科学研究費補助金(国際水準臨床研究分野)
「泌尿器系癌の診断用新規腫瘍マーカーCXCL-1の開発」にかかる業務委託	西山 博之	腎泌尿器(外)診療グループ	455,000	委 東レ・塩野義製薬
非生菌BCG製剤を用いた転移がんの治療	河合 弘二	腎泌尿器(外)診療グループ	800,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
ピーシージーミコール酸を用いた新規癌治療製剤の開発	宮崎 淳	腎泌尿器(外)診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
難治性精巣腫瘍におけるCyclin/Rb経路の活性化の意義とその制御機構	末富 崇弘	腎泌尿器(外)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
肉腫様腎細胞の発生に関わる遺伝子異常の同定と新規分子標的治療法の開発	小島 崇宏	腎泌尿器(外)診療グループ	1,600,000	補 科学研究費補助金若手研究(B)
膀胱癌前癌病変におけるTXNIP-ARRB2経路を介した細胞膜情報伝達制御の解明	高岡 栄一郎	腎泌尿器(外)診療グループ	1,600,000	補 科学研究費補助金若手研究(B)
酸化ストレスを消去する腸管作用型新規ナノ粒子を利用した動脈硬化抑制の試み	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	3,640,000	補 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
肝臓内グリコーゲンセンサーの分子同定	矢作 直也	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	3,640,000	補 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
骨格筋におけるコレステロール不足がなぜ横紋筋融解症と突然死を引き起こしたのか?	中川 嘉	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	3,640,000	補 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
脂質代謝と小胞体ストレスをつなぐCREBHの非アルコール性脂肪肝発症における役割	小林 和人	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	5,070,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
糖尿病患者の動脈硬化症発症進展における新規予測因子に関する検討	鈴木 浩明	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)

計 14

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託先
細胞内脂肪酸組成制御機構の解明と高次脳機能および精神疾患における役割	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	8,900,000	補 科学研究費補助金 若手研究(A)
脂肪酸伸長酵素Elovl6による臓器脂質の質的変容と代謝病態の多臓器的展開	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	5,900,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
代謝シグナルが投射されるゲノム領域の同定と転写環境調節機構の解明	矢作 直也	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	12,500,000	補 科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)
悪性褐色細胞腫の悪性化機序と分子標的薬の作用機序の基礎研究	原 尚人	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
可溶性CD155による癌免疫逃避機構の解明と新規癌診断・治療法開発のための研究	井口 研子	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
乳癌・卵巣癌患者における遺伝相談・遺伝子検査に関する情報提供支援プログラムの構築	坂東 裕子	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	100,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
ヒト初代培養乳癌幹細胞における浸潤・転移能獲得の分子機構解明	坂東 裕子	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	1,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
乳癌患者における妊孕性保持支援のための治療選択および患者支援プログラム・関係ガイドライン策定の開発	坂東 裕子	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	750,000	補 厚生労働科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究)
自己免疫疾患における調査研究	住田 孝之、坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	96,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
関節リウマチの関節破壊機序の解明と関節破壊「ゼロ」を目指す治療法確立に関する研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	2,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
IgG4関連疾患に関する調査研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,200,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
シェーグレン症候群発症の分子機構と制御	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
スギ花粉症以外の疾患治療薬候補となる農作物の開発	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	5,100,000	委 農林水産省
免疫疾患におけるT細胞サブセットの機能異常とその修復法の開発	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究)

計 14

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
関節炎におけるマクロファージと自己免疫応答相互の制御機構の解明	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	後藤 大輔	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	580,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
シェーグレン症候群でのM3ムスカリン作働性アセチルコリン受容体に対する免疫応答	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,700,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
転写因子発現による自己免疫性関節炎の制御機構に関する解析	近藤 裕也	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,600,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
新規抗シトルリン化ペプチド抗体の病原性解析ー関節リウマチの病因解明への突破口ー	梅田 直人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
$\gamma\delta$ T細胞による間質性肺障害の新たな治療戦略の構築	瀬川 誠司	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
新規関節炎抑制分子の制御メカニズムの解明	井上 明日香	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,700,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
HLA不適合血縁者間移植の安全性および有効性向上のための包括的研究	千葉 滋	血液診療グループ	500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
ヒト癌幹細胞の同定と生体内機能解析システムの構築	千葉 滋	血液診療グループ	10,000,000	補 科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)
造血器腫瘍におけるTET2遺伝子異常とエピジェネティック制御の解析	千葉 滋	血液診療グループ	5,590,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
悪性リンパ腫を構成する炎症細胞の起源の解明	千葉 滋	血液診療グループ	2,210,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
悪性リンパ腫における腫瘍細胞と微小環境とのコミュニケーション	千葉 滋	血液診療グループ	5,590,000	補 科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)
エピゲノム異常を発端とする濾胞性ヘルパーT細胞の腫瘍化機序の解明	坂田 麻実子	血液診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
純粋巨核球前駆細胞の同定および巨核球造血シグナル制御の解明	横山 泰久	血液診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
Notch-Hes1経路による急性骨髄性白血病抑制機構の解明	加藤 貴康	血液診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)

計 15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
移植片対宿主病の早期診断を可能とするバイオマーカーの探索	栗田 尚樹	血液診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
末梢血を用いたDNA修復活性評価法の確立	鈴川 和己	血液診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
造血不全におけるNestin陽性造血支持細胞の機能解析	小原 直	血液診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
PTSD及びうつ病等の環境要因等の分析及び介入手法の開発と向上に資する研究	朝田 隆	精神神経診療グループ	91,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究)
「認知症予防のための戦略研究」研究実施計画書作成に関する研究	朝田 隆	精神神経診療グループ	8,320,000	補 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究)
認知症のケアに関する実態把握のための調査研究	朝田 隆	精神神経診療グループ	8,320,000	補 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究)
複合型蛋白質蓄積症としての認知症疾患の病態解明を目指した病理生化学的研究	新井 哲明	精神神経診療グループ	800,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
BPSDの症状評価法および治療法の開発と脳内基盤解明を目指した総合的研究	新井 哲明	精神神経診療グループ	12,020,000	補 厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究)
小児におけるB型肝炎の水平感染の実態把握とワクチン戦略の再構築に関する研究	須磨崎 亮	小児(内)診療グループ	36,400,000	補 厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服緊急対策研究事業)
ジペプチジルペプチダーゼ4活性からみた小児糖尿病の病態および治療に関する研究	鴨田 知博	小児(内)診療グループ	910,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
胎児・新生児期に発症する遺伝性不整脈の遺伝的背景と臨床的表現型に関する研究	堀米 仁志	小児(内)診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
Small for gestational age児のキャッチアップに関する研究	齋藤 誠	小児(内)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
心磁図を用いた心拍変動解析による胎児・新生児期の自律神経発達、予後予測の研究	加藤 愛章	小児(内)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン	増本 幸二	小児(外)診療グループ	450,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
胎児・新生児肺低形成の診断・治療実態に関する調査研究	増本 幸二	小児(外)診療グループ	400,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)

計 15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
小児がん情報ステーションの運営と拡充・小児がん研修モデルの提示と指導者の育成	田中 秀明	小児(外)診療グループ	270,000	委 国立成育医療研究センター
エリスロポエチンの先天性横隔膜ヘルニアにおける肺高血圧への有用性の検討	高安 肇	小児(外)診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
再生医療的アプローチを用いた新しい横隔膜修復術の開発	瓜田 泰久	小児(外)診療グループ	1,600,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
自家臍帯幹細胞シート移植による先天性横隔膜ヘルニアにおける低形成肺の再生	新開 統子	小児(外)診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
間質血管細胞群移植による損傷腱組織再生迅速化	関堂 充	形成診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
皮膚創傷治癒過程におけるKeap1-Nrf2システムの役割と新規瘢痕予防薬の開発	関堂 充	形成診療グループ	4,420,000	補 科学研究費補助金基盤研究(B)
創傷治癒過程における酸化ストレス応答タンパク質Trim16の分子機能	足立 孝二	形成診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
新しいメタボリックシンドロームモデルマウスを用いた創傷治癒メカニズムの解析	佐々木 薫	形成診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
アミロイドーシスに関する調査研究	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	1,350,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
アルツハイマー病の分子病態とミトコンドリア障害	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	1,600,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
平成25年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(毒性班) カニクイザルにおけるジフェニルアルシンの生体影響	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	21,000,000	委 環境省
希少性難治性疾患ー神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	4,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
平成25年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(臨床研究班) 若年層における脳血流シンチグラフ(123-I-IMP-SPECT)の正常対照群	石井 一弘	脳神経(内)診療グループ	6,300,000	委 環境省

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託先
ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するビルビン酸ナトリウム治療法の開発研究―試薬からの希少疾病治療薬開発の試み―	石井 亜紀子	脳神経(内)診療グループ	1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
認知症患者のバランス障害メカニズムの解明	中馬越 清隆	脳神経(内)診療グループ	1,100,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
ナノ粒子薬物送達システムによる、アルツハイマー病の酸化ストレス消去療法の開発	富所 康志	脳神経(内)診療グループ	1,800,000	補 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
筋萎縮性側索硬化症原因遺伝子とRNA編集酵素との連鎖カスケードに基づく治療戦略	詫間 浩	脳神経(内)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
多機能レーザー内視鏡治療機器を用いた超低侵襲内視鏡手術	阿久津 博義	脳神経(外)診療グループ	2,340,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
悪性脳腫瘍における血管内皮細胞関連分子を標的とした新規治療法の開発	石川 栄一	脳神経(外)診療グループ	1,000,000	補 藤田記念医学研究振興事業
繊維芽細胞成長因子徐放性頭蓋骨延長器による次世代骨延長法の開発	井原 哲	脳神経(外)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金若手研究(B)
腫瘍微小環境に基づいたVEGF抑制を超える脳腫瘍に対する血管新生療法の開発	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	5,720,000	補 科学研究費補助金基盤研究(B)
膠芽腫に対する新規血管新生抑制療法: 光線力学療法と合成ペプチド療法	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	780,000	補 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
頭頸部血管形成術後再狭窄に対するナノ粒子を用いた診断・治療についての基礎的研究	鶴田 和太郎	脳神経(外)診療グループ	3,120,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
環境応答性ナノ粒子を用いた脳虚血治療の研究	鶴嶋 英夫	脳神経(外)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
血管内皮選択的BNCTを用いた脳血管再狭窄予防法の開発	中井 啓	脳神経(外)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
希少性難治性疾患―神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAI-HN01)に関する医師主導治験の実施研究	松村 明	脳神経(外)診療グループ	800,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難病性疾患克服研究)

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
フラーレン粒子と中性子捕捉反応を用いたがん治療の基礎的検討	松村 明	脳神経(外)診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
脳白質構造解析を利用した、頭蓋内病変の圧迫・浸潤に対する評価手法の開発	松村 明	脳神経(外)診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
頸部装着型機器による嚥下機能評価と食事介助支援装置の実用化	松村 明	脳神経(外)診療グループ	12,770,000	補 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究)
不活化ウイルス粒子に自家腫瘍ワクチンを併用した脳腫瘍に対する新規免疫療法の確立	松田 真秀	脳神経(外)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
新しく開発した足関節自動運動器による深部静脈血栓症の予防効果の検証	鎌田 浩史	整形診療グループ	1,677,000	委 科学技術振興機構
梢神経欠損間隔の新治療法:末梢神経両断端緩徐伸長法の実用化に向けて	原 友紀	整形診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
陳旧性抹消神経損傷に対する末梢神経緩徐伸長法の適応に関する研究	落合 直之	整形診療グループ	1,100,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	山崎 正志	整形診療グループ	1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
次世代偏光光干渉断層計による高機能光三次元バイオプシーの臨床実用化に関する研究	大鹿 哲郎	眼診療グループ	10,010,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	大鹿 哲郎	眼診療グループ	2,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
角膜ジストロフィーの分子メカニズムに基づく光線力学療法および予防点眼液の開発	加治 優一	眼診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
組織シーラントを用いたガスタンボナーデ不要の網膜剥離手術の有効性、安全性の検討	岡本 史樹	眼診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
薄暮時実用視力計の開発とその臨床的有効性の評価	平岡 孝浩	眼診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
固有振動数解析と逆解析を用いた次世代型非接触式眼圧計の開発	石井 晃太郎	眼診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
トレハロースによる結膜癒着防止効果の検討	岡本 芳史	眼診療グループ	3,510,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)

計 15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
On/Off機能を備えた近赤外蛍光プローブによる網膜低酸素イメージングの開発	福田 慎一	眼診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 若手研究 (B)
子宮頸癌発生過程とHLAクラスIIアレルに関する研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
オーダーメイド化学療法を目指した抗癌剤感受性検査の判定基準の策定	沖 明典	婦人・周産期診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究 (C)
個別化治療を目指した子宮体癌の遺伝子変異プロファイリング	水口 剛雄	婦人・周産期診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究 (C)
子宮頸癌におけるHPV型別の病態解析:新たな疾患概念の確立を目指して	松本 光司	婦人・周産期診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 基盤研究 (C)
妊娠・授乳期における医療用医薬品の使用上の注意の在り方に関する研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	2,400,000	補 厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究)
地域産科医療としての先天性心臓疾患胎児健康状態評価システムの新規構築	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	800,000	補 科学研究費補助金 基盤研究 (C)
母児間免疫寛容に注目した絨毛膜羊膜炎を伴う早産の予防戦略	小畠 真奈	婦人・周産期診療グループ	910,000	補 科学研究費補助金 基盤研究 (C)
血清疫学的手法によるヒトパピローマウイルス感染の診断と子宮頸部前癌病変の管理	越智 寛幸	婦人・周産期診療グループ	900,000	補 科学研究費補助金 若手研究 (B)
自己相補型アデノ随伴ウイルスベクターによる胎児フェニルケトン尿症マウスの治療戦略	八木 洋也	婦人・周産期診療グループ	1,000,000	補 科学研究費補助金 若手研究 (B)
蝸牛発生・機能維持、蝸牛障害におけるセラミド、スフィンゴ脂質の影響の検討	田淵 経司	耳鼻咽喉診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究 (C)
急性高度感音難聴に関する調査研究	原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子解析に基づく新診断基準作成	原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	300,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
神経皮膚症候群に関する調査研究	原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	100,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究)
マウスの心肺停止を用いた全脳虚血に対するフルオキセチン投与長期予後の検討	田口 典子	麻酔診療グループ	800,000	補 科学研究費補助金 基盤研究 (C)

計 15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
蘇生後症候群へのスタチンの多面効果:水溶性と脂溶性の比較	中山 慎	麻酔診療グループ	1,600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
Neurogenesisに焦点をあてた術後の認知機能障害の発症機序と予防法の解明	山下 創一郎	麻酔診療グループ	1,600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
麻酔薬の扁桃体中心核抑制性神経回路への作用の解明	山本 純偉	麻酔診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
麻酔受容体の遺伝子多型とシグナル伝達系に関する革新的臨床および基礎研究	猪股 伸一	麻酔診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
口腔がんにおけるlet-7 microRNAの機能解析と臨床応用	武川 寛樹	歯・口腔診療グループ	2,210,000	補 化学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
口腔癌の腫瘍表面分子を標的とするキメラペプチドによる新しいバイオ療法の研究開発	武川 寛樹	歯・口腔診療グループ	4,810,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
口腔癌におけるシナプス接着因子を標的とした新規抗血管新生療法の探索	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
骨分化能の高い歯髄由来間葉系幹細胞の単離・同定と効率的な顎骨再生への応用	山縣 憲司	歯・口腔診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
口腔癌の頸部リンパ節転移を制御するmicroRNAの網羅的探索	長谷川 正午	歯・口腔診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
口腔癌におけるECMタンパクDPTを中心とした転移抑制機構の解明	大和地 正信	歯・口腔診療グループ	2,340,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
ソーシャルファームにおける復職支援の有効性に関する調査研究	松崎 一葉	保健衛生外来診療グループ	3,770,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
メコン川流域国における急速なモータリゼーションから子どもの命と健康を守る	市川 政雄	保健衛生外来診療グループ	2,210,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
うつ病の病態と休職制度の検討に関する独創的全国比較研究-金銭補償期間の重要性-	笹原 信一郎	保健衛生外来診療グループ	4,940,000	補 科学研究費補助金 若手研究(A)
南アジアと日本における若年冠動脈疾患患者の新しい危険因子の同定とその予防法の開発	ジェスミン サプリナ	救急・集中治療診療グループ	5,420,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)

計 14

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
Comprehensive Assessment of Prevalence and Trends of Gestational Diabetes Mellitus among Bangladeshi Rural Women: A multidisciplinary investigation from basic epidemiology to genetic screening	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	6,700,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
より適切な母子保健環境をバングラデシュ農村に齎すマイクロインシュアランスの設計	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	1,100,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
バングラデシュ農村地域の慢性腎臓病の特徴とリスク因子一疫学及び病態学的研究一	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	2,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
アジアの更年期女性の糖尿病と心血管系疾患のリスク因子としてのVEGFの有用性	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
外傷・敗血症における易血栓性(DIC)遺伝子多型の国際比較研究	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	3,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
選択的エストロゲン受容体の血管新生VEGF系と閉経後糖尿病性微小循環異常との関係	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	840,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
血管内皮増殖因子VEGF系を基軸とする、敗血症性多臓器不全の治療戦略の研究	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
つくば国際戦略総合特区	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	342,450,000	委 経産省平成25年度 課題解決型医療機器等の開発
ホウ素中性子捕捉療法によるがん治療機器の開発・実証計画	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	172,000,000	委 経産省国際的先端医療機器開発実証事業費補助金(南東北病院からの再委託研究)
中性子捕捉療法用病院併設型小型直線加速器の研究開発	櫻井 英幸、熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	450,000,000	委 独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
高エネルギー陽子ビームを用いた次世代型粒子線治療のための基盤研究	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	5,990,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
極小量子ビームを用いた細胞内元素分布解析による疾患機序の解明	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	3,770,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
画像処理用並列演算素子に最適化された粒子線線量分布計算法の開発とその精度評価	榮 武二	放射線腫瘍科診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元又は委託先
抗腫瘍免疫を増強する放射線治療法確立のための基礎的研究	石川 仁	放射線腫瘍科診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
悪性脳腫瘍に対する放射線・ERストレス負荷免疫療法の研究	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	4,810,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
悪性脳腫瘍に対する放射線・ERストレス負荷免疫療法の研究	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
BNCTにおける生体内線量分布計測システムのための基盤技術の研究開発	安岡 聖	放射線腫瘍科診療グループ	4,160,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
腫瘍追跡情報をフィードバックする呼吸コーチング法の開発	照沼 利之	放射線腫瘍科診療グループ	3,510,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
頭頸部癌に対する加速器陽子中性子捕捉療法の研究	大西 かよ子	放射線腫瘍科診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
頭頸部がん陽子中性子捕捉療法における加速器線と原子炉線源の臨床的比較検討の研究	栗飯原 輝人	放射線腫瘍科診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
等価線量をシミュレーションで評価する次世代型BNCT用治療計画システムの開発	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	2,210,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
小児腫瘍に対する陽子線治療後の晩期有害事象予測プログラムの作成	水本 斉志	放射線腫瘍科診療グループ	2,470,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
骨格筋MRIによる運動効果の多角的評価法の確立	磯辺 智範	放射線腫瘍科診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
包括型脳科学研究推進支援ネットワーク	増本 智彦	放射線診断・IVR診療グループ	500,000	補 科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)
非造影MRIによるステントグラフト内挿術	森 健作	放射線診断・IVR診療グループ	600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
転写因子賦活を介した骨格筋の代謝および運動機能の改善による肥満関連肝疾患の予防効果	岡本 嘉一	放射線診断・IVR診療グループ	30,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
肝-骨格筋臓器連関に着目したマルチモダリティによる生活習慣病の包括的病態評価	岡本 嘉一	放射線診断・IVR診療グループ	400,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
MRIを用いた卵巣癌の組織分類に関する研究ー術前化学療法を成功させるためにー	田中 優美子	放射線診断・IVR診療グループ	500,000	委 第4 回ロート女性健康科学研究会助成医学研究助成金

計 15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託先
外来診療支援システムの開発と検証ー良質な診療と時間短縮の両立を目指してー	前野 哲博	総合診療グループ	600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
医師として適切な服装・言動とは？ 医師・患者の横断調査	栗原 宏	総合診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
SFN, IGBP1に着目した肺腺癌発生の分子基盤の解明	野口 雅之	病理診断診療グループ	9,490,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
ゲノムPCR法およびFISH法での肺腺癌の浸潤に関わる新規遺伝子の解析	南 優子	病理診断診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
死後臓器組織からの高品質核酸抽出法の考案:病理解剖の分子生物学的探究基盤の確立	高屋敷 典生	病理診断診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
がん細胞の核形態異常に関与する、クロマチンリモデリング関連タンパクの同定	里見 介史	病理診断診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
画像診断に対する多施設共同臨床試験の体制確立に関する研究	野口 雅之	病理診断診療グループ	2,000,000	委 独立行政法人国立がんセンター がん研究開発費
肺神経内分泌癌の病理学	野口 雅之	病理診断診療グループ	300,000	委 独立行政法人国立がんセンター がん研究開発費
網羅的なゲノム異常解析と詳細な臨床情報に基づく、ヒトがんの多様な多段階発がん過程の分子基盤の解明とその臨床応用に関する研究	野口 雅之	病理診断診療グループ	2,700,000	補 厚生労働科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究)
代謝シグナルが投射されるゲノム領域の同定と転写環境調節機構の解明	矢作 直也	臨床病理診療グループ	12,600,000	補 科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)
左室駆出率を超える心不全指標としての左室長軸収縮率の臨床的意義の研究	石津 智子	臨床病理診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
心筋虚血再灌流障害における炎症制御機構の解明	木村 泰三	臨床病理診療グループ	1,600,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
褐色細胞腫の遺伝子診断法の推進とコンパニオン診断法開発を含む分子標的薬の研究	川上 康	臨床病理診療グループ	3,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
ゲノム解析による進化医学的証拠に基づく統合失調症の起源と病因に関する研究	有波 忠雄	遺伝診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究

計 14

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託先
全ゲノムシーケンス時代に向けた統合失調症の病態の類型化と診断・治療戦略の確立	有波 忠雄	遺伝診療グループ	5,590,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
エクソーム解析による小児喘息発症の個別化医療と創薬のための分子標的遺伝子の探索	野口 恵美子	遺伝診療グループ	4,290,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)

計 2

計 227

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
1	Tajiri K,	循環器(内)診療グループ	Endothelin receptor antagonist exacerbates autoimmune myocarditis in mice.	Life Sci. 2014 Jan 18. pii: S0024-3205(14)00070-8. doi: 10.1016/j.lfs.2014.01.007. [Epub ahead of print]
2	Murakoshi N,	循環器(内)診療グループ	Epidemiology of arrhythmias and sudden cardiac death in Asia.	Circ J. 2013;77(10):2419-31. Epub 2013 Sep 20.
3	Machino-Ohtsuka T,	循環器(内)診療グループ	Significant improvement of left atrial and left atrial appendage function after catheter ablation for persistent atrial fibrillation.	Circ J. 2013;77(7):1695-704. Epub 2013 Mar 26.
4	Machino-Ohtsuka,	循環器(内)診療グループ	Efficacy, safety, and outcomes of catheter ablation of atrial fibrillation in patients with heart failure with preserved ejection fraction.	J Am Coll Cardiol. 2013 Nov 12;62(20):1857-65.
5	Atsumi A,	循環器(内)診療グループ	Application of 3-dimensional speckle tracking imaging to the assessment of right ventricular regional deformation.	Circ J. 2013;77(7):1760-8. Epub 2013 Apr 4.
6	Atsumi A,	循環器(内)診療グループ	Relationship between cold temperature and cardiovascular mortality, with assessment of effect modification by individual characteristics: Ibaraki Prefectural Health Study.	Circ J. 2013;77(7):1760-8. Epub 2013 Apr 4.
7	Hoshi T,	循環器(内)診療グループ	Multimodality Intracoronary Imaging in Spontaneous Coronary Artery Dissection: Impacts of Intravascular Ultrasound, Optical Coherence Tomography, and Coronary Angioscopy.	Catheter Cardiovasc Interv 81:E151-4, 2013.
8	Yamasaki H,	循環器(内)診療グループ	Coronary Venous Lead Implantation after an Evaluation by Virtual Histology Intravascular Ultrasound and Stenting of a Stenosis.	Pacing Clin Electrophysiol. 2013 Feb;36(2):e59-63. doi: 10.1111/j.1540-8159.2011.03157.x. Epub 2011 Jul 28.
9	Ito Y,	循環器(内)診療グループ	Effect of Eplerenone on Maintenance of Sinus Rhythm After Catheter Ablation in Patients With Long-Standing Persistent Atrial Fibrillation.	Am J Cardiol. 2013 Apr 1;111(7):1012-8. doi: 10.1016/j.amjcard.2012.12.020. Epub 2013 Jan 19.
10	Tajiri K,	循環器(内)診療グループ	Pitavastatin regulates helper T-cell differentiation and ameliorates autoimmune myocarditis in mice.	Cardiovasc Drugs Ther. 2013 Oct;27(5):413-24. doi: 10.1007/s10557-013-6464-y.
11	Adachi T,	循環器(内)診療グループ	Novel use of ultra-short-acting intravenous beta1-selective blocker Landiolol for supraventricular tachyarrhythmias in patients with congestive heart failure.	Heart Vessels. 2013 Jun 26. [Epub ahead of print]

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
12	Hoshi T,	循環器(内)診療グループ	Preventive effect of statin pretreatment on contrast-induced acute kidney injury in patients undergoing coronary angioplasty: propensity score analysis from a multicenter registry.	Int J Cardiol. 2014 Feb 1;171(2):243-9. doi: 10.1016/j.ijcard.2013.12.017. Epub 2013 Dec 22.
13	Machino T,	循環器(内)診療グループ	Three-dimensional visualization of the entire reentrant circuit of bundle branch reentrant tachycardia.	Heart Rhythm. 2013 Mar;10(3):459-60. doi: 10.1016/j.hrthm.2011.11.001. Epub 2011 Nov 3.
14	Yamasaki H,	循環器(内)診療グループ	Ischemic esophageal ulceration that developed after an early endoscopic surveillance in a patient receiving catheter ablation for atrial fibrillation.	Circulation. 2013 May 28;127(21):e635-6. doi: 10.1161
15	Seo Y,	循環器(内)診療グループ	Left ventricular activation imaging by 3-dimensional speckle-tracking echocardiography. Comparison with electrical activation mapping.	Circ J. 2013;77(10):2481-9. Epub 2013 Jul 13.
16	Sekiguchi Y,	循環器(内)診療グループ	New clinical and electrocardiographic classification in patients with idiopathic ventricular fibrillation.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2013 Aug;24(8):902-8. doi: 10.1111/jce.12154. Epub 2013 Apr 18.
17	Nogami Y,	循環器(内)診療グループ	Abnormal early diastolic intraventricular flow 'kinetic energy index' assessed by vector flow mapping in patients with elevated filling pressure.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2013 Mar;14(3):253-60. doi: 10.1093/ehjci/jes149. Epub 2012 Jul 20.
18	Ishizu T,	循環器(内)診療グループ	Left ventricular strain and transmural distribution of structural remodeling in hypertensive heart disease.	Hypertension. 2014 Mar;63(3):500-6. doi: 10.1161/HYPERTENSIONAHA.113.02149. Epub 2014 Jan 6.
19	Sakai S,	循環器(内)診療グループ	Involvement of peptidyl-prolyl isomerase Pin1 in the inhibitory effect of fluvastatin on endothelin-1-induced cardiomyocyte hypertrophy.	Life Sci. 2014 May 2;102(2):98-104. doi: 10.1016/j.lfs.2014.03.018. Epub 2014 Mar 21. PubMed PMID: 24657892.
20	Homma S,	循環器(内)診療グループ	Calcitonin gene-related peptide protects the myocardium from ischemia induced by endothelin-1: Intravital microscopic observation and (31)P-MR spectroscopic studies.	Life Sci. 2014 Mar 5. pii: S0024-3205(14)00280-X. doi: 10.1016/j.lfs.2014.02.024. [Epub ahead of print] PubMed PMID: 24607775.
21	Adachi T,	循環器(内)診療グループ	Novel use of the ultra-short-acting intravenous β 1-selective blocker landiolol for supraventricular tachyarrhythmias in patients with congestive heart failure.	Heart Vessels. 2013 Jun 26. [Epub ahead of print]
22	Tokunaga C,	循環器(外)診療グループ	Effects of landiolol hydrochloride on intractable tachyarrhythmia after pediatric cardiac surgery.	Ann Thorac Surg.
23	Sasaki K,	循環器(外)診療グループ	Cardiac sympathetic activity assessed by heart rate variability indicates myocardial ischemia on cold exposure in diabetes.	Ann Vasc Dis.

計 12

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
24	Yanaka A, Sato J, Ohmori S.	消化器(内)診療グループ	Sulforaphane protects small intestinal mucosa from aspirin/NSAID-induced injury by enhancing host defense systems against oxidative stress and by inhibiting mucosal invasion of anaerobic enterobacteria.	Curr Pharm Des.
25	Suzuki Y, Homma M, Abei M, Hyodo I, Kohda Y.	消化器(内)診療グループ	Impact of solute carrier family 29 member 1 (SLC29A1) single nucleotide polymorphisms on mRNA expression in peripheral blood mononuclear cells.	
26	Hasegawa N, Abei M, Yokoyama KK, Fukuda K, Seo E, Kawashima R, Nakano Y, Yamada T, Nakade K, Hamada H, Obata Y, Hyodo I.	消化器(内)診療グループ	Cyclophosphamide enhances antitumor efficacy of oncolytic adenovirus expressing uracil phosphoribosyltransferase (UPRT) in immunocompetent Syrian hamsters.	
27	Suzuki Y, Homma M, Abei M, Hyodo I, Kohda Y.	消化器(内)診療グループ	Effects of dipyridamole coadministration on the pharmacokinetics of ribavirin in healthy volunteers.	
28	Sakaki N, Ashida K, Mizokami Y, Chiba T, Matsui S, Kanto T, Uemura N, Hiramatsu N, Sugano K.	消化器(内)診療グループ	Endoscopic evaluation of low-dose aspirin-induced gastric and duodenal ulcers during prophylaxis with lansoprazole.	
29	Takahashi A, Yamamoto Y, Yasunaga M, Koga Y, Kuroda J, Takigahira M, Harada M, Saito H, Hayashi T, Kato Y, Kinoshita T, Ohkohchi N, Hyodo I, Matsumura Y.	消化器(内)診療グループ	NC-6300, an epirubicin-incorporating micelle, extends the antitumor effect and reduces the cardiotoxicity of epirubicin.	
30	Ishiguro M, Kotake K, Nishimura G, Tomita N, Ichikawa W, Takahashi K, Watanabe T, Furuhashi T, Kondo K, Mori M, Kakeji Y, Kanazawa A, Kobayashi M, Okajima M, Hyodo I, Miyakoda K, Sugihara K.	消化器(内)診療グループ	Study protocol of the B-CAST study: a multicenter, prospective cohort study investigating the tumor biomarkers in adjuvant chemotherapy for stage III colon cancer.	
31	Yamada T, Moriwaki T, Matsuda K, Yamamoto Y, Sugaya A, Akutsu D, Murashita T, Endo S, Hyodo I.	消化器(内)診療グループ	Panitumumab-induced interstitial lung disease in a case of metastatic colorectal cancer.	
32	Seto K, Shoda J, Horibe T, Warabi E, Ishige K, Yamagata K, Kohno M, Yanagawa T, Bukawa H, Kawakami K.	消化器(内)診療グループ	Interleukin-4 receptor α -based hybrid peptide effectively induces antitumor activity in head and neck squamous cell carcinoma.	
33	Tamura M, Matsui H, Nagano YN, Kaneko T, Indo HP, Majima HJ, Hyodo I.	消化器(内)診療グループ	Salt is an oxidative stressor for gastric epithelial cells.	
34	Onuki K, Sugiyama H, Ishige K, Kawamoto T, Ota T, Arizumi S, Yamato M, Kadota S, Takeuchi K, Ishikawa A, Onodera M, Onizawa K, Yamamoto M, Miyoshi E, Shoda J.	消化器(内)診療グループ	Expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in the subserosal layer correlates with postsurgical survival of pathological tumor stage 2 carcinoma of the gallbladder.	
35	Hayakawa T, Mutoh M, Imai T, Tsuta K, Yanaka A, Fujii H, Yoshimoto M.	消化器(内)診療グループ	SPECT/CT of lung nodules using ^{111}In -DOTA-c(RGDfK) in a mouse lung carcinogenesis model.	Ann Nucl Med.

計 12

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
36	Suzuki H, Kaneko T, Mizokami Y, Narasaka T, Endo S, Matsui H, Yanaka A, Hirayama A, Hyodo I.	消化器(内)診療グループ	Therapeutic efficacy of the Qing Dai in patients with intractable ulcerative colitis.	
37	Vong LB, Yoshitomi T, Morikawa K, Saito S, Matsui H, Nagasaki Y.	消化器(内)診療グループ	Oral nanotherapeutics: effect of redox nanoparticle on microflora in mice with dextran sodium sulfate-induced colitis.	J Gastroenterol.
38	Moriwaki T, Hirai S, Hironaka S, Amagai K, Soeda A, Sato M, Nihei T, Hirose M, Matsuda K, Ohkawara A, Yamaguchi T, Ozeki M, Mamiya T, Murashita T, Hyodo I.	消化器(内)診療グループ	A randomized phase II study comparing S-1 plus weekly split-dose cisplatin with S-1 plus standard-dose cisplatin as first-line chemotherapy for advanced gastric cancer.	
39	Sha S, Vong LB, Chonpathompikunlert P, Yoshitomi T, Matsui H, Nagasaki Y.	消化器(内)診療グループ	Suppression of NSAID-induced small intestinal inflammation by orally administered redox nanoparticles.	Biomaterials.
40	Tamura M, Matsui H, Kaneko T, Hyodo I.	消化器(内)診療グループ	Alcohol is an oxidative stressor for gastric epithelial cells: detection of superoxide in living cells.	
41	Abei M, Okumura T, Fukuda K, Hashimoto T, Araki M, Ishige K, Hyodo I, Kanemoto A, Numajiri H, Mizumoto M, Sakae T, Sakurai H, Zenkoh J, Ariungerel G, Sogo Y, Ito A, Ohno T, Tsuboi K.	消化器(内)診療グループ	A phase I study on combined therapy with proton-beam radiotherapy and in situ tumor vaccination for locally advanced recurrent hepatocellular carcinoma.	
42	Hironaka S, Ueda S, Yasui H, Nishina T, Tsuda M, Tsumura T, Sugimoto N, Shimodaira H, Tokunaga S, Moriwaki T, Esaki T, Nagase M, Fujitani K, Yamaguchi K, Ura T, Hamamoto Y, Morita S, Okamoto I, Boku N, Hyodo I.	消化器(内)診療グループ	Randomized, open-label, phase III study comparing irinotecan with paclitaxel in patients with advanced gastric cancer without severe peritoneal metastasis after failure of prior combination chemotherapy using fluoropyrimidine plus platinum	WJOG 4007 trial.
43	Saito R, Suzuki H, Yamada T, Endo S, Moriwaki T, Ueno T, Hirose M, Hirai S, Yamato K, Mizokami Y, Hyodo I.	消化器(内)診療グループ	Predicting skin toxicity according to EGFR polymorphisms in patients with colorectal cancer receiving antibody against EGFR.	
44	Yamada T, Sugiyama H, Ochi D, Akutsu D, Suzuki H, Narasaka T, Moriwaki T, Endo S, Kaneko T, Satomi K, Ikezuwa K, Mizokami Y, Hyodo I.	消化器(内)診療グループ	Risk factors for submucosal and lymphovascular invasion in gastric cancer looking indicative for endoscopic submucosal dissection.	
45	Komatsu Y, Yoshino T, Yamazaki K, Yuki S, Machida N, Sasaki T, Hyodo I, Yachi Y, Onuma H, Ohtsu A.	消化器(内)診療グループ	Phase 1 study of efatutazone, a novel oral peroxisome proliferator-activated receptor gamma agonist, in combination with FOLFIRI as second-line therapy in patients with metastatic colorectal cancer.	
46	Yamamoto Y, Hyodo I, Takigahira M, Koga Y, Yasunaga M, Harada M, Hayashi T, Kato Y, Matsumura Y.	消化器(内)診療グループ	Effect of combined treatment with the epirubicin-incorporating micelles (NC-6300) and 1,2-diaminocyclohexane platinum (II)-incorporating micelles (NC-4016) on a human gastric cancer model.	

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
47	Tamura M, Matsui H, Tomita T, Sadakata H, P. Indo H, J. Majima H, Kaneko T, and Hyodo I.	消化器(内)診療グループ	Mitochondrial reactive oxygen species accelerated gastric cancer cellular invasion.	J Clin Biochem Nutr
48	Murata S	消化器(外)診療グループ	Signal transduction of platelet-induced liver regeneration and decrease of liver fibrosis.	Int J Mol Sci
49	Chiba M	消化器(外)診療グループ	Gene expression profiling of sense and antisense transcripts in liver regeneration by microarray analysis.	Biomed Rep.
50	Akashi Y	消化器(外)診療グループ	Anticancer effects of gemcitabine are enhanced by co-administered iRGD peptide in murine pancreatic cancer models that overexpressed neuropilin-1.	Br J Cancer
51	Ogawa K	消化器(外)診療グループ	Interaction of kupffer cells and platelets determines the severity of ischemia-reperfusion injury in steatosis.	Tohoku J Exp Med
52	Maruyama T	消化器(外)診療グループ	(-)-Epigallocatechin-3-gallate suppresses liver metastasis of human colorectal cancer.	Oncol Rep
53	Ogawa K	消化器(外)診療グループ	Current treatment status of polycystic liver disease in Japan.	Hepatol Res
54	Kurokawa T	消化器(外)診療グループ	Gastric bronchogenic cyst histologically diagnosed after laparoscopic excision: report of a case.	Int Surg
55	Oshiro Y	消化器(外)診療グループ	Adjuvant surgery for advanced extrahepatic cholangiocarcinoma	World J Gastroenterol
56	Murata S	消化器(外)診療グループ	Antitumor effect of 1, 8-cineole against colon cancer.	Oncol Rep
57	Takahashi K	消化器(外)診療グループ	Human platelets inhibit liver fibrosis in severe combined immunodeficiency mice.	World J Gastroenterol
58	Takahashi K	消化器(外)診療グループ	Complete response to multidisciplinary therapy in a patient with primary gastric choriocarcinoma	World J Gastroenterol
59	Yoneyama S	消化器(外)診療グループ	The manner of the inflammation-boosting effect caused by acute hyperglycemia secondary to overfeeding and the effects of insulin therapy in a rat model of sepsis.	J Surg Res

計 13

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
60	Nowatari T	消化器(外)診療グループ	Role of platelets in chronic liver disease and acute liver injury.	Hepatol Res
61	Takahashi K	消化器(外)診療グループ	A stand-alone synbiotic treatment for the prevention of D-lactic acidosis in short bowel syndrome.	Int Surg
62	Ohara Y	消化器(外)診療グループ	Histological and prognostic importance of CD44(+)/CD24(+)/EpCAM(+) expression in clinical pancreatic cancer.	Cancer Sci
63	Ohkohchi N.	消化器(外)診療グループ	Transparency of the death caused by medical practice.	Nihon Geka Gakkai
64	Oshiro Y	消化器(外)診療グループ	A novel preoperative fusion analysis using three-dimensional MDCT combined with three-dimensional MRI for patients with hilar cholangiocarcinoma.	Clin Imaging
65	Ogawa K	消化器(外)診療グループ	Influence of Kupffer cells and platelets on ischemia-reperfusion injury in mild steatotic liver.	World J Gastroenterol
66	Takahashi A	消化器(外)診療グループ	NC-6300, an epirubicin-incorporating micelle, extends the antitumor effect and reduces the cardiotoxicity of epirubicin.	Cancer Sci
67	Oshiro Y	消化器(外)診療グループ	Analysis of the caudate artery with three-dimensional imaging.	J Hepatobiliary Pancreat
68	Muruyama T	消化器(外)診療グループ	Platelet transfusion improves liver function in patients with chronic liver disease and cirrhosis.	Tohoku J Exp Med
69	Takahashi K	消化器(外)診療グループ	Human platelets promote liver regeneration with Kupffer cells in SCID mice.	J Surg Res
70	Tamura T	消化器(外)診療グループ	Protective effect of heme oxygenase-1 on hepatic ischemia-reperfusion injury through inhibition of platelet adhesion to the sinusoids.	J Gastroenterol Hepatol
71	Takahashi K	消化器(外)診療グループ	Novel therapy for liver regeneration by increasing the number of platelets	Surg Today
72	Oshiro Y	消化器(外)診療グループ	Inflammation-based prognostic score is a useful predictor of postoperative outcome in patients with extrahepatic cholangiocarcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Sci
73	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Th17-associated cytokines as a therapeutic target for steroid-insensitive asthma.	Clin Dev Immunol.

計 14

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
74	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Role of Th1/Th17 Balance Regulated by T-bet in a Mouse Model of Mycobacterium avium Complex Disease.	J Immunol.
75	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	SQSTM1/p62/A170 regulates the severity of Legionella pneumophila pneumonia by modulating inflammasome activity.Ohtsuka S, Ishii Y, Matsuyama M, Ano S, Morishima Y, Yanagawa T, Warabi E, Hizawa N.	Eur J Immunol.
76	檜澤伸之、坂本透、野口恵美子他	呼吸器(内)診療グループ/遺伝診療グループ	Genome-Wide Association Study for Levels of Total Serum IgE Identifies HLA-C in a Japanese Population	PLoS One.
77	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Carbocysteine Reduces Viral-Induced Pulmonary Inflammation in Mice Exposed to Cigarette Smoke	Am J Respir Cell Mol Biol.
78	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Isolated solitary brain metastasis as a relapse of small cell lung cancer.	Oncol Lett.
79	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	The CC16 A38G polymorphism is associated with asymptomatic airway hyper-responsiveness and development of late-onset asthma	Ann Allergy Asthma Immunol.
80	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Expression and function of Allergin-1 on human primary mast cells.	PLoS One.
81	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Inverse U shape of the trachea during an asthma attack.	Intern Med.
82	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Broncho-bronchiolitis obliterans after living-donor lung transplantation: a unique manifestation of chronic allograft rejection.	Transplantation.
83	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	[Bronchial asthma: progress in diagnosis and treatments. Topics: 1. Pathogenesis and pathophysiology; 2. Genes associated with asthma and asthma-related phenotypes].Hizawa N.	Nihon Naika Gakkai Zasshi.
84	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Characteristics associated with empathic behavior in Japanese oncologists.	Patient Educ Couns.
85	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Pharmacogenetics of chronic obstructive pulmonary disease.	Pharmacogenomics.
86	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Use of tiotropium in patients with COPD aged 80 years and older	Exp Ther Med.

計 13

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
87	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Defecation-related asthma.	Intern Med.
88	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Observational study on the efficacy and safety of erlotinib in patients with non-small cell lung cancer.	Oncol Lett.
89	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	The search for common pathways underlying asthma and COPD.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis.
90	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Survival difference in NSCLC and SCLC patients with diabetes mellitus according to the first-line therapy.	Med Oncol.
91	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Transcription factors GATA-3 and ROR γ t are important for determining the phenotype of allergic airway inflammation in a murine model of asthma.	J Immunol.
92	檜澤伸之、坂本透、野口恵美子他	呼吸器内科診療グループ/遺伝診療グループ	Asthma phenotypes in Japanese adults - their associations with the CCL5 and ADRB2 genotypes.	Allergol Int.
93	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	Variants in the 17q21 asthma susceptibility locus are associated with allergic rhinitis in the Japanese population.	Allergy.
94	川口 未央	呼吸器(内)診療グループ	Basic research on virus-induced asthma exacerbation: inhibition of inflammatory chemokine expression by fluticasone propionate. Matsukura S, Kurokawa M, Homma T, Watanabe S, Suzuki S, Ieki K, Takeuchi H, Notomi K, Schleimer RP, Kawaguchi M, Kokubu F.	Int Arch Allergy Immunol.
95	川口 未央	呼吸器(内)診療グループ	Interleukin-33-activated dendritic cells induce the production of thymus and activation-regulated chemokine and macrophage-derived chemokine.	Int Arch Allergy Immunol.
96	川口 未央	呼吸器(内)診療グループ	Therapeutic effects of human mesenchymal stem cells in Wistar-Kyoto rats with anti-glomerular basement membrane glomerulonephritis.	PLoS One.
97	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ	Computed tomography findings of aspiration pneumonia in 53 patients.	Geriatr Gerontol
98	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ	Clinical practice guidelines for nursing- and healthcare-associated pneumonia (NHCAP) [complete translation]	Respir Investig.

計 12

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
99	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Cisplatin for small cell lung cancer: Associated publications in Science Citation Index Expanded.	Oncol Lett.
100	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Biliary tract compression caused by a giant abdominal aneurysm.	Intern Med.
101	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Prevalence of underlying lung disease in smokers with epidermal growth factor receptor-mutant lung cancer.	Oncol Rep.
102	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Cavitary pulmonary metastases of pancreas cancer. J Gastrointest	J Gastrointest Cancer.
103	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Obstructive jaundice as recurrence of lung adenocarcinoma.	J Gastrointest Cancer.
104	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Small cell lung cancer with endobronchial growth: A case report.	Oncol Lett.
105	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Eosinophilic pneumonia in a patient with anticentromere antibody.	Reumatol Clin.
106	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Non-interventional management of small pneumothorax in the very elderly.	Tuberk Toraks.
107	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Peritoneal relapse from lung adenocarcinoma after a response to EGFR-TKI. Tuberk Toraks.	Tuberk Toraks.
108	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Pneumothorax with postoperative complicated pleural adhesion.	Tuberk Toraks.
109	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Chemotherapy-induced complications in patients with lung cancer: an evaluation by pharmacists.	Mol Clin Oncol.
110	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Peritoneal and meningeal relapse from lung adenocarcinoma after a response to gefitinib.	Mol Clin Oncol.
111	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	Erlotinib for elderly patients with non-small cell lung cancer: subset analysis from a population-based observational study by the Ibaraki Thoracic Integrative (POSITIVE) Research Group.	Mol Clin Oncol.
112	伊藤 博道	呼吸器(外)診療グループ	Using synchrotron radiation angiography with a highly sensitive detector to identify impaired peripheral perfusion in rat pulmonary emphysema.	Journal of Synchrotron Radiation

計 14

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
113	後藤行延	呼吸器(外)診療グループ	Cardiopulmonary bypass induces recruitment of bone marrow-derived leukocytes to the lungs in monkeys.	Ann Thorac Surg
114	酒井光昭	呼吸器(外)診療グループ	Early-stage thymic carcinoma: is adjuvant therapy required?	J Thorac Dis
115	薄井真悟	呼吸器(外)診療グループ	Differences in the prognostic implications of vascular invasion between lung adenocarcinoma and squamous cell carcinoma	Lung Cancer
116	Okuda K, Ma D, Warabi E, Morito N, Akiyama K, Murata Y, Yamagata K, Bukawa H, Shoda J, Ishii T, Yanagawa	腎泌尿器(内)診療グループ	Amelioration of cisplatin-induced nephrotoxicity in peroxiredoxin I-deficient mice	Cancer Chemother Pharmacol.
117	Ishigami T1, Yamamoto R, Nagasawa Y, Isaka Y, Rakugi H, Iseki K, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Fujimoto S, Asahi K, Kurahashi I, Ohashi Y, Moriyama T, Watanabe T.	腎泌尿器(内)診療グループ	An association between serum γ -glutamyltransferase and proteinuria in drinkers and non-drinkers: a Japanese nationwide cross-sectional survey.	Clin Exp Nephrol.
118	Kei Nagai, Chie Saito, Fumiyo Watanabe, Reiko Ohkubo, Chihiro Sato, Tetsuya Kawamura, Kensuke Uchida, Akira Hiwatashi, Hirayasu Kai, Kumiko Ishida, Toshimi Sairenchi, Kunihiro Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ	Annual incidence of persistent proteinuria in the general population from Ibaraki annual urinalysis study.	Clinical Exp Nephrology
119	Tsuruya K, Yoshida H, Nagata M, Kitazono T, Hirakata H, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Yoshida H, Fujimoto S, Asahi K, Kurahashi I, Ohashi Y, Watanabe T.	腎泌尿器(内)診療グループ	Association of the triglycerides to high-density lipoprotein cholesterol ratio with the risk of chronic kidney disease: Analysis in a large Japanese population.	Atherosclerosis.
120	Kei Nagai, Chie Saito, Soh Suzuki, Masahiro Hagiwara, Hirayasu Kai, Joichi Usui, Keigyou Yoh, Shuichi Tsuruoka, Kunihiro Yamagata.	腎泌尿器(内)診療グループ	Birth weight and end-stage diabetic nephropathy in later life: a Japanese multicenter study.	Therapeutic Apheresis and Dialysis
121	Kondo M, Yamagata K, Hoshi SL, Saito C, Asahi K, Moriyama T, Tsuruya K, Konta T, Fujimoto S, Narita I, Kimura K, Iseki K, Iseki K.	腎泌尿器(内)診療グループ	Budget impact analysis of chronic kidney disease mass screening test in Japan.	Clin Exp Nephrol.
122	Yamagata K.	腎泌尿器(内)診療グループ	Clinical findings on ANCA-associated renal vasculitis from the Japan RPGN registry obtained via a questionnaire survey	Clinical Exp Nephrology
123	Hoshino J, Molnar MZ, Yamagata K, Ubara Y, Tukaichi K, Kovesdy CP, Kalantar-Zadeh K.	腎泌尿器(内)診療グループ	Developing an HbA1c-Based Equation to Estimate Blood Glucose in Maintenance Hemodialysis Patients	Diabetes Care.
124	Tsuruoka S, Yokota N, Hayasaka T, Saito T, Yamagata K	腎泌尿器(内)診療グループ	Dialyzability and pharmacokinetics of sitafloxacin following multiple oral dosing in infected hemodialysis patients	Ther Apher Dial
125	Nagai K, Tahara-Hanaoka S, Morishima Y, Tokunaga T, Imoto Y, Noguchi E, Kanemaru K, Imai M, Shibayama S, Hizawa N, Fujieda S, Yamagata K, Shibuya A.	腎泌尿器(内)診療グループ	Expression and function of Allergin-1 on human primary mast cells	PLOS ONE

計 13

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
126	R. Okubo, H. Kai, M. Kondo, C. Saito, K. Yoh, J. Usui, K. Yamagata.	腎泌尿器(内)診療グループ	Health-related quality of life and prognosis in patients with chronic kidney disease: a 3-year follow-up study.	Clinical Exp Nephrology
127	Nakai SI, Watanabe Y, Masakane I, Wada A, Shoji T, Hasegawa T, Nakamoto H, Yamagata K, Kazama JJ, Fujii N, Itami N, Shinoda T, Shigematsu T, Marubayashi S, Morita O, Hashimoto S, Suzuki K, Kimata N, Hanafusa N, Wakai K, Hamano T, Ogata S, Tsuchida K, Taniguchi M, Nishi H, Iseki K, Tsubakihara Y.	腎泌尿器(内)診療グループ	Overview of regular dialysis treatment in Japan (as of 31 December 2011).	Ther Apher Dial.
128	Akihiro Ishizu, Utano Tomaru, Taichi Murai, Tomohiro Yamamoto, Tatsuya Atsumi, Tahashi Yoshiki, Wako Yumura, Kunihiro Yamagata, Hidehiro Yamada, Shunichi Kumagai, Manae S.Kurokawa, Machi Suka, Hirofumi Makino, Shoichi Ozaki	腎泌尿器(内)診療グループ	Prediction of Response to Treatment by Gene Expression Profiling of Peripheral Blood in Patients with Microscopic Polyangiitis	Pathology Int.
129	Kawamura T, Usui J, Kaseda K, Takada K, Ebihara I, Ishizu T, Iitsuka T, Sakai K, Takemura K, Kobayashi M, Koyama A, Kanemoto K, Sumazaki R, Uesugi N, Noguchi M, Nagata M, Suka M, Yamagata K.	腎泌尿器(内)診療グループ	Primary membranoproliferative glomerulonephritis on the decline: decreased rate from the 1970s to the 2000s in Japan.	Clinical Exp Nephrology
130	Fernando V, Omura S, Sato F, Kawai E, Martinez NE, Elliott SF, Yoh K, Takahashi S;	腎泌尿器(内)診療グループ	Regulation of an autoimmune model for multiple sclerosis in Th2-biased GATA3 transgenic mice.	International Journal Of Molecular Sciences
131	Matsuyama M, Ishii Y, Yageta Y, Ohtsuka S, Ano S, Matsuno Y, Morishima Y, Yoh K, Takahashi S, Ogawa K, Hogaboam CM, Hizawa N	腎泌尿器(内)診療グループ	Role of Th1/Th17 Balance Regulated by T-bet in a Mouse Model of Mycobacterium avium Complex Disease.	Journal Of Immunology
132	Nagai K, Ueda A, Yamagata K.	腎泌尿器(内)診療グループ	Successful Use of Tocilizumab in a Case of Multicentric Castleman's Disease and End-Stage Renal Disease.	Therapeutic Apheresis and Dialysis
133	Fumitake Gejyo, Izumi Amano, Tetsuo Ando, Mari Ishida, Setichi Obayashi, Hiroshi Ogawa, Toshihiko Ono, Yutaka Kanno, Tateki Kitaoka, Kazutaka Kukita, Satoshi Kurihira, Motoyoshi Sato, Jeongsoo Shin, Masashi Suzuki, Susumu Takahashi, Yoshio Taguma, Yoshiaki Takemoto, Ryoichi Nakazawa, Takeshi Nakanishi, Hidetoshi Nakamura, Shigeko Hara, Makoto Hiramatsu, Ryuichi Furuya, Ikuto Masakane, Kenji Tsuchida, Yasuki Motomiya, Hiroyuki Morita, Kunihiro Yamagata, Kunihiro Yoshiya, and Tomoyuki Yamakawa	腎泌尿器(内)診療グループ	Survey of the Effects of a Column for Adsorption of $\beta 2$ -Microglobulin in Patients With Dialysis-Related Amyloidosis in Japan	Therapeutic Apheresis and Dialysis
134	C. Daussy, F. Faure, K. Mayol, S. Viel, G. Gasteiger, E. Charrier, J. Bienvenu, T. Henry, E. Debien, U.A. Hasan, J. Marvel, K. Yoh, S. Takahashi, I. Prinz, S. de Bernard, L. Buffat, T. Walzer.	腎泌尿器(内)診療グループ	T-bet and Eomes instruct the development of two distinct Natural Killer cell lineages in the liver and in the bone marrow.	Journal of Experimental Medicine

計 9

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
135	Sato Y1, Fujimoto S, Konta T, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Asahi K, Kurahashi I, Ohashi Y, Watanabe T.	腎泌尿器(内)診療グループ	U-shaped association between body mass index and proteinuria in a large Japanese general population sample	Clin Exp Nephrol.
136	Hoshino J1, Mehrotra R, Rhee CM, Yamagata K, Ubara Y, Takaichi K, Kovesdy CP, Molnar MZ, Kalantar-Zadeh K.	腎泌尿器(内)診療グループ	Using hemoglobin A1c to derive mean blood glucose in peritoneal dialysis patients.	Am J Nephrol.
137	Matsui Y, Nishiyama H, Yoshimura K, Xing ND, Sumiyoshi T, Saito R, Inoue T, Kamba T, Ogawa O	腎泌尿器(外)診療グループ	The effect of gemcitabine/paclitaxel chemotherapy on the survival of patients with metastatic urothelial cancers	Int J Clin Oncol. 2013 Apr; 18(2):321-328.
138	Takaoka E, Matsui Y, Inoue T, Miyazaki J, Nakashima M, Kimura T, Oikawa T, Kawai K, Yoshimura K, Habuchi T, Ogawa O, Nishiyama H.	腎泌尿器(外)診療グループ	Risk factors for intravesical recurrence in patients with high-grade T1 bladder cancer in the second TUR era.	Jpn J Clin Oncol. 2013 Apr;43(4):404-409.
139	Ochiai A, Okihara K, Kamoi K, Oikawa T, Shimazui T, Murayama S, Tomita K, Umekawa T, Uemura H, Miki T.	腎泌尿器(外)診療グループ	Clinical utility of the prostate cancer gene 3 (PCA3) urine assay in Japanese men undergoing prostate biopsy.	BJU Int. 2013 May;111(6):928-933
140	Inai H, Kawai K, Ikeda A, Ando S, Kimura T, Oikawa T, Onozawa M, Miyazaki J, Uchida K, Nishiyama H.	腎泌尿器(外)診療グループ	Risk factors for chronic kidney disease after chemotherapy for testicular cancer.	Int J Urol. 2013 Jul;20(7):716-722.
141	Kajita Y, Kato T Jr, Tamaki S, Furu M, Takahashi R, Nagayama S, Aoyama T, Nishiyama H, Nakamura E, Katagiri T, Nakamura Y, Ogawa O, Toguchida J.	腎泌尿器(外)診療グループ	The transcription factor Sp3 regulates the expression of a metastasis-related marker of sarcoma, actin filament-associated protein 1-like 1 (AFAP1L1).	PLoS One. 8(1)
142	Miyazaki J, Hinotsu S, Ishizuka N, Naito S, Ozono S, Akazu H, Nishiyama H.	腎泌尿器(外)診療グループ	Adverse reactions related to treatment compliance during BCG maintenance therapy for non-muscle-invasive bladder cancer.	Jpn J Clin Oncol. 2013 Aug;43(8):827-834.
143	Kimura T, Onozawa M, Miyazaki J, Kawai K, Nishiyama H, Hinotsu S, Akazu H.	腎泌尿器(外)診療グループ	Validation of the prognostic grouping of the seventh edition of the tumor-nodes-metastasis classification using a large-scale prospective cohort study database of prostate cancer treated with primary androgen deprivation therapy.	Int J Urol. 2013 Sep;20(9):880-888.
144	Kawai K, Ichioka D, Inai H, Miyazaki J, Nishiyama H.	腎泌尿器(外)診療グループ	Assessment and management of renal impairment in chemotherapy for urogenital cancer.	Jpn J Clin Oncol. 2013 Nov;43(11):1055-1063.
145	Inai H, Kawai K, Kojima T, Joraku A, Shimazui T, Yamauchi A, Miyagawa T, Endo T, Fukuhara Y, Miyazaki J, Uchida K, Nishiyama H.	腎泌尿器(外)診療グループ	Oncological outcomes of metastatic testicular cancers under centralized management through regional medical network.	Jpn J Clin Oncol. 2013 Dec;43(12):1249-1254.
146	Nakamura T, Fukiage M, Higuchi M, Nakaya A, Yano I, Miyazaki J, Nishiyama H, Akazu H, Ito T, Hosokawa H, Nakayama T, Harashima H.	腎泌尿器(外)診療グループ	Nanoparticulation of BCG-CWS for application to bladder cancer therapy.	J Control Release. 2014 Feb 28;176:44-53.
147	Ota T, Komori H, Rii J, Ochi A, Suzuki K, Shiga N, Nishiyama H.	腎泌尿器(外)診療グループ	Soft coagulation in partial nephrectomy without renorrhaphy: Feasibility of a new technique and early outcomes.	Int J Urol. 2014 Mar;21(3):244-247.

計 13

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
148	Koizumi C, Suetomi T, Matsuoka T, Ikeda A, Kimura T, Onozawa M, Miyazaki J, Kawai K, Takahashi H, Akaza H, Nishiyama H.	腎泌尿器(外)診療グループ	Regional difference in cancer detection rate in prostate cancer screening by a local municipality in Japan.	Prostate Int.2014 Mar;2(1):19-25.
149	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	New liver- β -cell axis that controls insulin secretory capacity.	J Diabetes Invest.
150	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	MatB promotes atherosclerosis by inhibiting foam-cell apoptosis.	Nat Commun.
151	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	ER ligands ameliorate fatty liver through a non-classical ER/LXR pathway.	Hepatology.
152	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	Eplerenone ameliorates the phenotypes of metabolic syndrome with NASH in liver-specific SREBP-1c Tg mice fed high-fat and high-fructose diet.	Am J Physiol EndocrinolMetab.
153	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	The Relationship between Diabetic Neuropathy and Sleep Apnea Syndrome: A Meta-Analysis.	Sleep Disord.
154	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	MicroRNA-33 regulates sterol regulatory element-binding protein 1 expression in mice.	Nat Commun.
155	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	Effect of Postmenopausal Status and Age at Menopause on Type 2 Diabetes and Prediabetes in Japanese Individuals: Toranomon Hospital Health Management Center Study 17 (TOPICS 17).	Diabetes Care
156	Shimano H,	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	Deranged fatty acid composition causes pulmonary fibrosis in Elovl6-deficient mice.	Nat Commun.
157	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	Use of high-normal levels of haemoglobin A1C and fasting plasma glucose for diabetes screening and for prediction: a meta-analysis.	Diabetes Metab Res Rev.
158	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	Glycogen shortage during fasting triggers liver-brain-adipose neurocircuitry to facilitate fat utilization.	Nat Commun.
159	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	TFE3 Controls Lipid Metabolism in Adipose Tissue of Male Mice by Suppressing Lipolysis and Thermogenesis.	Endocrinology.
160	Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	Insulin-dependent and -independent regulation of sterol regulatory element-binding protein-1c.	JOURNAL OF DIABETES INVESTIGATION.

計 13

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
161	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病 (内) 診療グループ	Quality and accuracy of Internet information concerning a healthy diet.	Int J Food Sci Nutr.
162	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病 (内) 診療グループ	Association of living alone with the presence of undiagnosed diabetes in Japanese men: the role of modifiable risk factors for diabetes: Toranomon Hospital Health Management Center Study 13 (TOPICS 13).	Diabet Med.
163	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病 (内) 診療グループ	Development of a Screening Score for Undiagnosed Diabetes and Its Application in Estimating Absolute Risk of Future Type 2 Diabetes in Japan: Toranomon Hospital Health Management Center Study 10 (TOPICS 10).	J Clin Endocrinol Metab.
164	Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病 (内) 診療グループ	Distinct regulation of plasma LDL cholesterol by eicosapentaenoic acid and docosahexaenoic acid in high fat diet-fed hamsters: Participation of cholesterol ester transfer protein and LDL receptor.	Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids.
165	Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病 (内) 診療グループ	Carotid Artery Plaque and LDL-to-HDL Cholesterol Ratio Predict Atherosclerotic Status in Coronary Arteries in Asymptomatic Patients with Type 2 Diabetes Mellitus.	J Atheroscler Thromb.
166	Bando Hiroko	乳腺・甲状腺・内分泌 (外) 診療グループ	Issues of concern in risk assessment, genetic counseling, and genetic testing of younger breast cancer patients in Japan	Breast Cancer 2013 Jun.
167	Kiyomatsu Hiroko	乳腺・甲状腺・内分泌 (外) 診療グループ	Extreme response to nab-paclitaxel and trastuzumab treatment in two patients with locally advanced or recurrent breast cancer	International Cancer Conference Journal (2013)
168	Mizutani Lisa	乳腺・甲状腺・内分泌 (外) 診療グループ	Glomus tumor of female breast: a case report and review of the literature	Journal of Medical Ultrasonics
169	Yoon JH, Jung SM, Park SH, Kato M, Yamashita T, Lee IK, Sudo K, Nakae S, Han JS, Kim OH, Oh BC, Sumida T, Kuroda M, Ju JH, Jung KC, Park SH, Kim DK, Mamura M.	膠原病リウマチアレル ギー内科診療グループ	Activin receptor-like kinase5 inhibition suppresses mouse melanoma by ubiquitin degradation of Smad4, thereby derepressing Eomesodermin in cytotoxic T lymphocytes.	EMBO Mol Med 5(11):1720-39,2013
170	Kawasaki A, Inoue N, Ajimi C, Sada K, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Sumida T, Tohma S, Miyasaka N, Matsuo S, Ozaki S, Hashimoto H, Makino H, Harigai	膠原病リウマチアレル ギー内科診療グループ	Association of IRF5 polymorphism with MPO-ANCA positive vasculitis in a Japanese population.	Genes Immun 14(8):527-9,2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
171	Furukawa H, Kawasaki A, Oka S, Shimada K, Masui T, Ikenaka T, Hashimoto A, Okazaki Y, Takaoka H, Futami H, Komiya A, Kondo Y, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Kusaoi M, Takasaki Y, Nagai T, Hirohata S, Setoguchi K, Suda A, Nagaoka S, Kono H, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Fukui N, Hashimoto H, Sumida T, Ono M, Tsuchiya N, Tohma S.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Association of a Single Nucleotide Polymorphism in the SH2D1A Intronic Region with Systemic Lupus Erythematosus.	Lupus 22(5):497-503,2013
172	Umeda N, Matsumoto I, Ito I, Kawasaki A, Tanaka Y, Inoue A, Tanaka Y, Tsuboi H, Suzuki T, Hayashi T, Ito S, Tsuchiya N, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Anti-citrullinated glucose-6-phosphate isomerase peptide antibodies in patients with rheumatoid arthritis are associated with HLA-DRB1 shared epitope alleles and disease activity.	Clin Exp Immunol 172(1):44-53,2013
173	Shimane K, Kochi Y, Suzuki A, Okada Y, Tomonori I, Horita T, Saito K, Okamoto A, Nishimoto N, Myouzen K, Hirakata M, Sumida T, Takasaki Y, Yamada R, Kamatani N, Nakamura Y, Kubo M, Yamamoto K	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	An association analysis of HLA-DRB1 with systemic lupus erythematosus and rheumatoid arthritis in a Japanese population: effects of *09:01 allele on disease phenotypes.	Rheumatology 52(7):1172-82,2013
174	Sumida T, Tsuboi H, Iizuka M, Asashima H, Matsumoto I.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Anti-M3 muscarinic acetylcholine receptor antibodies in patients with Sjogren's syndrome.	Mod Rheumatol 23(5): 841-5, 2013
175	Iizuka M, Tsuboi H, Matsuo N, Kondo Y, Asashima H, Matsui M, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	The crucial roles of IFN- γ in the development of M3 muscarinic acetylcholine receptor induced Sjogren's syndrome-like sialadenitis.	Mod Rheumatol 23(3):614-6, 2013
176	Suzuki T, Horikoshi M, Sugihara M, Hirota T, Ogishima H, Umeda N, Kondo Y, Tsuboi H, Hayashi T, Chino Y, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Therapeutic efficacy of tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis refractory to anti-tumor necrosis factor inhibitors: One year follow-up by low-field extremity MRI.	Mod Rheumatol 23(4):782-7,2013
177	Ishiguro N, Yamamoto K, Katayama K, Kondo M, Sumida T, Mimori T, Soen S, Nagai K, Yamaguchi T, Hara M, Igaratimod-Clinical Study Group	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Concomitant iguratimod therapy in patients with active rheumatoid arthritis despite stable doses of methotrexate: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	Mod Rheumatol 23:430-439,2013
178	Anami A, Fukushima K, Takasaki Y, Sumida T, Waguri M, Murashima A, Wake N.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	The predictive value of SS-A antibody titration in pregnant women with fetal congenital heart block.	Mod Rheumatol 23(3):430-9,2013
179	Tsuboi H, Hagiwara S, Asashima H, Umebara H, Kawakami A, Nakamura H, Sano H, Tsubota K, Ogawa Y, Takamura E, Saito I, Inoue H, Nakamura S, Moriyama M, Takeuchi T, Tanaka Y, Hirata S, Mimori T, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Validation of different sets of criteria for the diagnosis of Sjogren's syndrome in Japanese patients.	Mod Rheumatol 23(2):219-25, 2013
180	Fukuda K, Kurita N, Sakamoto T, Nishikii H, Okoshi Y, Sugano M, Chiba S.	血液診療グループ	Post-transplant gastric antral vascular ectasia after intra-venous busulfan regimen.	Int J Hematol 98(1):135-138, Jul, 2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
181	Kurita N, Obara N, Fukuda K, Nishikii H, Sato S, Inagawa S, Kurokawa T, Owada Y, Ninomiya H, Chiba S.	血液診療グループ	Perisurgical induction of eculizumab in a patient with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria: its inhibition of surgery-triggered hemolysis and the consequence of subsequent discontinuation.	Blood Coagul Fibrin 24(6):658-662, Sep, 2013
182	Sakamoto T, Obara N, Kurita N, Sakata-Yanagimoto M, Nishikii H, Yokoyama Y, Suzukawa K, Hasegawa Y, Chiba S.	血液診療グループ	Effectiveness and safety of rabbit anti-thymocyte globulin in Japanese patients with aplastic anemia.	Int J Hematol 98(3):319-322, Sep, 2013
183	Maie K, Okoshi Y, Takaiwa N, Kurita N, Hasegawa Y, Homma M, Ishii K, Kohda Y, Chiba S.	血液診療グループ	Aprepitant does not alter prednisolone pharmacokinetics in patients treated with R-CHOP.	Ann Oncol 25(1):298-299, Jan, 2014
184	Lee SY, Kurita N, Yokoyama Y, Seki M, Hasegawa Y, Okoshi Y, Chiba S.	血液診療グループ	Glucocorticoid-induced diabetes mellitus in patients with lymphoma treated with CHOP chemotherapy.	Support Care Cancer (5):1385-1390, May 22, 2014, Epub Dec 21, 2013
185	Sakata-Yanagimoto M, Enami T, Yoshida K, Shiraishi Y, Ishii R, Miyake Y, Muto H, Tsuyama N, Sato-Otsubo A, Okuno Y, Sakata S, Kamada Y, Nakamoto-Matsubara R, Tran NB, Izutsu K, Sato Y, Ohta Y, Furuta J, Shimizu S, Komeno T, Sato Y, Ito T, Noguchi M, Noguchi E, Sanada M, Chiba K, Tanaka H, Suzukawa K, Nanmoku T, Hasegawa Y, Nureki O, Miyano S, Nakamura N, Takeuchi K, Ogawa S, Chiba S.	血液診療グループ	Somatic RHOA mutation in angioimmunoblastic T cell lymphoma.	Nat Genet 46(2):171-175, Feb, 2014
186	Lee SY, Kurita N, Maie K, Seki M, Yokoyama Y, Suzukawa K, Hasegawa Y, Chiba S.	血液診療グループ	Prolonged Survival of a Refractory Acute Myeloid Leukemia Patient after a Third Hematopoietic Stem Cell Transplantation with Umbilical Cord Blood following a Second Relapse.	Case Rep Hematol 2014;2014:918708. Epub Feb 9, 2014
187	Kondo T, Asui M, Tsukita K, Kutoku Y, Ohsawa Y, Sunada Y, Imamura K, Egawa N, Yahata N, Okita K, Takahashi K, Asaka I, Aoi T, Watanabe A, Watanabe K, Kadoya C, Nakeno R, Watanabe D, Maruyama K, Hori O, Hibino S, Choshi T, Nakahata T, Hioki H, Kaneko T, Naitoh M, Yoshikawa K, Yamawaki S, Suzuki S, Hata R, Ueno S, Seki T, Kobayashi K, Toda T, Murakami K, Irie K, Klein WL, Mori H, Asada T, Takahashi R, Iwata N, Yamanaka S, Inoue H	精神神経診療グループ	Modeling Alzheimer's disease with iPSCs reveals stress phenotypes associated with intracellular A β and differential drug responsiveness.	Cell Stem Cell
188	Mizukami K, Abrahamson EE, Mi Z, Ishikawa M, Watanabe K, Kinoshita S, Asada T, Ikonovic MD	精神神経診療グループ	Immunohistochemical analysis of ubiquitin-1 in the human hippocampus: association with neurofibrillary tangle pathology.	Neuropathology
189	Musha T, Matsuzaki H, Kobayashi Y, Okamoto Y, Tanaka M, Asada T	精神神経診療グループ	EEG markers for characterizing anomalous activities of cerebral neurons in NAT (neuronal activity topography) method.	IEEE Trans Biomed Eng
190	Endo G, Tachikawa H, Fukuoka Y, Aiba M, Nemoto K, Shiratori Y, Matsui Y, Doi N, and Asada T	精神神経診療グループ	How perceived social support relates to suicidal ideation: A Japanese social resident survey..	Int J Soc Psychiatry

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
191	Yasuno F, Asada T	精神神経診療グループ	Effect of plasma lipids and APOE genotype on cognitive decline	Dialogues Clin Neurosci
192	Miyashita A, Koike A, Jun G, Wang LS, Takahashi S, Matsubara E, Kawarabayashi T, Shoji M, Tomita N, Arai H, Asada T, Harigaya Y, Ikeda M, Amari M, Hanyu H, Higuchi S, Ikeuchi T, Nishizawa M, Suga M, Kawase Y, Akatsu H, Kosaka K, Yamamoto T, Imagawa M, Hamaguchi T, Yamada M, Morijima T, Takeda M, Takao T, Nakata K, Fujisawa Y, Sasaki K, Watanabe K, Nakashima K, Urakami K, Ooya T, Takahashi M, Yuzuriha T, Serikawa K, Yoshimoto S, Nakagawa R, Kim JW, Ki CS, Won HH, Na DL, Seo SW, Mook-Jung I; Alzheimer Disease Genetics Consortium, St George-Hyslop P, Mayeux R, Huines JL, Pericak-Vance MA, Yoshida M, Nishida N, Tokunaga K, Yamamoto K, Tsuji S, Kanazawa I, Ihara Y, Schellenberg GD, Farrer LA, Kuwano R	精神神経診療グループ	SORL1 is genetically associated with late-onset Alzheimer's disease in Japanese, Koreans and Caucasians.	PLoS One
193	Yamane T, Ikari Y, Nishio T, Ishii K, Ishii K, Kato T, Ito K, Silverman DH, Senda M, Asada T, Arai H, Sugishita M, Iwatsubo T; the J-ADNI Study Group.	精神神経診療グループ	Visual-statistical interpretation of (18)F-FDG-PET images for characteristic Alzheimer patterns in a multicenter study: inter-rater concordance and relationship to automated quantitative evaluation.	AJNR Am J Neuroradiol
194	Kobayashi Z, Arai T, Yokota O, Tsuchiya K, Hosokawa M, Oshima K, Niizato K, Akiyama H, Mizusawa H	精神神経診療グループ	Atypical FTLD-FUS associated with ALS-TDP: a case report.	Neuropathology
195	Masuda-Suzukake M, Nonaka T, Hosokawa M, Oikawa T, Arai T, Akiyama H, Mann D, Hasegawa M	精神神経診療グループ	Prion-like spreading of pathological α -synuclein in brain.	Brain
196	Nonaka T, Masuda-Suzukake M, Arai T, Hasegawa Y, Akatsu H, Obi T, Yoshida M, Murayama S, Mann DMA, Akiyama H, Hasegawa M	精神神経診療グループ	Prion-like properties of pathological TDP-43 aggregates from diseased brains	Cell Rep
197	Kobayashi Z, Kawakami I, Arai T, Yokota O, Tsuchiya K, Kondo H, Shimomura Y, Haga C, Aoki N, Hasegawa M, Hosokawa M, Oshima K, Niizato K, Ishizu H, Terada S, Onaya M, Ikeda M, Oyanagi K, Nakano I, Murayama S, Akiyama H, Mizusawa H	精神神経診療グループ	Pathological features of FTLD-FUS in a Japanese population: analyses of nine cases.	J Neurol Sci
198	Kobayashi Z, Akaza M, Ishihara S, Tomimitsu H, Inadome Y, Arai T, Akiyama H, Shintani S	精神神経診療グループ	Thalamic hypoperfusion in early stage of progressive supranuclear palsy (Richardson's syndrome): report of an autopsy-confirmed case.	J Neurol Sci
199	Liu R1, Yang G, Nonaka T, Arai T, Jia W, Cynader MS.	精神神経診療グループ	Reducing TDP-43 aggregation does not prevent its cytotoxicity.	Acta Neuropathol Commun
200	Mizukami K1, Abrahamson EE, Mi Z, Ishikawa M, Watanabe K, Kinoshita S, Asada T, Ikonovic MD.	精神神経診療グループ	Immunohistochemical analysis of ubiquitin-1 in the human hippocampus: association with neurofibrillary tangle pathology.	Neuropathology

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
201	Shiratori Y1, Tachikawa H, Nemoto K, Endo G, Aiba M, Matsui Y, Asada T.	精神神経診療グループ	Network analysis for motives in suicide cases: A cross-sectional study.	Psychiatry Clin Neurosci
202	Nakamura K, Takahashi T, Nemoto K, Furuichi A, Nishiyama S, Nakamura Y, Ikeda E, Kido M, Noguchi K, Seto H, Suzuki M	精神神経診療グループ	Gray matter changes in subjects at high risk for developing psychosis and first-episode schizophrenia: a voxel-based structural MRI study.	Front Psychiatry
203	K Ito, E Mori, H Fukuyama, K Ishii, Y Washimi, T Asada, S Mori, K Meguro, S Kitamura, H Hanyu, S Nakano, H Matsuda, Y Kuwabara, K Hashikawa, T Momose, Y Uchida, J Hatazawa, Si Minoshima, K Kosaka, T Yamada, Y Yonekura	精神神経診療グループ	Prediction of outcomes in MCI with 123I-IMP-CBF SPECT: a multicenter prospective cohort study	Annals of Nuclear Medicine
204	Miyashita A, Koike A, Jun G, Wang LS, Takahashi S, Matsubara E, Kawarabayashi T, Shoji M, Tomita N, Arai H, Asada T, Harigaya Y, Ikeda M, Amari M, Hanyu H, Higuchi S, Ikeuchi T, Nishizawa M, Suga M, Kawase Y, Akatsu H, Kosaka K, Yamamoto T, Imagawa M, Hamaguchi T, Yamada M, Morihara T, Takeda M, Takao T, Nakata K, Fujisawa Y, Sasaki K, Watanabe K, Nukushima K, Urakami K, Ooya T, Takahashi M, Yuzuriha T, Serikawa K, Yoshimoto S, Nakagawa R, Kim JW, Ki CS, Won HH, Na DL, Seo SW, Mook-Jung I: The Alzheimer Disease Genetics Consortium, St George-Hyslop P, Mayeux R, Haines JL, Pericak-Vance MA, Yoshida M, Nishida N, Tokunaga K, Yamamoto K, Tsuji S, Kanazawa I, Ihara Y, Schellenberg GD, Farrer LA, Kuwano R.	精神神経診療グループ	Correction: SORL1 Is Genetically Associated with Late-Onset Alzheimer's Disease in Japanese, Koreans and Caucasians	PLOS ONE
205	Nose M, Kodama C, Ikejima C, Mizukami K, Matsuzaki A, Tanaka S, Yoshimura A, Yasuno F, Asada T.	精神神経診療グループ	ApoE4 is not associated with depression when mild cognitive impairment is considered	Int J Geriatr Psychiatry.
206	Fujisawa Y, Nakamura Y, Kawachi Y, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Comparison between taxane-based chemotherapy with conventional surgery-based therapy for cutaneous angiosarcoma: a single-center experience.	J Dermatolog Treat.
207	Fujisawa Y, Miyazono Y, Kawachi Y, Otsuka F.	皮膚診療グループ	A case of sterile transient neonatal pustulosis presenting with large flaccid pustules.	Pediatr Dermatol.
208	Kawachi Y, Ishitsuka Y, Maruyama H, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ishii Y, Ichikawa E, Otsuka F.	皮膚診療グループ	The POU domain transcription factors Oct-6 and Oct-11 negatively regulate loricrin gene expression in keratinocytes: association with AP-1 and Sp1/Sp3.	Arch Dermatol Res.
209	Nakamura Y, Iino Y, Nakamura Y, Fujisawa Y, Kawachi Y, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Intraneural granular cell tumor of the dorsal ramus of a thoracic nerve.	Indian J Dermatol Venereol Leprol.
210	Ishitsuka Y, Kawachi Y, Taguchi S, Maruyama H, Nakamura Y, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ishii Y, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Pituitary tumor-transforming gene 1 as a proliferation marker lacking prognostic value in cutaneous squamous cell carcinoma.	Exp Dermatol.

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
211	Kawashima H, Kawachi Y, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ishii Y, Ichikawa E, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Circumscribed palmar hypokeratosis: implication of suppression of early epidermal differentiation.	Eur J Dermatol.
212	Kawachi Y, Maruyama H, Ishitsuka Y, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ichikawa E, Furumura M, Otsuka F.	皮膚診療グループ	NF1 gene silencing induces upregulation of vascular endothelial growth factor expression in both Schwann and non-Schwann cells.	Exp Dermatol.
213	Fujisawa Y, Nakamura Y, Kawachi Y, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Docetaxel was effective in the management of metastatic angiosarcoma associated with disseminated intravascular coagulation syndrome.	Int J Dermatol.
214	Nakamura Y, Fujisawa Y, Nakamura Y, Maruyama H, Furuta J, Kawachi Y, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Improvement of the sentinel lymph node detection rate of cervical sentinel lymph node biopsy using real-time fluorescence navigation with indocyanine green in head and neck skin cancer.	J Dermatol.
215	Maruyama H, Fujisawa Y, Nakamura Y, Kawachi Y, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Penile preservation surgery in a case of erythroplasia of Queyrat involving the glans penis and distal urethra.	Int J Dermatol.
216	Ishitsuka Y, Kawachi Y, Maruyama H, Taguchi S, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ishii Y, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Pituitary tumor transforming gene 1 induces tumor necrosis factor- α production from keratinocytes: implication for involvement in the pathophysiology of psoriasis.	J Invest Dermatol.
217	Kawachi Y, Obara S, Nakamura Y, Fujisawa Y, Nakamura Y, Ishii Y, Ichikawa E, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Ischemic leg ulcer due to vasculopathy associated with neurofibromatosis type 1.	Eur J Dermatol.
218	Nakamura Y, Kawachi Y, Nakamura Y, Iino Y, Fujisawa Y, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Linear lupus erythematosus profundus involving the muscle with an intractable deep ulcer, successfully treated with surgical excision.	Eur J Dermatol.
219	Nakamura Y, Nakamura Y, Suito A, Fujisawa Y, Kawachi Y, Otsuka F.	皮膚診療グループ	High-grade mucoepidermoid carcinoma of the columella successfully reconstructed using bilateral nasolabial flaps set up in a sandwich shape and an auricular cartilage graft after surgical resection.	J Dermatol.
220	Taguchi S, Kawachi Y, Fujisawa Y, Nakamura Y, Furuta J, Otsuka F.	皮膚診療グループ	Psoriasiform eruption associated with graft-versus-host disease.	Cutis.
221	Fujisawa Y, Fujimoto M.	皮膚診療グループ	Metastatic cutaneous apocrine carcinoma of the axilla successfully treated using systemic chemotherapy with i.v. epirubicin and cyclophosphamide followed by oral fluorinated pyrimidine.	J Dermatol.
222	Fujisawa Y, Furuta J, Kawachi Y.	皮膚診療グループ	Dermatofibrosarcoma protuberans mimicking cutaneous sarcoidosis in a patient with lung sarcoidosis.	Eur J Dermatol.

計 12

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
223	Hasegawa M, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Ogawa F, Takahashi H, Tanaka S, Sato S, Takehara K.	皮膚診療グループ	Serum adhesion molecule levels as prognostic markers in patients with early systemic sclerosis: a multicentre, prospective, observational study.	PLoS One.
224	Ueda-Hayakawa I, Kusuyama T, Isei T, Ozaki Y, Hamaguchi Y, Fujimoto M, Takehara K, Okamoto H.	皮膚診療グループ	Cutaneous necrotizing vasculitis in a patient with dermatomyositis positive for anti-PL-7 antibody.	Eur J Dermatol.
225	Hatta Y, Hasegawa M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Fujimoto M, Takehara K.	皮膚診療グループ	The clinical characteristics of juvenile-onset systemic sclerosis in Japanese patients.	Mod Rheumatol.
226	Hamaguchi Y, Fujimoto M, Oishi K, Kitajima S, Wada T, Takehara K.	皮膚診療グループ	Cutaneous Mycobacterium chelonae infection in a rheumatoid arthritis patient treated with etanercept.	Eur J Dermatol.
227	Hamaguchi Y, Yamada K, Kawano M, Fujimoto M, Takehara K.	皮膚診療グループ	Prurigo nodularis-like skin eruptions in a patient with IgG4-related disease.	Eur J Dermatol.
228	Hamaguchi Y, Fujimoto M, Matsushita T, Kaji K, Komura K, Hasegawa M, Kidera M, Muroi E, Fujikawa K, Seishima M, Yamada H, Yamada R, Sato S, Takehara K, Kuwana M.	皮膚診療グループ	Common and distinct clinical features in adult patients with anti-aminoacyl-tRNA synthetase antibodies: heterogeneity within the syndrome.	PLoS One.
229	Jin G, Hamaguchi Y, Matsushita T, Hasegawa M, Le Huu D, Ishiura N, Naka K, Hirao A, Takehara K, Fujimoto M.	皮膚診療グループ	B-cell linker protein expression contributes to controlling allergic and autoimmune diseases by mediating IL-10 production in regulatory B cells.	J Allergy Clin Immunol.
230	Huu DL, Matsushita T, Jin G, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Takehara K, Fujimoto M.	皮膚診療グループ	FTY720 ameliorates murine sclerodermatous chronic graft-versus-host disease by promoting expansion of splenic regulatory cells and inhibiting immune cell infiltration into skin.	Arthritis Rheum.
231	Le Huu D, Matsushita T, Jin G, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Takehara K, Tedder TF, Fujimoto M.	皮膚診療グループ	Donor-derived regulatory B cells are important for suppression of murine sclerodermatous chronic graft-versus-host disease.	Blood
232	Hasegawa M, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Ogawa F, Takahashi H, Tanaka S, Sato S, Takehara K.	皮膚診療グループ	Serum chemokine levels as prognostic markers in patients with early systemic sclerosis: a multicenter, prospective, observational study.	Mod Rheumatol.
233	Hasegawa M, Higuchi K, Matsushita T, Hamaguchi Y, Saito K, Fujimoto M, Takehara K.	皮膚診療グループ	Dermokine inhibits ELR(+)CXC chemokine expression and delays early skin wound healing.	J Dermatol Sci.
234	Nakamura A, Horigome H, Seo Y, Ishizu T, Sumazaki R.	小児(内)診療グループ	Right Ventricular Remodeling Due to Pulmonary Regurgitation Is Associated With Reduced Left Ventricular Free Wall Strain in Surgically Repaired Tetralogy of Fallot.	Circ J. 2014 May 23. [Epub ahead of print]

計 12

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
235	Mahmoud SS, Fukushima T, Shimizu T, Nakao T, Yamaguchi R, Fukushima H, Wada H, Nanmoku T, Sumazaki R.	小児(内)診療グループ	Persistent low level Epstein-Barr virus DNAemia in childhood cancer survivors.	Pediatr Hematol Oncol. 2013 Apr;30(3):216-25
236	Iwabuchi A, Kamoda T, Saito M, Nozue H, Izumi I, Hirano T, Sumazaki R.	小児(内)診療グループ	Serum dipeptidyl peptidase 4 activity in children with type 1 diabetes mellitus.	J Pediatr Endocrinol Metab. 2013;26(11-12):1093-7.
237	福島絳子、福島敬、小林千恵、須磨崎亮、野口恵美子他	小児内科診療グループ/ 遺伝診療グループ	Polymorphisms of MTHFR Associated with Higher Relapse/Death Ratio and Delayed Weekly MTX Administration in Pediatric Lymphoid Malignancies.	Leuk Res Treatment. 2013;238528, 2013.
238	Fukushima H, Fukushima T, Sakai A, Suzuki R, Nakajima-Yamaguchi R, Kobayashi C, Iwabuchi A, Saito M, Yoshimi A, Nakao T, Kato K, Tsuchida M, Takahashi H, Koike K, Kiyokawa N, Noguchi E, Sumazaki R.	小児(内)診療グループ	Polymorphisms of MTHFR Associated with Higher Relapse/Death Ratio and Delayed Weekly MTX Administration in Pediatric Lymphoid Malignancies.	Leuk Res Treatment. 2013;
239	Fukushima H, Fukushima T, Suzuki R, Enokizono T, Matsunaga M, Nakao T, Koike K, Mori K, Matsueda K, Sumazaki R.	小児(内)診療グループ	Continuous regional arterial infusion effective for children with acute necrotizing pancreatitis even under neutropenia.	Pediatr Int. 2013 Apr;55(2):e11-3.
240	Jimbo T, Masumoto K, Noguchi E.	小児(外)診療グループ/ 遺伝診療グループ	Nevoid basal cell carcinoma syndrome with a unilateral giant ovarian fibroma in a Japanese 6-year-old girl	Eur J Pediatr 2013.
241	Tanaka H,	小児(外)診療グループ	Pancreatoblastoma with portal vein involvement in a child: A case report	J Wound Care
242	Fujishiro J, Masumoto K,	小児(外)診療グループ	Pancreatic complications in pediatric choledochal cysts	J Pediatr Surg
243	Koji Adachi, Togashi S, Sasaki K, Sekido M	形成診療グループ	Laser therapy treatment of phacomatosis pigmentovascularis type II: two case reports	Journal of Medical Case Reports
244	Koji Adachi, Togashi S, Yanagawa T, Ishibashi N, Goto T, Yamagata K, Onizawa K, Sasaki H, Sasaki K, Bukawa H, Sekido M	形成診療グループ	Presurgical orthopedic treatment ameliorates postoperative nasal deformity after cheiloplasty.	Ann Plast Surg
245	Egawa N, Kitacka S, Tsukita K, Naitoh M, Takahashi K, Yamamoto T, Adachi F, Kondo T, Okita K, Asaka I, Aoi T, Watanabe A, Yamada Y, Morizane A, Takahashi J, Ayaki T, Ito H, Yoshikawa K, Yamawaki S, Suzuki S, Watanabe D, Hioki H, Kaneko T, Makioka K, Okamoto K, Takuma H, Tamaoka A, Hasegawa K, Nonaka T, Hasegawa M, Kawata A, Yoshida M, Nakahata T, Takahashi R, Marchetto MC, Gage FH, Yamanaka S, Inoue H.	脳神経(内)診療グループ	Response to Comment on "Drug Screening for ALS Using Patient-Specific Induced Pluripotent Stem Cells"	Sci Transl Med. 2013 Jun 5;5(188):188r2. doi: 10.1126/scitranslmed.3005697
246	Baba O, Yamagata K, Tomidokoro Y, Tamaoka A, Itoh H, Yanagawa T, Onizawa K, Bukawa H.	脳神経(内)診療グループ	Neuroleptic Malignant Syndrome in a Patient with Tongue Cancer: A Report of a Rare Case.	Case Rep Dent. 2013;2013:542130. Epub 2013 Jun 18.

計 12

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
247	Hosokawa M, Arai T, Yamashita M, Tsuji H, Nonaka T, Masuda-Suzukake M, Tamaoka A, Hasegawa M, Akiyama H	脳神経(内)診療グループ	Differential diagnosis of amyotrophic lateral sclerosis from Guillain-Barré syndrome by quantitative determination of TDP-43 in cerebrospinal fluid.	Int J Neurosci. 2014; 124(5): 344-349.
248	Akamatsu M, Takuma H, Yamashita T, Okada T, Keino-Masu K, Ishii K, Kwak S, Masu M, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ	A unique mouse model for investigating the properties of amyotrophic lateral sclerosis-associated protein TDP-43, by in utero electroporation.	Neurosci Res. 2013; 77(4): 234-241.
249	Iwata A, Nagata K, Hatsuta H, Takuma H, Bundo M, Iwamoto K, Tamaoka A, Murayama S, Saido T, Tsuji S.	脳神経(内)診療グループ	Altered CpG methylation in sporadic Alzheimer's disease is associated with APP and MAPT dysregulation.	Hum Mol Genet 23(3):648-56, 2014
250	Hoshino S, Sukamoto K, Vassilopoulos S, Camus SM, Griffin CA, Esk C, Torres JA, Ohkoshi N, Ishii A, Tamaoka A, Funke BH, Kuchelapati R, Margeta M, Rando TA, Brodsky FM	脳神経(内)診療グループ	The CHC22 clathrin-GLUT4 transport pathway contributes to skeletal muscle regeneration	PLoS One. 2013 Oct 30;8(10):e77787. doi: 10.1371/journal.pone.0077787. eCollection 2013
251	Ishii K, Itoh Y, Iwasaki N, Shibata Y, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ	Detection of Diphenylarsinic Acid and Its Derivatives in Human Serum and Cerebrospinal Fluid.	Clin Chim Acta.
252	Ishii K, Kanazawa T, Tomidokoro Y, Tamaoka A	脳神経(内)診療グループ	Glossopharyngeal nerve and vagus nerve palsies associated with Influenza vaccination.	Intern Med.
253	Ishii A, Ohkoshi N, Yoshida M, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ	The effect of water-soluble fullerene with different number of hydroxyl groups in muscle regeneration process of experimental murine skeletal muscle	Neuromuscular Disorders
254	Nakamagoe K, Fujizuka N, Koganezawa T, Shimizu K, Takiguchi S, Horaguchi T, Ishii K, Tamaoka A	脳神経(内)診療グループ	Residual central nervous system damage due to organoarsenic poisoning.	Neurotoxicol Teratol.
255	Tsuda K, Tsurushima H, Takano S, Tsuboi K, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Brain metastasis from papillary thyroid carcinomas.	Mol Clin Oncol.
256	Takada T, Tamura M, Yamamoto T, Matsui H, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Selective accumulation of hematoporphyrin derivative in glioma through proton-coupled folate transporter SLC46A1.	J Clin Biochem Nutr.
257	Sakakura K, Akutsu H, Yamamoto T, Masuda Y, Ishikawa E, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Trigeminal Neuralgia in a Patient with Marfan Syndrome: Case Report.	Neurol Med Chir (Tokyo).
258	Tsuruta W, Matsumaru Y, Miyachi S, Sakai N.	脳神経(外)診療グループ	Endovascular treatment of spinal vascular lesion in Japan: Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy (JR-NET) and JR-NET2.	Neurol Med Chir (Tokyo).
259	Matsubara T, Ishikawa E, Hirata K, Matsuda M, Akutsu H, Masumoto T, Zaboronok A, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	A new mechanism of cerebrospinal fluid leakage after lumboperitoneal shunt: a theory of shunt side hole-case report.	Neurol Med Chir (Tokyo).

計 13

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
260	Matsubara T, Ayuzawa S, Aoki T, Ikeda G, Shiigai M, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Cerebral venous thrombosis after ventriculoperitoneal shunting: a case report.	Neurol Med Chir (Tokyo).
261	Zaboronok A, Isoke T, Yamamoto T, Sato E, Takada K, Sakae T, Tsurushima H, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Proton beam irradiation stimulates migration and invasion of human U87 malignant glioma cells.	J Radiat Res.
262	Sakamoto N, Ishikawa E, Aoki K, Uemae Y, Komatsu Y, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Clinical outcomes of intracerebral hemorrhage in hemodialysis patients.	World Neurosurg.
263	Onuma K, Ishikawa E, Matsuda M, Hirata K, Osuka S, Yamamoto T, Masumoto T, Zaboronok A, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Clinical characteristics and neuroimaging findings in 12 cases of recurrent glioblastoma with communicating hydrocephalus.	Neurol Med Chir (Tokyo).
264	Shibata Y, Endo K.	脳神経(外)診療グループ	Evaluation of cerebral function using iomazenil SPECT for patients with traumatic brain injury.	Acta Neurochir Suppl.
265	Takano S, Kimu H, Tsuda K, Osuka S, Nakai K, Yamamoto T, Ishikawa E, Akutsu H, Matsuda M, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Decrease in the apparent diffusion coefficient in peritumoral edema for the assessment of recurrent glioblastoma treated by	Acta Neurochir Suppl.
266	Sato M, Nakai Y, Tsurushima H, Shiigai M, Masumoto T, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Risk factors of ischemic lesions related to cerebral angiography and neuro-interventional procedures.	Neurol Med Chir (Tokyo).
267	Kin H, Ishikawa E, Takano S, Ayuzawa S, Matsushita A, Muragaki Y, Aiyama H, Sakamoto N, Yamamoto T, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Language areas involving the inferior temporal cortex on intraoperative mapping in a bilingual patient with glioblastoma.	Neurol Med Chir (Tokyo).
268	Tuan Huynh NN, Hiroyoshi A, Shozo N, Takashi T, Hideo T, Akira M.	脳神経(外)診療グループ	Reversible focal radiological changes due to non-convulsive status epilepticus of the right parietooccipital lobe.	Turk Neurosurg.
269	Hara T, Matsuda M, Watanabe S, Nakai K, Yamamoto T, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Remote Cerebellar Hemorrhage after Removal of a Supratentorial Glioma without Perioperative CSF Loss: A Case Report.	Case Rep Surg.
270	Sakamoto N, Akutsu H, Takano S, Yamamoto T, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Useful 'sliding-lock-knot' technique for suturing dural patch to prevent cerebrospinal fluid leakage after extended transsphenoidal surgery.	Surg Neurol Int.
271	Sato M, Tukigawa T, Shiigai M, Tamura G, Masumoto T, Nakai Y, Zaboronok A, Tsurushima H, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Spinal dural arteriovenous fistula with lipomyelodysplasia.	Neurol Med Chir (Tokyo).
272	Ito Y, Tsurushima H, Sato M, Ito A, Oyane A, Sogo Y, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Angiogenesis therapy for brain infarction using a slow-releasing drug delivery system for fibroblast growth factor 2.	Biochem Biophys Res Commun.
273	Hara T, Akutsu H, Yamamoto T, Ishikawa E, Matsuda M, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Cushing's disease presenting with gastrointestinal perforation: a case report.	Endocrinol Diabetes Metab Case Rep.

計 14

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
274	Tsuda K, Akutsu H, Yamamoto T, Ishikawa E, Saito A, Nakai K, Takano S, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Benign spinal meningioma without dural attachment presenting delayed CSF dissemination and malignant transformation.	Brain Tumor Pathol.
275	Mizumoto M, Okumura T, Ishikawa E, Yamamoto T, Takano S, Matsumura A, Oshiro Y, Ishikawa H, Sakurai H, Tsuboi K.	脳神経(外)診療グループ	Reirradiation for recurrent malignant brain tumor with radiotherapy or proton beam therapy. Technical considerations based on experience at a single institution.	Strahlenther Onkol.
276	Akimoto K, Kimura K, Nagano M, Takano S, To'a Salazar G, Yamashita T, Ohneda O.	脳神経(外)診療グループ	Umbilical cord blood-derived mesenchymal stem cells inhibit, but adipose tissue-derived mesenchymal stem cells promote, glioblastoma multiforme proliferation.	Stem Cells Dev.
277	Yamazaki T, Sonobe M, Kato N, Kasuya H, Ikeda G, Nakamura K, Ito Y, Tsuruta W, Nakai Y, Matsumura A.	脳神経(外)診療グループ	Endovascular coiling as the first treatment strategy for ruptured pericallosal artery aneurysms: results, complications, and follow up.	Neurol Med Chir (Tokyo).
278	Ito Y, Kato N, Matsumura A, Sonobe M.	脳神経(外)診療グループ	Hemodynamic instability increases new ischemic brain lesions on diffusion-weighted imaging after carotid artery stenting.	Neurol Med Chir (Tokyo).
279	Kaneko MK, Morita S, Tsujimoto Y, Yanagiya R, Nasu K, Sasaki H, Hozumi Y, Goto K, Natsume A, Watanabe M, Kumabe T, Takano S, Kato Y.	脳神経(外)診療グループ	Establishment of novel monoclonal antibodies KMab-1 and MMab-1 specific for IDH2 mutations.	Biochem Biophys Res Commun.
280	Aoki T, Nishikawa R, Sugiyama K, Nonoguchi N, Kawabata N, Mishima K, Adachi J, Kurisu K, Yamaseki F, Tominaga T, Kumabe T, Ueki K, Higuchi F, Yamamoto T, Ishikawa E, Takeshima H, Yamashita S, Arita K, Hirano H, Yamada S, Matsutani M; NPC-08 study group.	脳神経(外)診療グループ	A multicenter phase I/II study of the BCNU implant (Gliadel® Wafer) for Japanese patients with malignant gliomas.	Neurol Med Chir (Tokyo).
281	Hirohata T, Asano K, Ogawa Y, Takano S, Amano K, Isozaki O, Iwai Y, Sakata K, Fukuhara N, Nishioka H, Yamada S, Fujio S, Arita K, Takano K, Tominaga A, Hizuka N, Ikeda H, Osamura RY, Tahara S, Ishii Y, Kawamata T, Shimatsu A, Teramoto A, Matsuno A.	脳神経(外)診療グループ	DNA mismatch repair protein (MSH6) correlated with the responses of atypical pituitary adenomas and pituitary carcinomas to temozolomide: the national cooperative study by the Japan Society for Hypothalamic and Pituitary Tumors.	J Clin Endocrinol Metab.
282	Nakajima J, Hitomi S, Koganemaru H, Nakai Y.	脳神経(外)診療グループ	Isolation of Staphylococcus epidermidis intermediately resistant to vancomycin in a case of central venous catheter-associated bloodstream infection.	J Infect Chemother.
283	Muragaki Y, Akimoto J, Maruyama T, Iseki H, Ikuta S, Nitta M, Maehayashi K, Saito T, Okuda Y, Kaneko S, Matsumura A, Kuroiwa T, Karasawa K, Nakazato Y, Kayama T.	脳神経(外)診療グループ	Phase II clinical study on intraoperative photodynamic therapy with talaporfin sodium and semiconductor laser in patients with malignant brain tumors.	J Neurosurg.
284	Osuka S, Sampetean O, Shimizu T, Saga I, Onishi N, Sugihara E, Okubo J, Fujita S, Takano S, Matsumura A, Saya H.	脳神経(外)診療グループ	IGF1 receptor signaling regulates adaptive radioprotection in glioma stem cells.	Stem Cells

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
285	Shibui S, Narita Y, Mizusawa J, Beppu T, Ogasawara K, Sawamura Y, Kobayashi H, Nishikawa R, Mishima K, Muragaki Y, Maruyama T, Kuratsu J, Nakamura H, Kochi M, Minamida Y, Yamaki T, Kumabe T, Tominaga T, Kayama T, Sakurada K, Nagane M, Kobayashi K, Nakamura H, Ito T, Yazaki T, Sasaki H, Tanaka K, Takahashi H, Asai A, Todo T, Wakabayashi T, Takahashi J, Takano S, Fujimaki T, Sumi M, Miyakita Y, Nakazato Y, Sato A, Fukuda H, Nomura K.	脳神経(外)診療グループ	Randomized trial of chemoradiotherapy and adjuvant chemotherapy with nimustine (ACNU) versus nimustine plus procarbazine for newly diagnosed anaplastic astrocytoma and glioblastoma (JCOG0305).	Cancer Chemother Pharmacol.
286	Yamazaki M	整形外科診療グループ	Granulocyte colony-stimulating factor reduced neuropathic pain associated with thoracic compression myelopathy: report of 2 cases.	J Spinal Cord Med
287	Nishiino T	整形外科診療グループ	Follow-up results of 10-12 years after total hip arthroplasty using cementless tapered stem -- frequency of severe stress shielding with synergy stem in Japanese patients.	J Arthroplasty
288	Kubota S	整形外科診療グループ	Feasibility of rehabilitation training with a newly developed wearable robot for patients with limited mobility.	Arch Phys Med Rehabil
289	Okamoto F	眼診療グループ	Metamorphopsia and Optical Coherence Tomography Findings After Rhegmatogenous Retinal Detachment Surgery.	American Journal of Ophthalmology
290	Okamoto F	眼診療グループ	Changes in contrast sensitivity after surgery for macula-on rhegmatogenous retinal detachment.	American Journal of Ophthalmology
291	Sugiura Y	眼診療グループ	Intraocular pressure fluctuation during microincision vitrectomy with constellation vision system.	American Journal of Ophthalmology
292	Hiraoka T	眼診療グループ	Compressed air blast injury with palpebral, orbital, facial, cervical, and mediastinal emphysema through an eyelid laceration: a case report and review of literature.	BMC Ophthalmology
293	Fukuda S	眼診療グループ	Comparison of three-dimensional optical coherence tomography and combining a rotating Scheimpflug camera with a Placido topography system for forme fruste keratoconus diagnosis.	British Journal of Ophthalmology
294	Ishii K	眼診療グループ	Elastic hysteresis in human eyes is an age-dependent value.	Clinical and Experimental Ophthalmology
295	Fukuda S	眼診療グループ	Oxidative stress retards vascular development before neural degeneration occurs in retinal degeneration rd1 mice.	Graefes Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
296	Ishii K	眼診療グループ	Relationship between changes in crystalline lens shape and axial elongation in young children.	Investigative Ophthalmology & Visual Science
297	Fukuda S	眼診療グループ	Keratoconus diagnosis using anterior segment polarization-sensitive optical coherence tomography.	Investigative Ophthalmology & Visual Science
298	Hiraoka T	眼診療グループ	Changes in functional visual acuity and ocular wavefront aberration after administration of eye ointment.	Journal of Ocular Pharmacology and Therapeutics
299	Hiraoka T	眼診療グループ	Influences of cycloplegia with topical atropine on ocular higher-order aberrations.	Ophthalmology
300	Fukuda S	眼診療グループ	Functional endothelial progenitor cells selectively recruit neurovascular protective monocyte-derived F4/80(+) /Ly6c(+) macrophages in a mouse model of retinal degeneration.	Stem Cells
301	Matsumoto K, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ	Association between carotenoids and outcome of cervical intraepithelial neoplasia: a prospective cohort study.	Int J Clin Oncol,
302	Satoh T, Matsumoto K, Tanaka YO, Akiyama A, Nakao S, Sakurai M, Ochi H, Onuki M, Minaguchi T, Sakurai H, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ/放射線腫瘍科診療グループ	Incidence of venous thromboembolism before treatment in cervical cancer and the impact of management on venous thromboembolism after commencement of treatment.	Thrombosis Research
303	Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ	Clinical Management of Atypical Polypoid Adenomyoma of the Uterus. A Clinicopathological Review of 29 Cases.	Gynecol Oncol
304	Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ	Phase III randomized controlled trial of neoadjuvant chemotherapy plus radical surgery versus radical surgery alone for stages IB2, IIA2, and IIB cervical cancer: A Japan Clinical Oncology Group trial (JCOG 0102).	Br J Cancer
305	Akiyama-Abe A, Minaguchi T, Nakamura Y, Michikami H, Shikama A, Nakao S, Sakurai M, Ochi H, Onuki M, Matsumoto K, Satoh T, Oki A, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ	Loss of PTEN expression is an independent predictor of favorable survival in endometrial carcinomas.	Br J Cancer
306	Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ	Status of treatment for the overall population of patients with stage IVb endometrial cancer, and evaluation of the role of preoperative chemotherapy: A retrospective multi-institutional study of 426 patients in Japan.	Gynecol. Oncol
307	Ochi H, Satoh T, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ	Surgery for endometrial cancers with suspected cervical involvement: is radical hysterectomy needed (a GOTIC study)?	Br J Cancer

計 12

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
308	Abe K, Hamada H, Obata-Yasuoka M, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ	Impact of planning of pregnancy in women with epilepsy on seizure control during pregnancy and on maternal and neonatal outcomes	Seizure-European Journal of Epilepsy.
309	Satoh T, et al.	婦人・周産期診療グループ	Clinicopathologic features of brain metastases from gynecologic malignancies: a retrospective study of 139 cases (KCOG-G1001s trial).	Gynecol Oncol
310	Satoh T, et al.	婦人・周産期診療グループ	Effects of Anma massage therapy (Japanese massage) for gynecological cancer survivors: study protocol for a randomized controlled trial.	Trials
311	I Uemaetomari, et al	耳鼻咽喉診療グループ	Vessel sealing device in parotid gland surgery: clinical and pathological study.	Advances in cancer research&treatment
312	Satsumae T, Yamaguchi H, Inomata S, Tanaka M	麻酔診療グループ	Magnesium sulfate attenuates tourniquet pain in healthy volunteers	J Anesth
313	Nakayama S, Vest R, Traystman RJ, Herson PS	麻酔診療グループ	Sexually dimorphic response of TRPM2 inhibition following cardiac arrest-induced global cerebral ischemia in mice	J Mol Neurosci
314	Tokuwaka J, Takahashi S, Tanaka M	麻酔診療グループ	Anaphylaxis after sugammadex administration	Can J Anaesth
315	Seto K	歯・口腔診療グループ	Negative expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in oral squamous cell carcinoma correlates with poor prognosis.	Springerplus
316	Yamagata K	歯・口腔診療グループ	Prognosis for gingival carcinomas with a delayed diagnosis after dental extraction.	J Oral Maxillofac Surg.
317	Baba O	歯・口腔診療グループ	Neuroleptic malignant syndrome in a patient with tongue cancer: a report of a rare case.	Case Rep Dent.
318	Seto K	歯・口腔診療グループ	Radiation-induced carotid artery stenosis in a patient with carcinoma of the oral floor.	Case Rep Oncol Med
319	Seto K	歯・口腔診療グループ	Interleukin-4 receptor α -based hybrid peptide effectively induces antitumor activity in head and neck squamous cell carcinoma.	Oncol Rep
320	Uchida F	歯・口腔診療グループ	Overexpression of CDCA2 in human squamous cell carcinoma: correlation with prevention of G1 phase arrest and apoptosis.	PLoS One

計 13

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
321	Nakahara S, Tomio J, Takahashi H, Ichikawa M, Nishida M, Morimura N, Sakamoto T.	保健衛生外来診療グループ	Evaluation of pre-hospital administration of adrenaline (epinephrine) by emergency medical services for patients with out of hospital cardiac arrest in Japan: controlled propensity matched retrospective cohort study.	BMJ.
322	Morita N., Nomoto,Y., Ukeda,E., Sufu ,K	保健衛生外来診療グループ	How does trauma caused by violence influence the risk of relapse in and effects of cognitive behavioral therapy for drug addicts in prison?	Acta Criminologiae et Medicinae Legalis Japonica
323	Akihiro SEKI, Yusuke TOMOTSUNE, Yuichi OHI, Yasuhito HIRAI, Shun SUZUKI , Sho-taro DOKI, Hidetoshi KANEKO, Naoaki SHO, Kazuya USAMI, Shin-ichiro SASAHARA, Ichiyo MATSUZAKI	保健衛生外来診療グループ	A Relationship between Sense of Coherence and Psycho-social Work Characteristics - Validation of Causal Relationship Using Structural Equation Modeling-	Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology
324	Nishino T et al.	救急・集中治療診療グループ	Follow-up results of 10-12 years after total hip arthroplasty using cementless tapered stem -- frequency of severe stress shielding with synergy stem in Japanese patients.	The Journal of Arthroplasty
325	Jesmin S,Mizutani T, Kawano S et al.	救急・集中治療診療グループ	Disruption of components of vascular endothelial growth factor angiogenic signalling system in metabolic syndrome. Findings from a study conducted in rural Bangladeshi women.	Thrombosis and Haemostasis
326	Jesmin S,Mizutani T, Kawano S et al.	救急・集中治療診療グループ	Metabolic syndrome among pre and post menopausal rural women in Bangladesh: result from a population based-study.	BMC Research Notes
327	Jesmin S,Mizutani T, Kawano S et al.	救急・集中治療診療グループ	Screening for gestational diabetes mellitus and its prevalence in Bangladesh.	Diabetes Research and Clinical Practice
328	Tanaka YO,Satch T, Matsumoto K, Oki A, Saida T, Yoshikawa H, Minami M, et al.	放射線腫瘍科診療グループ/婦人・周産期診療グループ	Diversity in size and signal intensity in multilocular cystic ovarian masses: new parameters for distinguishing metastatic from primary mucinous ovarian neoplasms.	J Magn Reson Imaging.
329	Kanemoto A, Okumura T, Ishikawa H, Mizumoto M, Oshiro Y, Kurishima K, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Outcomes and prognostic factors for recurrence after high-dose proton beam therapy for centrally and peripherally located stage I non-small-cell lung cancer.	Clin Lung Cancer
330	Abei M, Okumura T, Fukuda K, Hashimoto T, Araki M, Ishige K, Hyodo I, Kanemoto A, et al	放射線腫瘍科診療グループ	A phase I study on combined therapy with proton-beam radiotherapy and in situ tumor vaccination for locally advanced recurrent hepatocellular carcinoma.	Radiat Oncol
331	Kanemoto A, Mizumoto M, Okumura T, Takahashi H, Hashimoto T, Oshiro Y, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Dose-volume histogram analysis for risk factors of radiation-induced rib fracture after hypofractionated proton beam therapy for hepatocellular carcinoma.	Acta Oncol

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
332	Isobe T, Mori Y, Takada K, Sato E, Takahashi H, Sekiguchi T, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Evaluation of vegetables in Tsukuba for contamination with radioactive materials from the accident at Fukushima Daiichi nuclear power plant.	Health Phys
333	Oshiro Y, Mizumoto M, Okumura T, Sugahara S, Fukushima T, Ishikawa H, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Clinical results of proton beam therapy for advanced neuroblastoma	Radiat Oncol
334	Yamaoka M, Akiyama M, Yokokawa Y, Terao Y, Yokoi K, Kato T, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Multidisciplinary therapy including proton beam radiotherapy for a Ewing sarcoma family tumor of maxillary sinus in a 4-year-old	Head Neck
335	Oshiro Y, Sakurai H.	放射線腫瘍科診療グループ	The use of proton-beam therapy in the treatment of non-small-cell lung cancer.	Expert Rev Med Devices
336	Isobe T, Mori Y, Takada K, Sato E, Sakurai H, Sakae T.	放射線腫瘍科診療グループ	Robust technique using an imaging plate to detect environmental radioactivity.	Health Phys
337	Oshiro Y, Okumura T, Mizumoto M, Fukushima T, Ishikawa H, Hashimoto T, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Proton beam therapy for unresectable hepatoblastoma in children: survival in one case.	Acta Oncol
338	Hong Z, Kase Y, Moritake T, Gerelchuluun A, Sun L, Suzuki K, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Lineal energy-based evaluation of oxidative DNA damage induced by proton beams and X-rays.	Int J Radiat Biol
339	Hashii H, Hashimoto T, Okawa A, Shida K, Isobe T, Hamura M, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Comparison of the effects of high-energy photon beam irradiation (10 and 18 MV) on 2 types of implantable cardioverter-defibrillators.	Int J Radiat Oncol Biol Phys
340	Aihara T, Morita N, Kamitani N, Kumada H, Ono K, Hiratsuka J, Harada T.	放射線腫瘍科診療グループ	Boron neutron capture therapy for advanced salivary gland carcinoma in head and neck.	Int J Clin Oncol
341	Zaboronok A, Isobe T, Yamamoto T, Sato E, Takada K, Sakae T, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Proton beam irradiation stimulates migration and invasion of human U87 malignant glioma cells.	J Radiat Res
342	Kase Y, Yamashita W, Matsufuji N, Takada K, Sakae T, Furusawa Y, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Microdosimetric calculation of relative biological effectiveness for design of therapeutic proton beams.	J Radiat Res
343	Suzuki M, Kato I, Aihara T, Hiratsuka J, Yoshimura K, Niimi M, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Boron neutron capture therapy outcomes for advanced or recurrent head and neck cancer.	J Radiat Res
344	Barth RF, Vicente MG, Harling OK, Kiger WS 3rd, Riley KJ, Binns PJ, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Current status of boron neutron capture therapy of high grade gliomas and recurrent head and neck cancer.	Radiat Oncol
345	Saito Y, Matsuzaki Y, Honda A, Iwamoto J, Ikegami T, Chiba T, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Post-therapeutic needle biopsy in patients with hepatocellular carcinoma is a useful tool to evaluate response to proton irradiation.	Hepatol Res

計 14

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
346	Mizumoto M, Hashii H, Senarita M, Sakai S, Wada T, Okumura T, Tsuboi K, Sakurai H.	放射線腫瘍科診療グループ	Proton beam therapy for malignancy in Bloom syndrome.	Strahlenther Onkol
347	Suzuki K, Gerelchuluun A, Hong Z, Sun L, Zenkoh J, Moritake T, Tsuboi K.	放射線腫瘍科診療グループ	Celecoxib enhances radiosensitivity of hypoxic glioblastoma cells through endoplasmic reticulum stress.	Neuro Oncol
348	H. Kumada, A. Matsumura, H. Sakurai, T. Sakae, M. Yoshioka, H. Kobayashi, H. et al	放射線腫瘍科診療グループ	Project for the development of the linac based NCT facility in University of Tsukuba	Appl Radiat Isot
349	M. Mizumoto, T. Yamamoto, S. Takano, E. Ishikawa, A. Matsumura, H. Ishikawa, et al	放射線腫瘍科診療グループ	Long-term survival after treatment of glioblastoma multiforme with hyperfractionated concomitant boost proton beam therapy	Practical Radiat Oncol
350	Y. Oshiro, T. Okumura, K. Kurishima, S. Honma, M. Mizumoto, H. Ishikawa, et al	放射線腫瘍科診療グループ	High-dose concurrent chemo-proton therapy for Stage III NSCLC: preliminary results of a Phase II study.	J Radiat Res
351	Yeh HH, Tian M, Hinz R, Young D, Shavrin A, Mukhopadhyay U, Flores LG, Balatoni J, Soghomonyan S, Jeong HJ, Pal A, Uthamantil R, Jackson JN, Nishii	放射線腫瘍科診療グループ	Imaging epigenetic regulation by histone deacetylases in the brain using PET/MRI with ¹⁸ F-FAHA.	Neuroimage
352	Sato E, Yamamoto T, Shikano N, Ogura M, Nakai K, Yoshida F, Uemae Y, Takada T, Isebe T, Matsumura A.	放射線腫瘍科診療グループ	Intracellular boron accumulation in CHO-K1 cells using amino acid transport control.	Appl Radiat Isot
353	Mizumoto M, Okumura T, Ishikawa E, Yamamoto T, Takano S, Matsumura A, Oshiro Y, Ishikawa H, Sakurai H, Tsuboi K.	放射線腫瘍科診療グループ	Reirradiation for recurrent malignant brain tumor with radiotherapy or proton beam therapy. Technical considerations based on experience at a single institution.	Strahlenther Onkol
354	Sun L, Moritake T, Zheng YW, Suzuki K, Gerelchuluun A, Hong Z, Zenkoh J, Taniguchi H, Tsuboi K.	放射線腫瘍科診療グループ	In vitro stemness characterization of radio-resistant clones isolated from a medulloblastoma cell line ONS-76.	J Radiat Res
355	Shirai K, Tumaki Y, Kitamoto Y, Murata K, Satoh Y, Higuchi K, Ishikawa H, Nonaka T, Takahashi T, Nakano T.	放射線腫瘍科診療グループ	Prognosis was not deteriorated by multiple primary cancers in esophageal cancer patients treated by radiotherapy.	J Radiat Res
356	Matsubara T, Ishikawa E, Hirata K, Matsuda M, Akutsu H, Masumoto T, Zaboronok A, Matsumura A.	放射線診断IVR診療グループ	A New Mechanism of Cerebrospinal Fluid Leakage after Lumboperitoneal Shunt:	A Theory of Shunt Side Hole-Case Report. Neurol Med Chir (Tokyo) 2013;
357	Onuma K, Ishikawa E, Matsuda M, Hirata K, Osuka S, Yamamoto T, Masumoto T, Zaboronok A, Matsumura	放射線診断IVR診療グループ	A. Clinical characteristics and neuroimaging findings in 12 cases of recurrent glioblastoma with communicating hydrocephalus.	Neurol Med Chir (Tokyo) 2013;53(7):474-81.
358	Sato M, Nakai Y, Tsurushima H, Shiigai M, Masumoto T, Matsumura	放射線診断IVR診療グループ	A. Risk factors of ischemic lesions related to cerebral angiography and neuro-interventional procedures.	Neurol Med Chir (Tokyo) 2013;53(6):381-7.
359	Sato M, Takigawa T, Shiigai M, Tamura G, Masumoto T, Nakai Y, Zaboronok A, Tsurushima H, Matsumura A.	放射線診断IVR診療グループ	Spinal dural arteriovenous fistula with lipomyelodysplasia.	Neurol Med Chir (Tokyo) 2013;53(2):107-9.

計 14

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
360	Takatori Y, Moro T, Kamogawa M, Oda H, Morimoto S, Umeyama T, Minami M, Sugimoto H, Nakamura S, Karita T, Kim J, Koyama Y, Ito H, Kawaguchi H, Nakamura K.	放射線診断IVR診療グループ	Poly(2-methacryloyloxyethyl phosphorylcholine)-grafted highly cross-linked polyethylene liner in primary total hip replacement: one-year results of a prospective cohort study.	J Artif Organs 2013;16:170-175.
361	Furuta T, Yamaguchi M, Nakagami R, Akahane M, Minami M, Ohtomo K, Moriyama N, Fujii H.	放射線診断IVR診療グループ	Delayed hepatic signal recovery on ferucarbotran-enhanced magnetic resonance images: an experimental study in rat livers with gadolinium chloride-induced Kupffer cell damage.	MAGMA 2013;26:313-24.
362	Fukushima H, Fukushima T, Suzuki R, Enokizono T, Matsunaga M, Nakao T, Koike K, Mori K, Matsueda K, Sumazaki R.	放射線診断IVR診療グループ	Continuous regional arterial infusion effective for children with acute necrotizing pancreatitis even under neutropenia.	Pediatr Int. 2013 Apr;55(2):e11-3. doi: 10.1111/j.1442-200X.2012.03702.x.
363	Hoshiai S, Mori K, Shiigai M, Uchikawa Y, Watanebe A, Shiotani S, Atake S, Minami M.	放射線診断IVR診療グループ	Reduction en masse of inguinal hernia: MDCT findings of two cases.	Hernia. 2014 Jan 12. [Epub ahead of print]
364	Oshiro Y, Sasaki R, Nasu K, Ohkochi N.	放射線診断IVR診療グループ	A novel preoperative fusion analysis using three-dimensional MDCT combined with three dimensional MRI for patients with hilar cholangiocarcinoma.	Clin Imaging. 2013; 37: 772-4. doi: 10.1016/j.clinmag.2013.02.002
365	Yokosawa M, Tsuboi H, Nasu K, Hagiya C, Hagiwara S, Ogishima H, Hirota T, Horikoshi M, Kondo Y, Sugihara M, Suzuki T, Minami M, Bukawa H, Matsumoto I.	放射線診断IVR診療グループ	Usefulness of MR imaging of the parotid glands in patients with Sjogren's syndrome.	Rheumatology 2013 (in press).
366	Saida T, Mori K, Yabe H, Shindo M, Nasu K, Shiigai M, Takahashi H, Minami M.	放射線診断IVR診療グループ	Noninvasive visualization of endoleaks after endovascular aortic aneurysm repair through unenhanced MRI with motion-sensitized driven equilibrium preparation: Phantom experiments.	J Magn Reson Imaging. 2013;38:714-721.
367	Tanaka YO, Okada S, Satoh T, Matsumoto K, Oki A, Saida T, Yoshikawa H, Minami M.	放射線診断IVR診療グループ	Diversity in size and signal intensity in multilocular cystic ovarian masses: new parameters for distinguishing metastatic from primary mucinous ovarian neoplasms.	J Magn Reson Imaging 38(4):794-801, 2013
368	Tasaka N, Matsumoto K, Satoh T, Minaguchi T, Onuki M, Ochi H, Tanaka YO, Sakata A, Noguchi M, Yoshikawa H.	放射線診断IVR診療グループ	Therapeutic effect of dienogest on adenocarcinoma arising from endometriosis:	a case report. Springerplus 2:618, 2013
369	Kawamura R, Seo Y, Ishizu T, Atsumi A, Yamamoto M, Machino-Ohtsuka T, Nakajima H, Sakai S, Tanaka YO, Minami M, Aonuma K.	放射線診断IVR診療グループ	Feasibility of left ventricular volume measurements by three-dimensional speckle tracking echocardiography depends on image quality and degree of left ventricular enlargement: Validation study with cardiac magnetic resonance imaging.	J Cardiol 63(3):230-8, 2014
370	Satoh T, Matsumoto K, Tanaka YO, Akiyama A, Nakao S, Sakurai M, Ochi H, Onuki M, Minaguchi T, Sakurai H, Yoshikawa H.	放射線診断IVR診療グループ	Incidence of venous thromboembolism before treatment in cervical cancer and the impact of management on venous thromboembolism after commencement of treatment.	Thromb Res, 2013

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
371	Kurihara Y, Hitomi S, Oishi T, Kondo T, Ebihara T, Funayama Y, Kawakami Y.	細菌学的診断(感染症)診療グループ	Characteristics of bacteremia due to extended-spectrum beta-lactamase-producing <i>Proteus mirabilis</i> .	J Infect Chemother
372	47 Nakajima J, Hitomi S, Koganemaru H, Nakai Y.	細菌学的診断(感染症)診療グループ	Isolation of Staphylococcus epidermidis intermediately resistant to vancomycin in a case of central venous catheter-associated bloodstream infection.	J Infect Chemother
373	Hamano, J	総合診療グループ	Usefulness of palliative prognostic index for patient with advanced cancer in home care setting	Am J Hosp Palliat Care 30(3): 264-267, 2013
374	Kurihara, H	総合診療グループ	Importance of physicians' attire: factors influencing the impression it makes on patients, a cross-sectional study	Asia Pac Fam Med 13(1):2, 2014
375	Maeno, T	総合診療グループ	Japanese students' perception of their learning from an interprofessional education program: a qualitative study	International Journal of Medical Education 4:9-17, 2013
376	Travis WD, Brambilla E, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Diagnosis of Lung Adenocarcinoma in Resected Specimens: Implications of the 2011 International Association for the Study of Lung Cancer/American Thoracic Society/European Respiratory Society Classification.	Arch Pathol Lab Med, 2013, 137(5):685-705.
377	Travis WD, Brambilla E, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Diagnosis of Lung Cancer in Small Biopsies and Cytology: Implications of the 2011 International Association for the Study of Lung Cancer/American Thoracic Society/European Respiratory Society Classification.	Arch Pathol Lab Med, 2013, 137(5):668-84.
378	Nakazato Y, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Inter observer agreement in the nuclear grading of primary pulmonary adenocarcinoma.	J Thorac Oncol, 2013, 8(6):736-743.
379	Kawamura T, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Primary membranoproliferative glomerulonephritis on the decline: decreased rate from the 1970s to the 2000s Japan.	Clin Exp Nephrol, 2013, 17: 48-254.
380	Satomi K, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Epidermal growth factor receptor abnormalities in atypical teratoid/rhabdoid tumors and an unusual case with gene amplification.	Pathol Res Pract, 2013, 209(8):521-6.
381	Usui S, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Differences in the prognostic implications of vascular invasion between lung adenocarcinoma and squamous cell carcinoma.	Lung Cancer, 2013, 82(3):407-12.
382	Tasaka N, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Therapeutic effect of dienogest on adenocarcinoma arising from endometriosis: a case report.	Springerplus, 2013, 2:618.

計 12

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
383	Thunnissen E, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	In compressed lung tissue microscopic sections of adenocarcinoma in situ may mimic papillary adenocarcinoma.	Arch Pathol Lab Med, 2013, 137(12):1792-7.
384	Sakurai H, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Broncho-bronchiolitis obliterans after living -donor lung transplantation :a unique manifestation of chronic allograft rejection.	Transplantation, 2013, 96(4):e29-30.
385	Niho S, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Combination chemotherapy with irinotecan and cisplatin for large-cell neuroendocrine carcinoma of the lung :a multicenter phase II study.	J Thorac Oncol, 2013, 8(7):980-4.
386	Iwakawa R, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Genome-wide identification of genes with amplification and/or fusion in small cell lung cancer.	Genes Chromosomes Cancer, 2013, 52(9):802-16.
387	Kojima M, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	MYC rearrangements are useful for predicting outcomes following rituximab and chemotherapy: multicenter analysis of Japanese patients with diffuse large B-cell lymphoma.	Leuk Lymphoma, 2013, 54(10):2149-54.
388	Nitta S, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ	Intratubular trophoblasts in the contralateral testis caused elevation of serum human chorionic gonadotropin following complete remission of stage II testicular tumor: a case report.	Jpn J Clin Oncol, 2013, 43(1):83-6.
389	Lee SY, Kurita N, Yokoyama Y, Seki M, Hasegawa Y, Okoshi Y, Chiba S	臨床病理診療グループ	Glucocorticoid-induced diabetes mellitus in patients with lymphoma treated with CHOP chemotherapy	Support Care Cancer. 2013 Dec 21
390	Tajiri K, Shimojo N, Sakai S, Machino-Ohtsuka T, Imanaka-Yoshida K, Hiroe M, Tsujimura Y, Kimura T, Sato A, Yasutomi Y, Aonuma K	臨床病理診療グループ	Pitavastatin regulates helper T-cell differentiation and ameliorates autoimmune myocarditis in mice.	Cardiovasc Drugs Ther 2013 Oct; 27(5):413-24. doi: 10.1007/s10557-013-6464-y
391	Hoshi T, Sato A, Hiraya D, Kimura T, Wang Z, Aonuma K	臨床病理診療グループ	Multimodality intracoronary imaging in spontaneous coronary artery dissection: impacts of intravascular ultrasound, optical coherence tomography, and coronary angiography.	Catheter Cardiovasc Interv. 2013; 81(3): E151-4
392	Seo Y, Yamasaki H, Kawamura R, Ishizu T, Igarashi M, Sekiguchi Y, Tada H, Aonuma K	臨床病理診療グループ	Left ventricular activation imaging by 3-dimensional speckle-tracking echocardiography. Comparison with electrical activation mapping	Circ J. 2013; 77:2481-2489
393	Nogami Y, Ishizu T, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Seo Y, Aonuma K	臨床病理診療グループ	Abnormal early diastolic intraventricular flow 'kinetic energy index' assessed by vector flow mapping in patients with elevated filling pressure.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2013; 14:253-260
394	Machino-Ohtsuka T, Seo Y, Ishizu T, Yanaka S, Nakajima H, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Koshino Y, Machino T, Kuroki K, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Tada H, Aonuma K	臨床病理診療グループ	Significant improvement of left atrial and left atrial appendage function after catheter ablation for persistent atrial fibrillation.	Circ J. 2013; 77:1695-1704

計 12

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
395	Machino-Ohtsuka T, Seo Y, Ishizu T, Sugano A, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Machino T, Kuroki K, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Aonuma K.	臨床病理診療グループ	Efficacy, safety, and outcomes of catheter ablation of atrial fibrillation in patients with heart failure with preserved ejection fraction.	J Am Coll Cardiol. 2013;62:1857-1865
396	Koshizuka R, Ishizu T, Kameda Y, Kawamura R, Seo Y, Aonuma K.	臨床病理診療グループ	Longitudinal strain impairment as a marker of the progression of heart failure with preserved ejection fraction in a rat model.	J Am Soc Echocardiogr. 2013;26:316-323
397	Kawamura R, Seo Y, Ishizu T, Atsumi A, Yamamoto M, Machino-Ohtsuka T, Nakajima H, Sakai S, Tanaka YO, Minami M, Aonuma K	臨床病理診療グループ	Feasibility of left ventricular volume measurements by three-dimensional speckle tracking echocardiography depends on image quality and degree of left ventricular enlargement: Validation study with cardiac magnetic resonance imaging.	J Cardiol. 2013
398	Atsumi A, Ishizu T, Kameda Y, Yamamoto M, Harimura Y, Machino-Ohtsuka T, Kawamura R, Enomoto M, Seo Y, Aonuma K.	臨床病理診療グループ	Application of 3-dimensional speckle tracking imaging to the assessment of right ventricular regional deformation.	Circ J. 2013;77:1760-1768
399	Izumida Y, Yahagi N, Takeuchi Y, Nishi M, Shikama A, Takarada A, Masuda Y, Kubota M, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Iizuka Y, Itaka K, Kataoka K, Shioda S, Nijima A, Yamada T, Katagiri H, Nagai R, Yamada N, Kadowaki T, Shimano H.	臨床病理診療グループ	Glycogen shortage during fasting triggers liver-brain-adipose neurocircuitry to facilitate fat utilization.	Nat Commun. 2013;4:2316.
400	Horie T, Nishino T, Baba O, Kuwabara Y, Nakao T, Nishiga M, Usami S, Izuhara M, Sowa N, Yahagi N, Shimano H, Matsumura S, Inoue K, Marusawa H, Nakamura T, Hasegawa K, Kume N, Yokode M, Kita T, Kimura T, Ono K.	臨床病理診療グループ	MicroRNA-33 regulates sterol regulatory element-binding protein 1 expression in mice.	Nat Commun. 2013;4:2883.
401	Fujimoto Y, Nakagawa Y, Satoh A, Okuda K, Shingyouchi A, Naka A, Matsuzaka T, Iwasaki H, Kobayashi K, Yahagi N, Shimada M, Yutoh S, Suzuki H, Yagisawa S, Izumi T, Sone H, Urayama O, Yamada N, Shimano H	臨床病理診療グループ	TRE3 controls lipid metabolism in adipose tissue of male mice by suppressing lipolysis and thermogenesis.	Endocrinology. 2013 Oct;154(10):3577-88.
402	Naka A, Iida KT, Nakagawa Y, Iwasaki H, Takeuchi Y, Satoh A, Matsuzaka T, Ishii KA, Kobayashi K, Yutoh S, Shimada M, Yahagi N, Suzuki H, Sone H, Yamada N.	臨床病理診療グループ	TRE3 inhibits myoblast differentiation in C2C12 cells via down-regulating gene expression of myogenin.	Biochem Biophys Res Commun. 2013 Jan 11;430(2):664-9.
403	有波忠雄他	遺伝診療グループ	Genome-wide association study of schizophrenia using microsatellite markers in the Japanese population.	Psychiatr Genet. 2013 23(3):117-23 (doi: 10.1097/YPG.0b013e32835fe4f1)
404	有波忠雄他	遺伝診療グループ	An association analysis of the cardiomyopathy-associated 5 (CMYA5) gene with schizophrenia in a Japanese population.	Psychiatr Genet. 2013 23(4):179-80. (doi: 10.1097/YPG.0b013e328360e8be)
405	有波忠雄他	遺伝診療グループ	Experimental evidence for the involvement of PDLIM5 in mood disorders in hetero knockout mice	PLoS One. 2013 8(4):e59320. (doi: 10.137)

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題 名	雑 誌 名
406	有波忠雄他	遺伝診療グループ	Replication in a Japanese population that a MIR30E gene variation is associated with schizophrenia.	Schizophr Res. 2013 150(2-3):596-7. (doi: 10.1016/j.schres.2013.08.028)
407	野口恵美子他	遺伝診療グループ	Genetic polymorphisms in the IL22 gene are associated with psoriasis vulgaris in a Japanese population	J Dermatol Sci 71:148-50, 2013.
408	野口 恵美子、有波 忠雄、坂東 裕子他	遺伝診療グループ 乳腺・甲状腺・内分泌 (外)診療グループ	Functional analysis of BRCA1 missense variants of uncertain significance in Japanese breast cancer families	J Hum Genet 2013 Sep;58(9):618-21
409	野口恵美子他	遺伝診療グループ	Prevalence of atopic dermatitis in Japanese infants treated with moisturizer since birth and its relation to FLG mutations.	Eur J Dermatol 23:288-9, 2013.
410	野口 恵美子、有波 忠雄他	遺伝診療グループ	Cystatin SN upregulation in patients with seasonal allergic rhinitis	PLoS One 013 Aug 12;8(8):e67057
411	樽澤伸之、坂本透、野口恵美子他	呼吸器内科診療グループ/遺伝診療グループ	A distinct sensitization pattern associated with asthma and the thymic stromal lymphopoietin (TSLP) genotype.	Allergol Int 62:123-30, 2013.
412	野口恵美子他	遺伝診療グループ	Genetic polymorphism in the TRAF3IP2 gene is associated with psoriasis vulgaris in a Japanese population.	J Dermatol Sci 2013.
413	野口 恵美子他	遺伝診療グループ	Nutritional status and childhood wheezing in rural Bangladesh	Public Health Nutr. 2013 May 17:1-8
414	Naruse Y, Tada H, Satoh M, Yanagihara M, Yanagihara M, Tsuneoka H, Hirata Y, Ito Y, Kuroki K, Machino T, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Sato A and Aonuma K	睡眠呼吸障害診療グループ	Concomitant obstructive sleep apnea increases the recurrence of atrial fibrillation following radiofrequency catheter ablation of atrial fibrillation: Clinical impact of continuous positive airway pressure therapy.	Heart Rhythm
415	Hirata Y, Nabekura T, Maruyama H, Aonuma K, Satoh M.	睡眠呼吸障害診療グループ	Elevation of plasma basic fibroblast growth factor after nocturnal hypoxic events in patients with obstructive sleep apnea syndrome.	Springerplus
416	Yajima K, Seya T, Iwayama K, Hibi M, Hari S, Nakashima Y, Ogata H, Omi N, Satoh M, and Tokuyama K	睡眠呼吸障害診療グループ	Effects of Nutrient Composition of Dinner on Sleep Architecture and Energy Metabolism during Sleep.	J Nutr Sci Vitaminol.

計 11

計 416

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限定されること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限り)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

別紙2

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	安達 亨、吉田健太郎、山崎 浩、五十嵐 都、関口幸夫、石津智子、瀬尾由広、久賀圭祐、青沼和隆	循環器(内)診療グループ	心室3点ペーシングの有効性が確認された拡張型心筋症による重症左心不全の1例	Therapeutic research
2	五十嵐 都、村越伸行、許 東洙、茅田 浩、関口幸夫、山崎 浩、黒木健志、町野 毅、井藤葉子、石津智子、瀬尾由広、久賀圭祐、青沼和隆	循環器(内)診療グループ	高血圧ラットにおけるアミオダロンの心房細動抑制のメカニズムについて ペプリジルとの比較検討	Progress in Medicine
3	許 東洙、村越 伸行、青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	【心腎貧血連関】慢性腎臓病と心房細動発症のリスク	循環器内科
4	村越 伸行、青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	【高血圧診療のすべて】高血圧治療の実際 合併症をゆうする高血圧患者の薬物療法 心房細動の血圧管理	日本医師会雑誌
5	星智也、青沼和隆	循環器(内)診療グループ	【循環器疾患の診断と治療(II)】不安定狭心症(解説/特集)	医学と薬学
6	星智也、青沼和隆	循環器(内)診療グループ	【ACSの診断と治療】ACSの不整脈(解説/特集)	医学と薬学
7	関口 幸夫、野上 昭彦、黒木 健志、町野 毅、山崎 浩、五十嵐 都、青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	3Dマッピング・イメージングを用いた不整脈の診断と治療 CARTOシステムを用いたVTアブレーション	心電図
8	佐藤 明、関口 幸夫、野上 昭彦、青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	虚血と不整脈 急性冠症候群に伴う不整脈とその対処	心電図
9	川松 直人、石津 智子、玄 哲樹、会田 敏、木全 啓、酒井 俊介、佐藤 希美、菅野 昭憲、加藤 穰、川辺 正之、許 東洙、木村 泰三、原唯史、榎本 佳治、瀬尾 由広、青沼和隆	循環器(内)診療グループ	大動脈弁置換術後の弁不全においてPET-CTが治療方針決定に有用であった自己免疫性血管炎	日本心臓病学会誌
10	青山 結希、青沼 和隆、瀬尾 由広、石津 智子、川村 龍、町野 智子、山本 昌良、渥美 安紀子、榎本 真美、佐藤 誠	循環器(内)診療グループ	心不全患者に対する陽圧換気療法の効果	日本心臓病学会誌
11	井藤 葉子、野上 昭彦、山崎 浩、成瀬 代士久、黒木 健志、町野 毅、五十嵐 都、関口 幸夫、青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	長期持続型心房細動に対するカテーテルアブレーションにおけるレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系阻害薬の併用効果について	日本心臓病学会誌
12	石津 智子、瀬尾 由広、関口 幸夫、青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	WPW症候群における心エコー3次元スペクトルトラッキング法を用いた副伝導路の評価	日本心臓病学会誌

13	川松 直人, 瀬尾 由広, 中島 英樹, 佐藤 希美, 菅野 昭憲, 渥美 安紀子, 山本 昌良, 町野 智子, 井藤 葉子, 黒木 健志, 山崎 浩, 川村 龍, 五十嵐 都, 関口 幸夫, 石津 智子, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	ペースメーカーリード起因性三尖弁逆流症の有病率及びリスクファクターについての検討	日本心臓病学会誌
14	瀬尾 由広, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	リバーシ・リモデリングへの挑戦 リバーシ・リモデリングへの挑戦 CRT	日本心臓病学会誌
15	瀬尾 由広, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	心臓再同期療法のエビデンス 心エコーによるレスポンス予測 J-CRT, START研究から	日本心臓病学会誌
16	町野 智子, 瀬尾 由広, 石津 智子, 五十嵐 都, 関口 幸夫, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	心不全における収縮不全と拡張不全のトピック HFPEFにおいてカテーテル焼灼術による心房細動の除去は有害心イベントを抑制する(Elimination of Atrial Fibrillation by Catheter Ablation Suppresses Adverse Cardiac Events in HFPEF)(英語)	日本心臓病学会誌
17	村越 伸行, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	【高血圧診療のすべて】 高血圧治療の実際 合併症を有する高血圧患者の薬物療法 心房細動の血圧管理	日本医師会雑誌
18	山本 昌良, 瀬尾 由広, 川松 直人, 佐藤 希美, 菅野 昭憲, 渥美 安紀子, 町野 智子, 中島 英樹, 石津 智子, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	左房圧の上昇は左心耳を拡大させるか	超音波医学
19	渥美 安紀子, 石津 智子, 瀬尾 由広, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	心臓再同期療法の効果予測における右室機能評価の付加的価値 START研究からの検討	超音波医学
20	野上 佳恵, 瀬尾 由広, 渥美 安紀子, 山本 昌良, 石津 智子, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	高齢者高血圧症例におけるWave-Intensityの意義について	超音波医学
21	石津 智子, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	【進化した3Dイメージング(後編)-超音波検査の見かた・撮りかた】 総論	Circulation
22	青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	心房細動カテーテルアブレーション治療	心臓
23	酒井 俊, 藤 栄次, 柳川 徹, 青沼 和隆, 宮内 卓, 石井 哲郎	循環器(内)診療グループ	p62遺伝子欠損肥満モデルマウスにおける血圧動態の解析	日本高血圧学会臨床高血圧フォーラムプログラム・抄録集
24	佐藤 明, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	【心筋症の画像診断】 たこつぼ心筋症の画像診断	循環器内科
25	五十嵐 都, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	不整脈 心房細動のカテーテルアブレーションの新しいエビデンス 適応と成績を中心に	Annual Review循環器

26	黒木 健志, 青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	【循環器医の腕の魅せどころ- 進化するデバイスを使いこなす】心機能低下例に対する ICD治療 不適切作動回避の ためのICD設定と薬物療法の 実際	Circulation
27	野上昭彦	循環器(内)診療グループ	侵襲的治療の現状と可能性	最新医学
28	野上昭彦	循環器(内)診療グループ	基礎心疾患のない持続性心室 頻拍の治療	Medicina
29	廣島 良規, 頼 冠甫, 小泉 勇人, 菅沼 大輔, 堀口 尚, 伴 慎一, 兵 頭 一之介	消化器(内)診療グループ	【隆起型食道癌の特徴と鑑別 診断】食道原発悪性黒色腫の 1例	医と腸
30	根本 清貴, 太刀川 弘和, 鈴木 英 雄, 堀 孝文, 谷中 昭典, 兵頭 一 之介, 朝田 隆	消化器(内)診療グループ	過敏性腸症候群の重症度と不 安・抑うつ症状との関連	精神医学
31	鈴木 英雄, 溝上 裕士, 兵頭 一之 介	消化器(内)診療グループ	IBSの病態 最新の知見 IBSに おける消化管運動異常	精神医学
32	鈴木 英雄, 金子 剛, 奈良坂 俊明, 遠藤 慎治, 松井 裕史, 谷中 昭典, 溝上 裕士, 平山 暁, 兵頭 一之介	消化器(内)診療グループ	潰瘍性大腸炎に対する青黛の 有効性と作用機序	日本消化器病学会雑誌
33	溝上 裕士, 今枝 博之, 齋藤 英胤	消化器(内)診療グループ	薬剤性消化器障害にどう対応 するか	成人病と生活習慣病
34	金子 剛, 松井 裕史, 頼 冠甫, 間 宮 幸, 溝上 裕士	消化器(内)診療グループ	消化器癌に対する光線力学療 法(Photodynamic Therapy:PDT)	日本消化器内視鏡学会雑 誌
35	谷中 昭典	消化器(内)診療グループ	アブラナ科野菜の摂食による 消化管疾患の予防 スルフォラ ファンによる胃癌の予防	内分泌・糖尿病・代謝内科
36	岩本 淳一, 溝上 裕士	消化器(内)診療グループ	薬剤性小腸障害の臨床的特徴 とそのマネージメント	内分泌・糖尿病・代謝内科
37	丹羽 康正, 神代 龍吉, 杉山 敏郎, 兵頭 一之介, 那須 淳一郎, 松浦 文三, 山口 幸二, 中山 健夫, 森實 敏夫, 鹿毛 政義, 角谷 眞澄	消化器(内)診療グループ	消化器病専門医研修カリキュ ラム改訂	日本消化器病学会雑誌
38	高田 朋美, 佐藤 淳哉, 田沼 靖一, 谷中 昭典	消化器(内)診療グループ	Geranylgeranylacetone(GGA)の 経肛門投与はマウスにおける DSS大腸炎を軽快させる	日本消化器病学会雑誌

39	志村 美聖, 山本 真史, 藤井 元, 小宮 雅美, 野間 寛陽, 高橋 真美, 谷中 昭典, 田沼 靖一, 武藤 倫弘	消化器(内)診療グループ	SK-1009におけるIL-6産生阻害作用メカニズムの検討 (Target transcriptional factor of SK-1009, a novel IL-6 suppressor, in colon cancer cells)	日本消化器病学会雑誌
40	溝上 裕士, 奈良坂 俊明, 鈴木 英雄, 金子 剛, 岩本 淳一	消化器(内)診療グループ	NSAIDs潰瘍に対する Helicobacter pylori除菌効果	Helicobacter Research
41	越智 大介, 奈良坂 俊明, 坪 大輔, 小林 克誠, 菅谷 明德, 小林 真理子, 今西 真美子, 浜野 由花子, 遠藤 慎治, 金子 剛, 鈴木 英雄, 溝上 裕士	消化器(内)診療グループ	異所性胃粘膜に発生した頸部食道癌に対して内視鏡治療を施行した1例	Progress of Digestive Endoscopy
42	竹内 千尋, 石川 晶久, 遠藤 壮登, 綿引 隆久, 大河原 敦, 柿木 信重, 鴨志田 敏郎, 平井 信二, 岡 裕爾, 谷中 昭典	消化器(内)診療グループ	MTX関連リンパ増殖性疾患に伴う胃潰瘍病変を経過観察した1例	Progress of Digestive Endoscopy
43	廣瀬 充明, 遠藤 慎治, 大和 建嗣, 兵頭 一之介	消化器(内)診療グループ	State of the Art p53シグナル伝達経路の活性化と癌治療への応用	Frontiers in Gastroenterology
44	福本 敦, 谷中 昭典	消化器(内)診療グループ	全バナナ食はマウスにおいてスギ花粉により惹起される腹腔内好酸球比率の増加を抑制する	機能性食品と薬理栄養
45	森脇 俊和, 遠藤 慎治, 兵頭 一之介	消化器(内)診療グループ	がんの治療薬を知る 薬剤選択のための知識 レゴラフェニブ	臨床腫瘍プラクティス
46	鴨志田 敏郎, 佐々木 翔一, 竹内 千尋, 遠藤 壮登, 綿引 隆久, 大河原 悠, 大河原 敦, 柿木 信重, 平井 信二, 岡 裕爾, 谷中 昭典	消化器(内)診療グループ	上部消化管内視鏡的止血術におけるNSAIDs潰瘍 単施設での経年的変化	臨床腫瘍プラクティス
47	遠藤 壮登, 佐々木 翔一, 竹内 千尋, 綿引 隆久, 大河原 悠, 大河原 敦, 柿木 信重, 鴨志田 敏郎, 平井 信二, 岡 裕爾, 谷中 昭典	消化器(内)診療グループ	総胆管結石除去困難例に対するチューブステント長期留置による予後の検討	日本消化器病学会雑誌
48	鈴木 英雄, 奈良坂 俊明, 溝上 裕士, 金子 剛, 森脇 俊和, 遠藤 慎治, 松井 裕史, 谷中 昭典, 兵頭 一之介	消化器(内)診療グループ	クローン病におけるインフリキシマブ投与速度短縮の安全性	日本消化器病学会雑誌
49	鈴木 英雄, 奈良坂 俊明, 溝上 裕士, 金子 剛, 森脇 俊和, 遠藤 慎治, 松井 裕史, 谷中 昭典, 兵頭 一之介, 大森 敏秀, 船山 夏子, 杉谷 武彦, 新澤 岳	消化器(内)診療グループ	下痢型過敏性腸症候群患者におけるラモセトロン服用状況調査	日本消化器病学会雑誌
50	谷中 昭典, 鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ	バナナの定期的摂取はヒトスギ花粉症の自覚症状、及びQOLを改善させる	日本消化器病学会雑誌
51	竹内 千尋, 鴨志田 敏郎, 佐々木 翔一, 遠藤 壮登, 綿引 隆久, 大河原 悠, 大河原 敦, 柿木 信重, 平井 信二, 谷中 昭典, 岡 裕爾	消化器(内)診療グループ	慢性膵炎代償期の疼痛に対する内視鏡的膵管ステント留置が胃腸吻合された残膵に対して有効であった一例	Progress of Digestive Endoscopy

52	鈴木 英雄, 金子 剛, 奈良坂 俊明, 森脇 俊和, 遠藤 慎治, 松井 裕史, 谷中 昭典, 溝上 裕士, 兵頭 一之介	消化器(内)診療グループ	クローン病におけるインフリキシマブ投与時間短縮の安全性	新薬と臨床
53	溝上 裕士, 奈良坂 俊明, 鈴木 英雄, 坪 大輔, 金子 剛, 岩本 淳一	消化器(内)診療グループ	ピロリ菌除菌で将来は薬物性消化性潰瘍のみになるのか?	新薬と臨床
54	金子 剛, 溝上 裕士	消化器(内)診療グループ	NSAIDsと小腸傷害	オルソタイムズ
55	溝上 裕士	消化器(内)診療グループ	NSAIDs, 低用量アスピリン起因性消化管傷害の現状	茨城保険医新聞
56	瀬尾 恵美子	消化器(内)診療グループ	女性の初期研修医・医学生からみた「勤務したい病院」	病院
57	岡部 進, 松井 裕史	消化器(内)診療グループ	低濃度酢酸のヒトおよびラット由来胃がん細胞株に対する効果	潰瘍
58	後藤 行延	呼吸器(外)診療グループ	肺癌との鑑別を要したnodular lymphoid hyperplasiaの1例	肺癌
59	中井 滋, 花房 規男, 政金 生人, 谷口 正智, 濱野 高行, 庄司 哲雄, 長谷川 毅, 伊丹 儀友, 山縣 邦弘, 篠田 俊雄, 風間 順一郎, 渡邊 有三, 重松 隆, 丸林 誠二, 守田 治, 和田 篤志, 橋本 整司, 鈴木 一之, 中元 秀友, 木全 直樹, 若井 建志, 藤井 直彦, 尾形 聡, 土田 健司, 西 裕志, 井関 邦敏, 椿原 美治, 日本透析医学会統計調査委員会統計解析小委員会	腎泌尿器(内)診療グループ	わが国の慢性透析療法の現況(2012年12月31日現在)	日本透析医学会雑誌
60	植田 敦志, 永井 恵, 森本 まどか, 斎藤 知栄, 山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	併用(HD+PD)導入は残存腎機能と血清アルブミンを保持し、生命予後を改善させる	腎と透析
61	山縣 邦弘, 八木 澤隆, 中井 滋, 中山 昌明, 今井 圓裕, 服部 元史, 五十嵐 徹, 石村 栄治, 井関 邦敏, 伊丹 儀友, 乳原 善文, 笠井 健司, 木全 直樹, 剣持 敬, 佐古 まゆみ, 杉山 斉, 鈴木 洋通, 田邊 一成, 椿原 美治, 西 慎一, 樋之津 史郎, 平松 信, 古瀬 勉, 望月 隆弘, 湯沢 賢治, 横山 仁, 秋葉 隆, 高原 史郎, 吉村 了男, 本田 雅敬, 松尾 清一, 秋澤 忠男	腎泌尿器(内)診療グループ	わが国のend stage kidney disease(ESKD)の現況	移植
62	南雲 義之, 木村 友和, 市岡 大士, 内田 将央, 及川 剛宏, 末富 崇弘, 宮崎 淳, 河合 弘二, 永田 千草, 西山 博之	腎泌尿器(外)診療グループ	Gemcitabine・Docetaxel併用療法にて長期生存が得られた腎平滑筋肉腫の1例	泌尿器科紀要, 59(8), 497-501

63	池田篤史, 宮川友明, 黒部匡広, 内田将央, 小島崇宏, 堤 雅一, 伊藤周作, 杉田真太郎, 西山博之	腎泌尿器(外)診療グループ	下肢悪性黒色腫の孤発膀胱転移の1例	泌尿器科紀要, 59(9), 579-582
64	田中 建, 宮崎 淳, 内田将央, 市岡大士, 木村友和, 及川剛宏, 末富崇弘, 河合弘二, 上杉憲子, 那須克宏, 西山博之	腎泌尿器(外)診療グループ	呼吸器症状を伴わずに偶発腫瘍として診断された後腹膜リンパ脈管筋腫症(LAM: lymphangiomatosis) の1例	泌尿器科紀要, 59(11), 709-713
65	原 尚人	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	分化がんー診療ストラテジー特集 甲状腺がんー病態と治療のUpdate	最新医学社 最新医学第68巻第9号 9月、2013
66	福島 紘子, 福島 敬, 後藤 悠大, 田宮 裕太郎, 中尾 朋平, 吉見 愛, 山口 玲子, 五味 詩絵奈, 鈴木 涼子, 清水 崇史, 林立申, 長谷川 誠, 福島 富士子, 中原 智子, 須磨崎 亮	小児(内)診療グループ	血友病児の生活支援における診療連携の役割と課題	日本小児血液・がん学会雑誌(2187-011X)50巻2号 Page227-231(2013.07)
67	榎園 崇, 中川 栄二, 遠藤 ゆかり, 永井 盛博, 松田 悠子, 安村 明, 稲垣 真澄	小児(内)診療グループ	自閉症スペクトラム障害児における日本語版異常行動チェックリスト(ABC-J)の再検査信頼性の検討	臨床医薬(0910-8211)30巻3号 Page271-277(2014.03)
68	大島 純弥, 関堂 充, 佐々木 正浩, 足立 孝二, 佐々木 薫, 富樫 真二	形成診療グループ	遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁を用いた肥満患者の巨大乳房即時再建の1例	日本マイクロ会誌
69	玉田 崇和, 富樫 真二, 関堂 充	形成診療グループ	口窩重複症の2例	日本形成外科学会会誌
70	諫山 哲也, 関堂 充, 佐々木 薫, 足立 孝二, 富樫 真二	形成診療グループ	Polytetrafluoroethyleneパッチ使用後に再発した腹壁癒着ヘルニアに対する Components Separation法の2例	日本形成外科学会会誌
71	山口哲人, 石井一弘, 河野 豊, 玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	歩行開始困難を認めた Orthostatic tremorの75歳男性例.	運動障害 23(1):15-20, 2013.
72	山本詞子, 山口哲人, 玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	多彩な自己抗体陽性を示した抗グルタミン受容体抗体陽性辺縁系脳炎の1例.	日本内科学会雑誌 102(8):2057-2059, 2013
73	池田 剛, 園部 眞, 加藤徳之, 山崎友郷, 粕谷泰道, 中居康展, 松村 明.	脳神経(外)診療グループ	脳動脈瘤コイル塞栓術後の破裂・再治療とVolume Embolization Ratio (VER) の関連性.	脳卒中の外科41:440-446, 2013
74	伊藤嘉朗, 加藤徳之, 中居康展, 松村 明, 園部 眞.	脳神経(外)診療グループ	Closed-cell stentを用いた頸動脈ステント留置術における頸動脈の屈曲度と微小脳塞栓の関係.	JNET 7(2): 75-80, 2013
75	伊藤嘉朗, 加藤徳之, 松村 明, 園部 眞.	脳神経(外)診療グループ	ドーナツ型巨大脳動脈瘤に対してコイルとラッピング術を施行した1例.	脳神経外科 41(5) 415-20, 2013

76	津田 恭治, 阿久津 博義, 山本 哲哉, 中井 啓, 井原 哲, 石川 栄一, 安田 貢, 高野 晋吾, 松村 明.	脳神経(外)診療グループ	当院で経験した脊髄髄膜腫の治療成績と手術戦略.	脊髄外科27(1), 2013
77	鶴田和太郎, 松丸祐司, 上坂義和, 松村 明.	脳神経(外)診療グループ	進行する脊髄症状を呈し、MRIにて上部頸髄に異常を認めた症例.	脳神経外科ジャーナル 22(11): 873-6, 2013
78	益子良太, 中居康展, 原 拓真, 今井 資, 松原鉄平, 松田真秀, 上村和也, 小松洋治, 松村 明.	脳神経(外)診療グループ	錘体骨部特発性内頸動脈解離に対するステント留置術の1例.	脳神経外科ジャーナル 22(7): 557-61, 2013
79	松原 鉄平, 松田 真秀, 益子 良太, 上村 和也, 小松 洋治, 松村 明.	脳神経(外)診療グループ	多発性未破裂脳動脈瘤の経過観察中に生じた新生動脈瘤破裂によるくも膜下出血の1例.	脳卒中の外科 41: 56-9, 2013
80	松丸祐司, 原 貴行, 松村 明.	脳神経(外)診療グループ	脊髄動静脈シャント 何が治せて何が治療困難か.	脳神経外科ジャーナル 22(1): 44-51, 2013
81	三木俊一郎, 山崎友郷, 加藤徳之, 池田 剛, 粕谷泰道, 園部 眞, 中居康展, 松村 明.	脳神経(外)診療グループ	Double catheter techniqueを応用したcoil-assist techniqueで治療を行ったブレブをネック近傍に伴う破裂脳動脈瘤の1例.	JNET 7(3): 186-91 2013
82	阿久津博義	脳神経(外)診療グループ	術中MRI手術システムの現況・有用性と機器上の要件.	新医療 40(10): 106-9, 2013
83	阿久津博義, 増田洋亮, 松村 明	脳神経(外)診療グループ	ビジウス サージカルシアター 脳外科領域で用いられる機器最前線	脳神経外科速報 23(11): 1240-45, 2013
84	阿久津博義	脳神経(外)診療グループ	術中MRI統合システムー筑波大学附属病院ー	医療福祉建設 180: 12, 2013
85	阿久津博義, 高野晋吾, 田中秀峰, 山本哲哉, 村下秀和, 石川栄一, 松村 明	脳神経(外)診療グループ	Four-hand techniqueを用いた内視鏡下経鼻頭蓋底手術の現状と未来.	日本内分泌学会雑誌 89 suppl: 13-14, 2013
86	大矢根綾子, 中村真紀, 王秀鵬, 伊藤敦夫, 鶴嶋英夫, 六崎裕高	脳神経(外)診療グループ	バイオミネラリゼーションのバイオメディカル応用.	研究開発リーダー 10(10): 1-5, 2014
87	原 拓真, 阿久津博義, 高野晋吾, 山本哲哉, 鈴木浩明, 松村 明.	脳神経(外)診療グループ	Cushing病に対する手術および放射線照射例の長期予後.	日本内分泌学会雑誌 89 suppl: 63-4, 2013
88	三島 初, 菅谷 久, 青戸 克哉, 吉岡 友和, 酒井 晋介, 赤荻 博, 落合 直之, 山崎 正志	整形診療グループ	低出力超音波パルス(LIPUS)による骨折治療 基礎と臨床における最近の話題 臨床応用における基礎研究 遷延骨癒合・偽関節に対する経皮的濃縮自家骨髄血移植と低出力超音波パルス併用による治療効果(原著論文)	臨床整形外科

89	鎌田 浩史, 竹内 亮子, 中川 将吾, 三島 初, 坂根 正孝, 山崎 正志, 落合 直之, 岡本 嘉一	整形診療グループ	診断・評価の進歩 MRI 発育性股関節形成不全における三次元MRIを用いた三次元的評価	別冊整形外科
90	山崎正志	整形診療グループ	神経除圧術後遺残脊髄障害性疼痛に対するG-CSFの治療効果	上原記念生命科学財団研究報告集
91	安部 哲哉, 坂根 正孝, 船山 徹, 俣木 優輝, 竹内 陽介, 兵頭 康次郎, 神山 翔, 日置 繁, 山崎 正志	整形診療グループ	全身麻酔下の経椎間孔アプローチのPELDの手術成績	Journal of Spine Research
92	西野 衆文, 三島 初, 河村 春生, 宮川 俊平, 山崎 正志	整形診療グループ	【人工関節置換術-最新の知見】関節の評価法と診断 使用機種を選択 セメントレステーパーダウンドシステムの長期成績 テーパーシステムはその設計目的を達成できたか	別冊整形外科
93	原 友紀, 西浦 康正, 落合 直之	整形診療グループ	頸筋に起始した小斜角筋により胸郭出口症候群を呈した1例	末梢神経
94	小宮春奈, 小倉 剛, 八木洋也, 安部加奈子, 永井優子, 小島真奈, 濱田洋実, 吉川裕之	婦人・周産期診療グループ	Interferon- α による週三回管理を行った妊娠中発症の本態性血小板血症合併妊娠の一例	日本周産期・新生児学会雑誌
95	和田 哲郎	耳鼻咽喉診療グループ	乳幼児健診での耳鼻咽喉科的注意点	茨城県医師会報
96	星野 朝文, 廣瀬 由紀, 西村 文吾, 上前泊 功, 田淵 経司, 大久保 英樹, 和田 哲郎, 原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	外来新患統計	耳鼻咽喉科展望
97	廣瀬 由紀, 田淵 経司, 和田 哲郎, 原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	入院患者統計	耳鼻咽喉科展望
98	及川 慶子, 中馬越 真理子, 田淵 経司, 和田 哲郎, 原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	新生児聴覚スクリーニング後の当院乳幼児聴力検査外来受診時の経過	耳鼻咽喉科展望
99	星野 朝文, 田淵 経司, 和田 哲郎, 原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	中耳術前検査の有用性	耳鼻咽喉科展望
100	田淵 経司, 廣瀬 由紀, 星野 朝文, 西村 文吾, 上前泊 功, 大久保 英樹, 和田 哲郎, 原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	中耳手術の臨床統計	耳鼻咽喉科展望
101	中山 雅博, 吉村 知倫, 芦澤 圭, 中馬越 真理子, 廣瀬 由紀, 星野 朝文, 西村 文吾, 田中 秀峰, 上前泊 功, 田淵 経司, 大久保 英樹, 和田 哲郎, 原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	耳性頭蓋内合併症症例	耳鼻咽喉科展望

102	田淵 経司、廣瀬 由紀、星野 朝文、西村 文吾、上前泊 功、大久保 英樹、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	人工内耳症例における骨パテの使用	耳鼻咽喉科展望
103	和田 哲郎、中山 雅博、廣瀬 由紀、中馬越 真理子、西村 文吾、田中 秀峰、星野 朝文、上前泊 功、飛田 忠道、辻 茂希、田淵 経司、大久保 英樹、高橋 和彦、瀬成田 雅光、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	聴神経腫瘍ならびに神経線維腫症例の臨床統計	耳鼻咽喉科展望
104	吉村 知倫、大原 浩達、芦澤 圭、廣瀬 由紀、中馬越 真理子、西村 文吾、星野 朝文、田中 秀峰、上前泊 功、村下 秀和、田淵 経司、大久保 英樹、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	鼻副鼻腔悪性腫瘍の臨床統計	耳鼻咽喉科展望
105	上前泊 功、吉村 知倫、大原 浩達、芦澤 圭、中山 雅博、西村 文吾、星野 朝文、田中 秀峰、田淵 経司、大久保 英樹、和田 哲郎、瀬成田 雅光、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	悪性黒色腫の臨床統計	耳鼻咽喉科展望
106	中馬越 真理子、及川 慶子、芦澤 圭、中山 雅博、西村 文吾、星野 朝文、上前泊 功、田淵 経司、大久保 英樹、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	嗅神経芽細胞腫に対する臨床検討	耳鼻咽喉科展望
107	村下 秀和、田淵 経司、星野 朝文、上前泊 功、和田 哲郎、阿久津 博義、高野 晋吾、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	内視鏡下経鼻的頭蓋底手術—当科における方法と工夫—	耳鼻咽喉科展望
108	西村 文吾、吉村 知倫、芦澤 圭、中山 雅博、廣瀬 由紀、星野 朝文、上前泊 功、田淵 経司、大久保 英樹、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	小細胞癌症例	耳鼻咽喉科展望
109	芦澤 圭、吉村 知倫、大原 浩達、中山 雅博、廣瀬 由紀、中馬越 真理子、西村 文吾、星野 朝文、田中 秀峰、上前泊 功、田淵 経司、大久保 英樹、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	口腔悪性腫瘍の臨床症例	耳鼻咽喉科展望
110	芦澤 圭、吉村 知倫、大原 浩達、中山 雅博、廣瀬 由紀、中馬越 真理子、西村 文吾、星野 朝文、田中 秀峰、上前泊 功、辻 茂希、田淵 経司、大久保 英樹、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	上咽頭悪性腫瘍の臨床検討	耳鼻咽喉科展望
111	和田 哲郎、吉村 知倫、大原 浩達、芦澤 圭、中山 雅博、廣瀬 由紀、中馬越 真理子、西村 文吾、星野 朝文、田中 秀峰、上前泊 功、飛田 忠道、辻 茂希、田淵 経司、大久保 英樹、高橋 和彦、瀬成田 雅光、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	中咽頭悪性腫瘍の臨床症例—TAR療法によるchemoradioselection—	耳鼻咽喉科展望
112	西村 文吾、吉村 知倫、芦澤 圭、中山 雅博、廣瀬 由紀、星野 朝文、上前泊 功、飛田 忠道、田淵 経司、大久保 英樹、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	下咽頭悪性腫瘍の臨床統計	耳鼻咽喉科展望
113	中山 雅博、吉村 知倫、芦澤 圭、中馬越 真理子、廣瀬 由紀、星野 朝文、西村 文吾、田中 秀峰、上前泊 功、辻 茂希、田淵 経司、大久保 英樹、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	喉頭悪性腫瘍の臨床的検討	耳鼻咽喉科展望

114	上前泊 功、吉村 知倫、大原 浩達、芦澤 圭、中山 雅博、廣瀬 由紀、中馬越 真理子、西村 文吾、星野 朝文、田中 秀峰、田淵 経司、大久保 英樹、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	プロボックスの治療成績	耳鼻咽喉科展望
115	廣瀬 由紀、飛田 忠道、田淵 経司、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	唾液腺腫瘍統計	耳鼻咽喉科展望
116	中山 雅博、吉村 知倫、芦澤 圭、中馬越 真理子、廣瀬 由紀、星野 朝文、西村 文吾、田中 秀峰、上前泊 功、田淵 経司、大久保 英樹、高橋 和彦、和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	甲状腺腫瘍症例の臨床的検討	耳鼻咽喉科展望
117	大久保 英樹、中山 雅博、廣瀬 由紀、田中 秀峰、西村 文吾、星野 朝文、上前泊 功、飛田 忠道、辻 茂希、田淵 経司、和田 哲郎、原 晃、橋井 晴子、石川 仁、水本 斉志、奥村 敏之、櫻井 英幸	耳鼻咽喉診療グループ/ 放射線腫瘍科グループ	過去10年間に当科で陽子線治療を行った頭頸部癌に関する検討	耳鼻咽喉科展望
118	大原 浩達、田中 秀峰、米納 昌恵、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	原発性線毛運動不全症(PCD)における耳鼻咽喉科医の役割	耳鼻咽喉科展望
119	和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	特集 急患・急変対応マニュアル そのとき必要な処置と処方 IV疾患ごとの救急処置法・処方 急性症状を示す聴覚器疾患 音響外傷	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
120	芦澤 圭、田淵 経司、田中 秀峰、廣瀬 由紀、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	鼻腔に発生したグロムス血管周皮腫症	耳鼻咽喉科臨床
121	田淵 経司、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	特集 検査結果をどう読むか？ 聴覚領域の検査 補充現象検査、自記オーディオメトリ	JOHNS
122	上前泊 功、芦澤 圭、中山 雅博、田中 秀峰、西村 文吾、田淵 経司、和田 哲郎、高橋 邦明、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	喉頭摘出後の気管食道シャント発声者と食道発声者におけるQOL評価 —Voice handicap index(VHI)日本語改訂版およびVoice-related quality of life (V-PQOL)日本語版を用いて—	耳鼻咽喉科臨床
123	原 晃、山根 達也、福田 智美、梶尾 明憲、北尻 真一郎、中谷 和弘	耳鼻咽喉診療グループ	公衆シンポジウム3 耳科基礎研究のトピックス	Otology Japan
124	和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 Q&A 日常診療の疑問を解決	中外医学社
125	和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 急患・急変対応マニュアル そのとき必要な処置と処方 急性症状を示す聴覚器疾患 音響外傷	医学書院
126	和田 哲郎、原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	今日の臨床サポート 音響外傷 騒音性難聴	ウェブサイト

127	山縣 憲司	歯・口腔診療グループ	舌癌頸部郭清標本から胃癌の頸部リンパ節転移が発見された1例	日本口腔外科学会雑誌
128	山口普己、柳久子	保健衛生外来診療グループ	脳卒中片麻痺患者に対するCI療法 (constraint-induced movement therapy) の現状と課題	高齢者ケアリング学研究会誌 3(2), 1-14, 2013
129	奥野純子、深作貴子、堀田和司、藪下典子、Liying Pei、大蔵倫博、田中喜代次、柳久子	保健衛生外来診療グループ	二次予防事業対象者の認知機能とビタミンD	日本老年医学会 50(4), 515-521, 2013
130	河野 了、下條 信威、西野 衆文、水谷 太郎 et al.	救急・集中治療診療グループ	頭部外傷に合併した遷延性低ナトリウム血症の1例	日本救急医学会関東地方会誌
131	布施 拓、榮 武二、照沼 利之、神澤 聡、瀬川 達矢、吉村 洋祐、山梨 宏一、佐藤 勝、櫻井 英幸	放射線腫瘍科グループ	陽子線治療装置におけるアイソセンタ検証ツールの使用経験	医学物理
132	阿部 孝憲、江原 威、原田 耕作、白井 克幸、塩谷 真里子、鈴木 義行、櫻井 英幸、中野 隆史	放射線腫瘍科グループ	温熱放射線療法が著効した多形性脂肪肉腫の1例	Thermal Medicine
133	竹内 秀輔、鈴木 涼子、福島 敬、福島 紘子、岩淵 敦、中尾 朋平、山口 玲子、工藤 寿子、杉田 真太郎、稲留 征典、佐藤 豊実、櫻井 英幸、金子 道夫、須磨崎 亮	小児内科診療グループ/ 放射線腫瘍科グループ	進行期卵巣小細胞癌に対して集学的治療を施行した女児例	日本小児血液・がん学会雑誌
134	川村 拓、篠田 和哉、宮本 勝美、榮 武二、門間 正彦、松村 明	放射線腫瘍科グループ	ポリマーゲル線量計を用いた球状小照射野線量測定に関する検討	日本放射線技術学会雑誌
135	大城 佳子、水本 斉志、石川 仁、奥村 敏之、坪井 康次、榮 武二、福島 敬、須磨崎 亮、増本 幸二、金子 道夫、櫻井 英幸	放射線腫瘍科グループ	小児固形がんに対する陽子線治療	日本小児血液・がん学会雑誌
136	北島 柚衣子、布施 拓、瀬川 達也、志田 晃一、石川 仁、榮 武二、櫻井 英幸	放射線腫瘍科グループ	前立腺IMRTにおけるCBCTを用いたInterfraction errorの評価	日本放射線技術学会雑誌
137	斎藤 高、石川 仁、水本 斉志、福光 延吉、奥村 敏之、櫻井 英幸	放射線腫瘍科グループ	切除不能篩骨洞扁平上皮癌に対する陽子線治療の初期経験	頭頸部癌
138	奥村 敏之、水本 斉志、福光 延吉、大西 かよ子、沼尻 晴子、石川 仁、栗飯原 輝人、坪井 康次、榮 武二、櫻井 英幸、	放射線腫瘍科グループ	肝腫瘍に対する陽子線療法の現状と成績	肝・胆・膵
139	孫 略、水野 祐介、岩本 眞理、後藤 隆久、小口 靖弘、坪井 康次、千田 浩一、盛武 敬、	放射線腫瘍科グループ	Direct measurement of patient's entrance skin dose during pediatric cardiac catheterization	日本放射線技術学会雑誌
140	北島 柚衣子、布施 拓、瀬川 達也、志田 晃一、石川 仁、榮 武二、櫻井 英幸、	放射線腫瘍科グループ	前立腺IMRTにおけるCBCTを用いたInterfraction errorの評価	日本放射線技術学会雑誌

141	栗飯原 輝人, 中村 剛実, 平塚 純一, 熊田 博明, 原田 保.	放射線腫瘍科グループ	原子炉副素中性子捕捉療法の全身被ばく線量に関する考察	耳鼻咽喉科免疫アレルギー
142	栗飯原 輝人, 森田 倫正, 宇野 雅子, 原田 保.	放射線腫瘍科グループ	副素中性子捕捉療法が有効であった、悪性黒色腫巨大頸部転移症例	耳鼻咽喉科臨床
143	磯辺 智範, 高田 健太, 佐藤 英介, 半村 勝浩, 江川 俊幸, 笈田 将皇, 千田 浩一, 加藤 英幸.	放射線腫瘍科グループ	放射線治療場で発生する2次中性子の簡易的評価システムの構築	日本放射線技術学会雑誌
144	磯辺 智範, 岡本 嘉一, 平野 雄二, 志田 隆史, 小野塚 太郎, 高田 健太, 正田 純一.	放射線腫瘍科グループ	非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD)における非侵襲的な病態評価のための新しいツール Proton MRSとFibroscan	日本消化器病学会雑誌

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(1) 研修期間は2年間とする。

(2) 研修科目および研修期間

幅広い研修の選択肢と魅力ある病院群で、一人ひとりに合った研修が可能であることが特徴である。たとえば、大学病院を中心に研修をしたい場合は全期間大学で、市中病院を中心に研修したい場合には16か月を協力病院で研修することが可能である。

各診療科の研修の詳細は以下の通りとする。

研修科目		内容
必修科目	内科 (6か月)	院内および院外で研修する。院内の場合、以下の診療科から選択してローテーションする。研修する診療科および期間(1.5か月～3か月)は研修医の希望を考慮して調整する。 循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、内分泌代謝・糖尿病内科、膠原病リウマチアレルギー内科、血液内科、神経内科 common diseaseを数多く経験できる施設で3か月以上研修する場合は、一部の研修期間を院内の放射線診断・IVR、病理学的診断にあてることを認める。
	救急 (3カ月)	院内および院外で研修する。
	地域医療 (1ヵ月)	中小病院での1か月のブロック研修(選択3とあわせて3か月のブロック研修)又は選択必修1～3の期間に、週1回・6か月間の継続研修のどちらかを選択する。
選択必修科目	選択必修1 (2ヵ月)	以下の診療科の中から選択する。ただし、選択研修ですでに以下の診療科で研修している場合はこの期間を選択研修に振り替えることができる。 消化器外科、呼吸器外科、循環器外科、乳腺・甲状腺・内分泌外科、小児外科、形成外科、脳神経外科、整形外科、腎泌尿器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科
	選択必修2 (2ヵ月)	以下の診療科の中から選択する。ただし、選択研修ですでに以下の診療科で研修している場合はこの期間を選択研修に振り替えることができる。 小児科、小児外科
	選択必修3 (2ヵ月)	以下の診療科の中から選択することが望ましいが、研修医の希望により他の診療科も選択できる。 麻酔科、精神科※、産婦人科
選択科目	選択1・ 選択2 (3か月)	原則としてすべての診療科で可能。診療科の合意が得られれば、期間を分割して研修することもできる。基本的に院内とするが、院外で研修する場合は、総合臨床教育センターが指導体制、研修体制、全体とのバランスを考慮して診療科ごとに承認・調整した施設で行う。
	選択3 (3か月)	地域医療研修をブロック研修で行う場合、この期間に行う。それ以外の条件は選択1、2に準じる。

※精神科研修に関して

精神科研修を原則的にいずれかの研修形式で行う。

①選択必修3として2か月

②選択必修3として1か月(その場合、選択必修1または2の期間が3か月になる。)

③選択研修として1か月以上

a) 一般プログラム

common diseaseを幅広く研修出来るスーパーローテーション研修でも、将来の後期専門研修を見据えた一科集中型の研修でも、研修医の希望で選択して研修が可能である。また、内科研修・救急研修は、大学病院、市中病院のどちらでも研修が出来、選択必修における外科研修も多くの外科系研修科より選択できるなど、研修医の将来像に合わせた研修を個々の希望に応じて組むことができる。

コースは必修研修の内科、救急を院内で行うか院外で行うかによってA～Jまで10のコースに分かれる。

b) 特別プログラム（小児科特別プログラム、産科特別プログラム）

将来、小児科医、産科医師になることを希望する研修医を対象とした研修プログラム。

(3) ローテーションの決定方法

1) マッチング終了後、採用内定者が確定した時点で将来の志望分野の登録を行う。なお、志望分野未定で登録することも可能である。

2) 総合臨床教育センターは、国家試験合格発表後、採用者が確定した時点で研修施設・研修時期などのローテーションにおける選択肢を提示する。

3) 採用者は、選択肢の中から順位をつけて希望を提出する。この際、研修医の希望があれば総合臨床教育センターまたは志望分野に該当する養成コースと相談することも可能である。

4) 総合臨床教育センターにおいて調整し、最終的なローテーションを決定する。

(4) オリエンテーション

採用前に1週間程度のオリエンテーションを行う。内容は、実際に診療を行ううえで必要な手続き・注意事項の他に、接遇、安全管理、診療録の記載などの講習や、コミュニケーション技法、ACLS、EBM、静脈ラインの確保や採血などの基本的臨床技能についての講義・実習を行う。

(5) レジデントレクチャー

研修目標の達成に役立てることを目的として、総合臨床教育センター主催のレクチャーを開催する。ジュニアレジデントは30単位以上の出席を修了条件とする。

2 研修の実績

研修医の人数	139人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
前野 哲博	内科	総合診療グループ長	23年	研修統括者
兵頭 一之介	消化器内科	消化器内科診療グループ長	33年	研修統括者
青沼 和隆	循環器内科	循環器内科診療グループ長	36年	研修統括者
檜澤 伸之	呼吸器内科	呼吸器内科診療グループ長	28年	研修統括者
山縣 邦弘	腎臓内科	腎臓内科診療グループ長	30年	研修統括者
島野 仁	内分泌・代謝・糖尿病内科	内分泌代謝糖尿病内科診療グループ長	30年	研修統括者
住田 孝之	内科、リウマチ科、アレルギー科	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ長	35年	研修統括者
千葉 滋	血液内科	血液内科診療グループ長	30年	研修統括者
玉岡 晃	神経内科	神経内科診療グループ長	34年	研修統括者
人見 重美	感染症内科	細菌学的診断診療グループ長	24年	研修統括者
須磨崎 亮	小児科	小児内科診療グループ長	37年	研修統括者
朝田 隆	精神科	精神神経科診療グループ長	31年	研修統括者
藤本 学	皮膚科	診療グループ長	22年	研修統括者
南 学	放射線診断	放射線診断・IVR診療グループ長	31年	研修統括者
櫻井 英幸	放射線腫瘍科	放射線腫瘍科診療グループ長	26年	研修統括者
野口 雅之	病理診断科	病理診断診療グループ長	32年	研修統括者
大河内 信弘	消化器外科 臓器移植外科	消化器外科診療グループ長	36年	研修統括者
平松 祐司	心臓血管外科	循環器外科診療グループ長	28年	研修統括者
佐藤 幸夫	呼吸器外科	呼吸器外科診療グループ長	25年	研修統括者
原 尚人	乳腺内分泌外科	乳腺・甲状腺・内分泌外科診療グループ長	30年	研修統括者

増本 幸二	小児外科	小児外科診療グループ長	23年	研修統括者
関堂 充	形成外科	形成外科診療グループ長	26年	研修統括者
水谷 太郎	救急科	救急・集中診療グループ長	37年	研修統括者
山本 哲哉	脳・神経外科	脳神経外科診療グループ長	25年	研修統括者
山崎 正志	整形外科	整形外科診療グループ長	31年	研修統括者
西山 博之	泌尿器科	泌尿器外科診療グループ長	25年	研修統括者
吉川 裕之	産科、婦人科	婦人・周産期診療グループ長	36年	研修統括者
田中 誠	麻酔科	診療グループ長	28年	研修統括者
原 晃	耳鼻いんこう科 頭頸部外科	耳鼻咽喉科診療グループ長	35年	研修統括者
大鹿 哲郎	眼科	診療グループ長	29年	研修統括者
佐藤 誠	内科	睡眠呼吸障害療グループ長	32年	研修統括者
武川 寛樹	歯科口腔外科	歯科・口腔外科診療グループ長	30年	研修統括者

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

別紙のとおり

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

研修名：診療の安全に関する研修（H25年度に2回実施）

- ・研修の主な内容 1回目：医療事故防止に関する基本的事項、患者誤認の防止、
安全な処方オーダーと与薬、抗がん剤を取り扱う際の注意
添付文書の一読、手指衛生
2回目：医療事故防止に関する基本的事項、安全性情報の報告と活用
MEDICSONの紹介、インフルエンザの感染対策、個人情報保護
講演 『WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版を理解しよう』
- ・研修の期間・実施回数 1回目：16日間・21回、2回目：11日間・29回
- ・研修の参加人数 1回目：2,525名、2回目：2,514名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修(平成25年度分)

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

1	研修名	妊娠褥婦に対する最新医学管理研修
	研修の主な内容	助産師、看護師を対象に、実際の症例を題材として妊娠褥婦に対する最新の医学的な管理法を医師(周産期(母体・胎児)専門医)が教育する
	研修の期間・実施回数	平成25年9月～平成26年3月・22回
	研修の参加人数	1回平均8名
2	研修名	新人教育研修(前期)
	研修の主な内容	卒後1および2年目の職員を対象に基礎的な脳血管障害および運動器疾患のリハビリテーションに従事できるよう研修を行う
	研修の期間・実施回数	脳血管障害および運動器疾患 各1年
	研修の参加人数	4名
3	研修名	新人教育研修(後期)
	研修の主な内容	卒後3年目および4年目の職員を対象に急性期リハビリテーション、心臓大血管疾患、内科疾患、がんのリハビリテーション、小児リハビリテーションの基礎を研修する
	研修の期間・実施回数	各領域を3ないし4ヶ月の研修を行う
	研修の参加人数	2名
4	研修名	がんのリハビリテーション従事者研修会
	研修の主な内容	がんのリハビリテーションに従事できる職員の育成
	研修の期間・実施回数	2日間
	研修の参加人数	5名
5	研修名	薬剤部セミナー
	研修の主な内容	薬剤業務改善、医薬品適正使用に関する研究の発表
	研修の期間・実施回数	12回
	研修の参加人数	40～50名

6	研修名	お薬説明会
	研修の主な内容	新薬の使用方法に関する講習
	研修の期間・実施回数	3回
	研修の参加人数	40-50名
7	研修名	高齢者の総合的な評価研修会
	研修の主な内容	高齢者総合的機能評価(CGA)について
	研修の期間・実施回数	H25年5月27日・1回
	研修の参加人数	47名
8	研修名	患者さんの生活をいつ知るの
	研修の主な内容	患者さんの生活を知るための多職種協働
	研修の期間・実施回数	H25年7月12日・1回
	研修の参加人数	57名
9	研修名	チーム医療シンポジウム2013
	研修の主な内容	患者さんご家族を支えるために～多職種チームの挑戦～
	研修の期間・実施回数	H25年11月23日
	研修の参加人数	40名
10	研修名	陽子線治療装置
	研修の主な内容	「画像参照システムの使用方法と注意点」
	研修の期間・実施回数	平成26年1月17日 17:30～18:30
	研修の参加人数	5名
11	研修名	陽子線治療装置
	研修の主な内容	「RFQ交換後のQC・QAについて」
	研修の期間・実施回数	平成25年6月10日・1回
	研修の参加人数	5名

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 松村 明
管理担当者氏名	医療情報部長 大原 信、薬剤部長 本間 真人 病院総務部総務課長 富田 有一 医事課長 石塚 伸

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部 薬剤部 総務課	紙カルテは1患者1ファイルにより、医療情報部の病歴室で、電子化後は医療情報部サーバ室のサーバで管理している。 エックス線写真等も医療情報部で一括して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課、医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
第規 一則 号第 一に 掲条 げの る十 体一 制第 の一 確項 保各 の号 状及 況 第 九 条 の 二 十 第 一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	臨床医療管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	リスクマネジメント委員会	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	臨床医療管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	臨床医療管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	臨床医療管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	臨床医療管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第一条の十一 第一項各号及び第九条の二十三 第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策委員会
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 臨床医療管理部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理センター

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	附属病院長 松村 明	
閲覧担当者氏名	病院総務部総務課長 富田有一、医事課長 石塚伸	
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部総務課、医事課	
閲覧の手続の概要		
病院の診療に関するもの		
診療記録の閲覧については、本院が定めた「診療記録開示請求書」に必要事項を記入の上、医事課へ提出する。		
病院の管理に運営に関するもの		
病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧については、大学が定めた「法人文書開示請求書」に必要事項を記入の上、総務課へ提出する。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容： 組織として事故防止に取り組む。 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。 医療の安全に関する教育研修を実施する。など	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 3 回
・ 活動の主な内容： 以下の事項を審議する。 ・ 医療に係る安全管理体制に関すること。 ・ 医療に係る安全管理のための指針の作成及び見直しに関すること。 ・ 医療事故を防止するための医療従事者に対する啓発に関すること。 ・ 医療事故等に係る患者、家族等への対応に関すること。 ・ 医療事故等が発生した場合の原因の分析並びに改善策の立案、実施及び周知に関すること。など	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 2 回
・ 研修の主な内容： 法令及び研修目的に沿ったものとする。必要に応じて、感染対策、医薬品、医療機器の安全管理に関する内容を含める。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療行為の手順をエビデンスに基づいて改善する。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名)
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名)
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (5) 名 ・ 活動の主な内容： 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 医療紛争支援 医療サービスの向上のための企画及び教育	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
指針の主な内容： 院内感染対策に関わる基本的な考え方 院内感染対策委員会及び感染管理部の設置 院内感染発生時の対応 職員研修	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
活動の主な内容： 院内感染対策指針及びマニュアルの審議 院内感染対策に関する情報収集と職員への周知 改善策の立案及び全職員への周知	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
研修の主な内容： 手指消毒について（21回開催） インフルエンザ感染対策（29回開催）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
- 病院における発生状況の報告等の整備（有） - その他の改善のための方策の主な内容： 院内感染対策改善策を感染対策委員会で審議・決定後、各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡。 感染管理部から、院内感染対策改善策を各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡。	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 全職員を対象とした「診療の安全に関する研修（第 1 期）-医療事故防止マニュアル第 6 版を使いこなす-」において、「安全な処方オーダーと与薬」をテーマに、資料を用いて説明を行った。 全職員を対象とした「診療の安全に関する研修（第 2 期）-世界標準の医療安全教育の内容を知る-」において、「安全性情報の報告と活用」をテーマに、資料を用いて説明を行った。	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有) ・ 業務の主な内容： 定期的な院内巡視にて実施状況を確認している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 製薬企業MRからの情報収集 ・ 医薬品医療機器総合機構からのメール受信（医薬品医療機器情報配信サービス） ・ 個人のメールボックスへの印刷物の配布（薬剤部からのお知らせ等） ・ 院内メールによる情報配信 ・ 薬剤部内の朝礼による周知 ・ 薬剤部HPにおいても、情報提供	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 1 回
・ 研修の主な内容： ・ 新規購入機器のための研修 ・ 継続機器のための研修 ・ デモ機／治験のための研修 ・ その他の研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有) ・ 保守点検の主な内容： 別紙参照	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 当院の医療機器管理ソフトシステム (MEDICSON) で院内の機器管理を行っており、PMDA からの情報を関係部署に周知して各部門で対策を行っている。	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	① 有 ・ 無
評価機関：公益財団法人日本医療機能評価機構 項 目： 一般病院 2 及び副機能（精神科病院） 受審日： 平成25年8月25日及び26日 認定日： 平成26年1月6日 認定期間：平成23年9月25日～平成28年9月24日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	① 有 ・ 無
・ 一般向けには、病院HP 及び病院概要にて、各組織等の取組みを情報発信しております。 また、医療機関向けには、診療案内を配付するとともに、平成26年7月16日（水）に、筑波大学附属病院「地域医療連携懇談会」を開催しております。これは、地域医療に携わる医療機関や行政と相互に有する医療機能等をより発揮しつつ質の高い医療環境を確保し地域住民や患者さんに適切な医療を提供することを目的とし開催したものです。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	① 有 ・ 無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 院内コンサルテーションマニュアルにより他科の専門医に診察の依頼ができる体制が整っており、複数の診療科が連携して高度な医療を提供できる。	